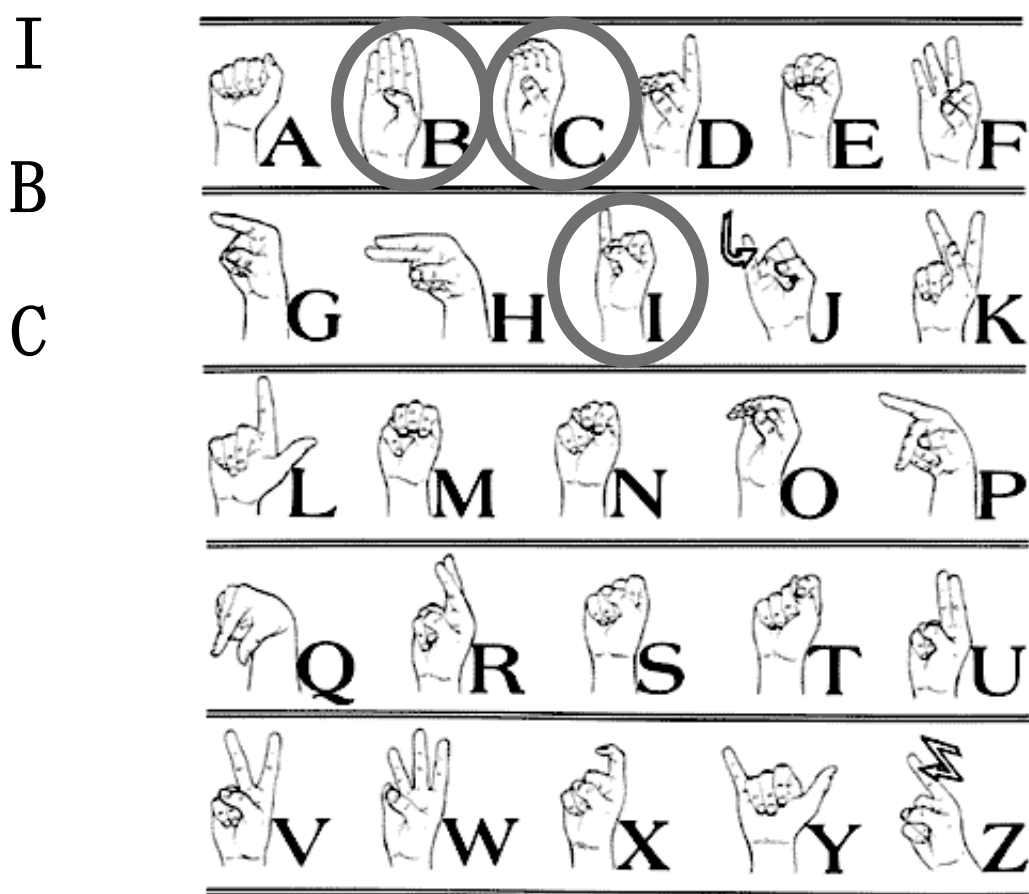


2021年度 後期

シラバス



クラス		名前	
-----	--	----	--

西鉄国際ビジネスカレッジ

<目次>

共通・・・・・・・・・・ P1～14

ホテル・ブライダル・・・・・・・・ P15～37

観光・鉄道・・・・・・ P38～64

エアライン・・・・・・・・ P65～89

国際ホテルマネジメント P90～126

夜間総合観光・・・・・・・・ P127～136

観光ビジネス進学・・・・ P137～149

共通

学年	科目名	クラス
1	TOEIC I	EQW①
1	TOEIC II	EQW①
1	英検対策 I・II	EQW②～⑤
1	ホテル英会話	ET
1	コンピュータ	EQ
1	ビジネスマナー	QNY
1	手話	MW
1、2	ペン字	SI
1、2、3	韓国語	AN QWU
1、2、3	中国語	AN QWU
2	観光英語	OPVK
2	社会情勢研究	OPVK
2	フレッシュヤーズ教育	OPVK
2	コンピュータ	OPK

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル・エアライン科	
科目名	TOEIC I				クラス	EQW①
担当講師(フルネーム)	挽田雅子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力を強化する。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。				授業形態	講義
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する。					
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集7					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Part1(1)		授業の進め方、評価方法の説明 写真描写問題 Expressions			
2回	Part2(1)		Part2の攻略の基本を学ぶ WH疑問文を聞き取る キーワードをとらえる			
3回	Part2(3)		「許可」「依頼」「提案」の応答の典型を覚える 音のひっかけに注意する 練習問題			
4回	Part3(2)		設問を先に読む 設問の意味を単純化する 選択肢を読む			
5回	Part4(1)		Part4の攻略の基本を学ぶ 設問の順番に沿ってヒントを聞き取る アナウンスや公共放送を聞く			
6回	Part4(3)		図・イラスト問題を攻略する 設問を先読みする 練習問題			
7回	Part5(2)		品詞問題 発展編 文脈から適切な意味の語を選ぶ 複合名詞			
8回	Part5(4)		関係代名詞 先行詞が人かモノかをチェックする 主格、目的格、所有格の判別			
9回	Part5(6)		前置詞、接続詞 前置詞は文脈にも注意する 接続詞は全文を読む			
10回	Part6(1)		Part6の攻略の基本を学ぶ 設問を分類する 文法・語彙問題を解く			
11回	Part7(1)		Part7の攻略の基本を学ぶ 短い文章から取り組む メール・お知らせ・メッセージを読む			
12回	Part7(3)		記事、広告、請求書を読む 時間を管理する シングルパッセージの後半を最後に解く			
13回	Part7(5)		ダブルパッセージ 追跡情報とEメール 2文書参照問題			
14回	Part7(7)		トリプルパッセージ 広告、請求書、Eメール 要約力を身につける			
15回	応用問題		ストーリーを理解する ほのめかされた情報が問われたときの解答法 「位置選択問題」の解き方			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル・エアライン科	
科目名	TOEIC II				クラス	EQW①
担当講師(フルネーム)	挽田雅子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力を強化する。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。				授業形態	講義
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する。					
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集7					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Part1(2)	人物、風景と物、乗り物についての表現を学ぶ 音声を聞く前に写真をチェック 練習問題				
2回	Part2(2)	Yes/No疑問文の応答 付加疑問文の応答 平叙文の応答				
3回	Part3(1)	Part3の攻略の基本を学ぶ 設問を読み、全体を聞いて解答できるものとピンポイントで聞いて解答するものを見分ける 練習問題				
4回	Part3(3)	設問を先に読む 図・イラスト問題を攻略する 選択肢を読む				
5回	Part4(2)	場所を問う問題を解く 職業を問う問題を解く 次の行動を問う問題を解く				
6回	Part5(1)	Part5の攻略の基本を学ぶ 品詞問題 基本編 名詞・動詞・形容詞・副詞				
7回	Part5(3)	動詞の形 時制 態				
8回	Part5(5)	代名詞・限定詞 適切な格を判断する 直後の名詞が単数形か複数形か、可算名詞か不可算名詞かを確認する				
9回	Part5(7)	語彙問題 文全体を読む 語法やコロケーションを意識する				
10回	Part6(2)	「文挿入問題」の解き方を学ぶ 空所の前後の内容をリンクさせるキーワードに注意する 練習問題				
11回	Part7(2)	テキストメッセージ、メモ、案内を読む 流れを意識して読む テキストメッセージは書き手の関係を整理して読む				
12回	Part7(4)	ダブルパッセージの解き方を学ぶ Eメールと証明書を読む 練習問題				
13回	Part7(6)	トリプルパッセージの解き方を学ぶ Eメール、記事、ウェブサイトの投稿を読む 練習問題				
14回	Part7(8)	トリプルパッセージ 広告と2通のEメールを読む 要約力を身につける				
15回	まとめと復習	TEST2を復習する 語彙・語法の確認 文法問題の確認				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル/エアライン/夜間総合観光科	
科目名	英検対策Ⅰ&Ⅱ				クラス	EQWY
担当講師(フルネーム)	平島千華、日高郁子、加藤亜希、森園千秋				実務経験	無
授業概要(内容)	英検各級の語彙、文法についての解説等 注:各クラスで取得目標級が異なる為、授業内容や進度はそれぞれ異なる。				授業形態	講義
到達目標	英検2021年度第2回に合格できる力をつける。					
使用テキスト	2021年度版 英検過去6回全問題集(旺文社)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	2019年度第2回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
2回	2019年度第2回検定問題	長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
3回	2019年度第2回検定問題	リスニング問題 英作文指導 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
4回	2019年度第2回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
5回	2021年度第2回検定 解答解説	2021年度第2回検定解答、解説 自身の弱点研究 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
6回	二次試験対策 2019年度第1回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
7回	二次試験対策 2019年度第1回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
8回	英作文指導 リスニング	作文指導(取得目標級により異なる) 自身の弱点研究 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
9回	2019年度第1回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
10回	2019年度第1回検定問題 二次試験対策	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
11回	2018年度第3回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
12回	2018年度第3回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
13回	2018年度第3回検定問題	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
14回	2018年度第3回検定問題	長文読解 英作文問題 リスニング問題				
15回	期末試験直前対策	後期授業総括 期末試験対策 後期総復習				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテルブライダル科・国際ホテルマネジメント科	
科目名	ホテル英会話				クラス	E・Tクラス
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝、日高郁子、松本範子				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ホテルで使う英語の表現を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	状況に応じて英語で接客が出来るようになる					
使用テキスト	Hotel & Hospitality English					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	前期の振り返り	前期の復習				
2回	13. Complaints from guests at the bar	Dealing with complaints Apologizing for mistakes Explaining the bill				
3回	14. In the restaurant (1)	Welcoming diners Giving out menus Taking drinks orders				
4回	15. In the restaurant (2)	Taking food orders Explaining dishes Choosing drinks				
5回	16. In the restaurant (3)	Asking about dessert and coffee Bringing the bill Handling payment				
6回	17. Housekeeping	Briefing new staff Explaining hotel rules Answering questions				
7回	18. Housekeeping problems	Dealing with requests Solving problems Agreeing to come back later				
8回	19. Room service	Taking room service orders Agreeing delivery times Delivering room service				
9回	20. Guest service	Ordering things for guests Making appointment Checking information				
10回	21. In the business center	Explaining available service Providing equipment Providing information				
11回	22. Recommendations for places to eat	Making restaurant recommendations Comparing things				
12回	23. Checking out	Checking guests out Checking items on the bill Saying goodbye				
13回	24. Problems checking out	Correcting mistakes on the bill Apologizing Keeping guests happy				
14回	Speaking Test	Speaking Test				
15回	1年間のまとめ 後期期末対策	まとめとテスト対策				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル、エアライン 科	
科目名	コンピュータ				クラス	E Q
担当講師(フルネーム)	乙 咩 清美				実務経験	有(通信業界勤務歴有)
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 表計算の基礎を学び、活用できる力を習得する。				授業形態	講義 & 演習
到達目標	表計算技能検定2級レベルの習得および資格取得。就活に必要なパソコンスキルを習得する。					
使用テキスト	30時間でマスター Office2019					
成績評価方法	・中間試験50% 期末試験30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	PowerPoint活用		パワーポイントでLINEスタンプを作ろう①			
2回	PowerPoint活用		パワーポイントでLINEスタンプを作ろう②			
3回	Excel基礎		タイピングレッスン Excel2019について、画面構成、文字・数値の入力と編集、テンキーレッスン 四則演算式と関数			
4回	Excel基礎		タイピングレッスン 表作成 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)			
5回	Excel基礎		タイピングレッスン 表作成 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める			
6回	Excel基礎		タイピングレッスン 表作成 グラフ作成(基本的な縦棒・横棒・折れ線・円グラフ)			
7回	Excel基礎		タイピングレッスン 表作成 関数(IF関数など)			
8回	Excel応用		タイピングレッスン 表作成 検定過去問題の練習①			
9回	Excel応用		タイピングレッスン 表作成 検定過去問題の練習②			
10回	Excel応用		タイピングレッスン 表作成 検定過去問題の練習③			
11回	後期中間試験		表計算技能処理検定 2級相当の模擬試験			
12回	パソコン活用		クリスマスのチラシを作ろう！			
13回	パソコン活用		Microsoftアカウントの取得・確認とクラウド機能の使い方をマスターする。 ビジネスメールの形式とマナー①			
14回	パソコン活用		Microsoftアカウントの取得・確認とクラウド機能の使い方をマスターする。 ビジネスメールの形式とマナー②			
15回	後期期末試験		ビジネス文書、ビジネスメールについての確認試験(実技・筆記)			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科 鉄道科 夜間総合観光科
科目名	ビジネスマナー				クラス QNY
担当講師(フルネーム)	榎本 美和子 田中 友加利				実務経験 有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	・社会人になるための心構え、また専門学校での過ごし方を学ぶ。 ・社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。				授業形態 講義
到達目標	ビジネス能力検定ジョブパス3級合格を目指す。(12/5(日)受験)				
使用テキスト	ビジネス能力検定3級テキスト2021年度版				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数 2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	過去問題	後期授業の進め方について 過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
2回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
3回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
4回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
5回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
6回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
7回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
8回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
9回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
10回	社会人としての心構え	ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。			
11回	自己採点	ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。			
12回	社会人としての心構え	12/5(日)試験の自己採点をする			
13回	社会人としての心構え	ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。			
14回	社会人としての心構え	ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。			
15回	社会人としての心構え	ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道・エアライン科	
科目名	手話				クラス	M/W
担当講師(フルネーム)	鶴田 由香				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	テキストを使って手話での実技 聴覚障害者のお客様への対応と理解				授業形態	講義&演習
到達目標	聴覚障がい者のお客様との手話を含めた対応方法と理解を深める					
使用テキスト	手話を学ぼう 手話で話そう					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	第11・12講座と前期の復習	前期で学んだ基本手話と時間の流れ手話の復習				
2回	第13講座	疑問詞の表現と答え方 学んだ疑問詞をつかって表現してみましょう				
3回	第14講座	旅行をテーマに会話を広げよう 日本の都道府県名の手話				
4回	第15講座	病気に関する表現 体調を伝える				
5回	第19講座～	表情豊かに・具体的に表す① 表情・強弱や速度で伝える				
6回	第21講座～	表情豊かに・具体的に表す② 具体的表現・動き				
7回	第22講座	具体的表現のまとめ				
8回	第23・24講座	主語をわかりやすく 位置方向				
9回	第25・26講座	主語をわかりやすく 役割の切り替え				
10回	第27・28講座	まとめ 話あってみましょう				
11回	第29・講座	空間の手話				
12回	第30講座	両手をうまく使いましょう 同時性				
13回	第31・32講座	両手をうまく使いましょう 指の代理的表現				
14回	第33講座	繰り返しの表現				
15回	まとめ	一年間のまとめ				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント2年・観光ビジネス科1年	
科目名	ペン字				クラス	S I
担当講師(フルネーム)	青木 初恵				実務経験	無
授業概要(内容)	1年生時で学んだ文字の基本を活かして履歴書・実用書を学習する 1年生時でも学習した筆ペンを使って日本の文化と習慣を学ぶ				授業形態	講義&演習
到達目標	この授業で習ったことを他の強化で活かして読みやすい文字を書く					
使用テキスト	オリジナルテキスト・ペン・下敷き・筆ペン					
成績評価方法	提出物70%、小テスト、授業態度30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	文字の基本を学ぶ①	復習 漢字、平仮名、片仮名交じりの文の文章の練習～マス目 縦書きの書式を学ぶ				
2回	文字の基本を学ぶ②	復習 漢字、平仮名、片仮名交じりの文の文章の練習～行				
3回	文字の基本を学ぶ③	復習 漢字、平仮名、片仮名交じりの文の文章の練習～行 横書きの書式を学ぶ				
4回	実用書を学ぶ①	手紙の書き方 内定後のお礼状の書き方～書き取り練習 縦書きの書式の復習				
5回	実用書を学ぶ②	縦長封筒の書き方① 個人宛・企業宛の書き分け方と書式				
6回	実用書を学ぶ③	縦長封筒の書き方② 個人宛・企業宛の書き分け方と書式～まとめ				
7回	実用書を学ぶ④	A4が入る封筒の書き方① 個人宛と企業宛の書き分け方と書式				
8回	実用書を学ぶ⑤	A4が入る封筒の書き方② 個人宛と企業宛の書き分け方と書式・差出人(自分)の書き方 まとめ				
9回	筆ペンで年賀状を書く①	筆ペンの特徴と書き方 年賀状の時期と由来 基本線と筆使い				
10回	筆ペンで年賀状を書く②	はがき(年賀状)表書き裏書きの部分練習				
11回	筆ペンで年賀状を書く③	年賀状を書く①				
12回	筆ペンで年賀状を書く④	年賀状を書く②				
13回	履歴書の書き方①	履歴書の書き方 バランスよくまとめるコツを学ぶ 履歴書に出てくる漢字の書き取り練習(復習)				
14回	履歴書の書き方②	履歴書の書き方 まとめ①				
15回	履歴書の書き方③	履歴書の書き方 まとめ②—提出 ～読みやすい文字・美しい文字とは～				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル/エアライン/鉄道/国際ホテルマネジメント(3年)科	
科目名	韓国語				クラス	ANQWU
担当講師(フルネーム)	権京愛				実務経験	無
授業概要(内容)	教科書主体に文法を確実に身に付けさせ、毎回の授業には必ず演習を取り入れ、「読む、聞く、話す、書く」の4技能をまんべんなく学ばせる。				授業形態	講義&演習
到達目標	将来仕事で活用できるように会話練習を通してコミュニケーション能力を身につけさせることを目標とする。					
使用テキスト	韓国語の世界へ「入門編」朝日出版					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	文字の復習	既習のハングル文字の母音、子音、パッチムの仕組みをもう一度お復しする。 発音と読み書きの復習をする。 会話の練習をする。				
2回	漢数字と助数詞	何年、何月、何日、何分、何個など漢数字とともに使われる助数詞を覚える。 発音と読み書きの復習をする。 助数詞を使って会話の練習をする。				
3回	位置表現(場所を尋ねる)	絵を見ながら場所を尋ねる表現を学ぶ。 位置を表す名詞を覚え、会話練習をする。 クラスメートと待ち合わせの場所を決めるなど会話の練習をする。				
4回	へヨ体の作り方Ⅰ	うちとけた丁寧な言い方を学ぶ① 韓国語の用言の活用を学び、へヨ体に直す練習をする。 会話の練習をする。				
5回	助詞	助詞をまとめて覚える。 例文を作りながら練習して覚える。 会話の練習をする。				
6回	復習と練習問題	問題を解きながら復習をする。 会話の練習をする。				
7回	へヨ体の作り方Ⅱ	うちとけた丁寧な言い方を学ぶ② 韓国語の用言の活用を学び、へヨ体に直す練習をする。 会話の練習をする。				
8回	指示詞	指示詞を覚え、物を探ねる表現を学ぶ。 「これはなんですか」など指示詞を使って会話練習をする。 教室にある物を利用し、名前を尋ねる会話練習をする。				
9回	復習と練習問題	問題を解きながら、復習をする。 会話の練習をする。				
10回	へヨ体の作り方Ⅲ	うちとけた丁寧な言い方を学ぶ③ 韓国語の用言の活用を学び、へヨ体に直す練習をする。 会話の練習をする。				
11回	固有数詞	固有数詞を覚える。 固有数詞とともに使われる助数詞を学ぶ。 会話練習をする。				
12回	時を表す言葉	時を尋ねる表現を学ぶ。 「誕生日はいつですか」「今日は何月何日ですか？」など会話練習をする。				
13回	復習と練習問題	問題を解きながら、復習をする。 自己紹介のフレーズを覚え、韓国語で自己紹介の練習をする。				
14回	韓国文化に触れる	韓国映画を観て韓国文化に触れ、より楽しく韓国語が続けられるようにする。 映画のセリフを聞いて聞き取れる単語をメモしてみよう！ 日本と韓国の文化の違いについて発表する。				
15回	まとめ	期末テストに備え、総まとめをする。 日本と韓国の文化の違いについて発表する。				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル/エアライン/鉄道/国際ホテルマネジメント(3年)科		
科目名	中国語				クラス	AN QWU	
担当講師(フルネーム)	青山祐子				実務経験	無	
授業概要(内容)	中国語の基礎的な発音・文法・単語を習得し、簡単な会話文について				授業形態	講義	
到達目標	中国語の音読、語彙の使い方、文の表現しながら、業務上で使うリスニング能力と会話能力を高めることを目標とする。						
使用テキスト	初めまして！中国語(白水社)						
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	前期の復習		前期期末テストの答え合わせ				
2回	第8課 バス停で		24. 連動文 25. 前置詞”在”				
3回	トレーニング8		26. 時刻の言い方 27. ”是”の省略 ◆時を表わす語(2)				
4回	中国の映画を鑑賞しよう！ 前篇		※ 習った単語を探そう				
5回	中国の映画を鑑賞しよう！ 後篇		※ 習った単語を探そう				
6回	復習2 鈴木君の一日		1. 存在の”有”と所在の”在” 2. 実現・完了の”了” 3. 動詞述語文(2) 4. 前置詞の”在”				
7回	第9課 放課後に		28. 助動詞 ”会”・”能”・”可以”				
8回	トレーニング9		29. 前置詞 ”跟”と”给” 30. 主述述語文				
9回	第10課 卓球の中継を 見ながら		31. 様態補語 32. 経験を表わす”过”				
10回	トレーニング10		33.比較を表わす”比” 34. 動詞 ”喜欢”				
11回	第11課 ディズニーランドで 待ち合わせ		35. 進行を表わす”在”				
12回	トレーニング11		36. 方向補語 37. 選択疑問文				
13回	第12課 カフェテラスで		38. ”是～的”の文 39. 結果補語				
14回	トレーニング12		40. 時間の長さ・動作の回数を表わす語の位置 ◆ 時間の長さを表わす語				
15回	期末テストの対策		今まで勉強した内容についてのおさらい				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	観光・エアライン科	
科目名	観光英語				クラス	OPVK
担当講師(フルネーム)	秋満陽子・挽田雅子・平島千華				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	観光・エアラインビジネスに必要な英語の語彙と表現を学ぶ。 観光・エアライン業界の主要な場面でのやりとりを学習する。				授業形態	講義
到達目標	観光・航空系の英語を身につける。接客に必要な英語表現を学び、実際に会話ができるようになる。					
使用テキスト	English for Tourism Professionals					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Unit8(1) Working at the boarding gate	パスポートの確認 搭乗ゲートでの対応について学ぶ Vocabulary and Useful Expressions				
2回	Unit8(2) Working at the boarding gate	Dialogue Study Pair Speaking Practice Role Play				
3回	Unit8(3) Working at the boarding gate	Topic Reading 空港のセキュリティ対策 フライトに遅れやキャンセルが生じた場合				
4回	Unit9(1) Offering in-flight services	life-jacketの使い方 While boarding : お客様の手助け During the meal service : 食事のサービス				
5回	Unit9(2) Offering in-flight services	Dialogue Study Pair Speaking Practice Role Play				
6回	Unit9(3) Offering in-flight services	Topic Reading 機内アナウンス ファーストクラスについてのパンフレット				
7回	Unit10(1) Giving CIQ information	customs, immigration, quarantine entry formについて customs formについて				
8回	Unit10(2) Giving CIQ information	Dialogue Study 免税に関する情報 Role Play				
9回	Unit10(3) Giving CIQ information	Topic Reading カナダの税関申告書の説明を読む 税関申告書を記入する				
10回	Unit3(1) Escorting a tour	ツアーコンダクターの業務 ツアーコンダクターと客室乗務員の会話 ツアーコンダクターとホテルのフロント係の会話				
11回	Unit3(2) Escorting a tour	病人について伝える 遺失物について伝える Role Play				
12回	Unit3(3) Escorting a tour	Topic Reading 遊園地のサービスガイド ピラミッドに関する説明				
13回	Unit4(1) Welcoming international tourists	海外からのお客様を迎える 日本の観光地 バストゥアのガイドと乗客の会話				
14回	Unit4(2) Welcoming international tourists	Dialogue Study Pair Speaking Practice Role Play				
15回	Unit4(3) Welcoming international tourists	JRからの外国人旅行者のための情報 通訳ガイドのサイト 後期のまとめ				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	エアライン科・観光科	
科目名	社会情勢研究				クラス	O・P・V・K
担当講師(フルネーム)	久保田 博子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	インターネットを通じて、社会情勢を理解する				授業形態	講義&演習
到達目標	・メディアリテラシーを身につける ・自分の意見をまとめ、表現する					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	提出物、授業内プレゼンテーション、授業態度等で評価する ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方、評価方法について理解する メディアリテラシーとは何かを知る			
2回	新聞社デジタル版を読む①		全国紙4紙+ブロック紙1紙の4紙分デジタル版を比較し、特徴をつかむ			
3回	新聞社デジタル版を読む②		5紙新聞社デジタル版から必要な情報を探し出す			
4回	朝日新聞デジタル版を読む①		記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する			
5回	毎日新聞デジタル版を読む①		記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する			
6回	読売新聞デジタル版を読む①		記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する			
7回	日本経済新聞デジタル版を読む		記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する			
8回	西日本新聞デジタル版を読む①		記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する			
9回	新聞社デジタル版を読む③		同じテーマで新聞社による違いを把握する			
10回	新聞社デジタル版を読む④		同じテーマで新聞社による違いをまとめ、発表する			
11回	朝日新聞デジタル版を読む②		記事の中から興味がある記事について自分の意見をまとめ、発表する			
12回	毎日新聞デジタル版を読む②		記事の中から興味がある記事について自分の意見をまとめ、発表する			
13回	読売新聞デジタル版を読む②		記事の中から興味がある記事について自分の意見をまとめ、発表する			
14回	西日本新聞デジタル版を読む②		記事の中から興味がある記事について自分の意見をまとめ、発表する			
15回	まとめ		レポートを作成し、提出する			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	エアライン科・観光科	
科目名	フレッシュャーズ教育				クラス	OPVK
担当講師(フルネーム)	原田歩				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	学生と社会人の違いを学ぶ 社会で働く上での知識を身につける				授業形態	講義
到達目標	社会人になる覚悟を決める					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	課題、小テスト、提出物で評価する ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について 社会人のイメージを共有する				
2回	働く環境①	求人票から覗いてみる 給与、保険、福利厚生について理解を深める				
3回	働く環境②	就業規則について学ぶ 公金、貸与品の取り扱いについて学ぶ				
4回	働く環境③	組織で働くということを理解する 報連相について復習する				
5回	入社①	自己紹介をしてみよう レクリエーションを考えてみよう				
6回	入社②	自己紹介をしてみよう レクリエーションを考えてみよう				
7回	1日の流れ	出社から退社までのマナーを復習する ミスをした時の行動、捉え方を学ぶ				
8回	入社後3ヶ月の壁	入社後3ヶ月の悩みを想像してみよう				
9回	人間関係①	良好な人間関係を築くためのヒントを見つける				
10回	人間関係②	自己分析をし自分の性格や特徴を再認識する チームで働くということを理解する				
11回	マナー	電話応対、来客応対を復習する				
12回	プライベート	休日の過ごし方を考えてみよう 心身ともに健康であるためのケア方法を考える				
13回	コンプライアンス	コンプライアンスについて復習する 様々なハラスメントについて学ぶ				
14回	転職	転職が訪れたら…				
15回	20代のテーマ	20代のテーマを発表する 仲間にエールを送る				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	エアライン・観光科	
科目名	コンピュータ				クラス	O P K
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美				実務経験	有(通信業界勤務歴)
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 表計算の基礎を学び、活用できる力を習得する。				授業形態	講義 & 演習
到達目標	表計算技能検定2級レベルの習得および資格取得。社会人として必要なパソコンスキルの活用力・応用力を習得する。					
使用テキスト	30時間でマスター Office2019					
成績評価方法	・期末試験50% パワーポイント提出課題30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	PowerPoint活用		パワーポイントでLINEスタンプを作ろう①			
2回	PowerPoint活用		パワーポイントでLINEスタンプを作ろう②			
3回	Excel応用		タイピングレッスン 表作成 関数(一般的な関数、IF、IF+AND、IF+OR、RANK、)			
4回	Excel応用		タイピングレッスン 表作成 関数(VLOOKUP、SUMIF、COUNTIF、AVERAGEIF)			
5回	Word・Excel応用		タイピングレッスン データベース(名簿作成) ハロウィンチラシ作成			
6回	Word・Excel応用		タイピングレッスン データベース(名簿作成) ハロウィンチラシ作成(差し込み印刷)			
7回	Word・Excel応用		タイピングレッスン Excelでデータ集計 Wordで報告書作成し、Excelの表やグラフを貼り付ける			
8回	Word・Excel応用		タイピングレッスン Excelでデータ集計 Wordで報告書作成し、Excelの表やグラフを貼り付ける			
9回	Excel応用		タイピングレッスン 表作成 検定過去問題の練習①			
10回	Excel応用		タイピングレッスン 表作成 検定過去問題の練習②			
11回	後期期末試験		表計算技能処理検定 2級相当の模擬テスト			
12回	Word応用		名刺やグリーティングカードを作ろう!			
13回	Powerpoint応用		2年間の思い出をまとめたプレゼンテーション・ムービーの作成 使用する素材、音源などの準備 スライド作成			
14回	Powerpoint応用		2年間の思い出をまとめたプレゼンテーション・ムービーの作成 スライドの編集 ※アニメーション効果、画面切替効果、サウンドやビデオの追加			
15回	Powerpoint応用		2年間の思い出をまとめたプレゼンテーション・ムービーの作成 仕上げ、ムービーに変換 ※すべての効果を自動に設定する			

ホテル・ブライダル

学年	科目名
1	レストランバンケットサービス
1	ソムリエ&バーテンダー
1	フロントサービス
1	ホテル総論
1	就職活動講座
1	SPI言語対策
1	SPI非言語対策
1	面接対策
1	ウェディングフォト演習
1	ブライダルセールス
2	コンシェルジュ
2	フランス語
2	コミュニケーションイングリッシュ
2	ユニバーサルサービス
2	手話
2	フレッシュエース教育
2	社会情勢研究
2	Web広告戦略
2	観光産業概論
2	HRS実技セミナー
2	和の作法
2	ブライダルコーディネーター検定対策
2	メートル・ドテル

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル 科	
科目名	レストランバンケットサービス				クラス	E
担当講師(フルネーム)	長野 美穂				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	前期に引き続きレストランサービスの知識を身に付ける				授業形態	講義
到達目標	サーバー、チューリンサービスをマスターする					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		前期の復習と夏の振り返り 皿持ち復習			
2回	日本料理		日本料理の基本知識 お箸練習、和室での立ち居振る舞い			
3回	中国料理		四大中国料理の特徴を知る サーバー練習			
4回	バンケットサービス		MICE、ワーキング・ディナー 立食パーティーのマナー、サービス			
5回	レストランの値段		原価率のお話 モノの値段の決め方を学ぶ			
6回	レストランマーケティング①		マーケティングの基本 売れているモノが売れている理由 接客業で必要な消費者心理を学ぶ			
7回	レストランマーケティング②		POP作り 作品プレゼンテーション			
8回	ユニバーサルサービス		ご年配、体が不自由なお客様の注意点 お出迎え～食事のサービス～お見送り			
9回	ユニバーサルサービス		車いすの基本操作方法を学ぶ			
10回	レストランウェディング		レストランウェディングの特徴 幸せを呼ぶアイテムたち			
11回	グループワーク		テーブルコーディネートプラン作成			
12回	グループワーク		テーブルコーディネートの作成と撮影			
13回	カフェ業界の戦略		ライバル業界を偵察 カフェ業界の知られざる集客の仕組み			
14回	実技練習		期末試験 制限時間内にロールプレイング			
15回	期末試験		期末試験 制限時間内にロールプレイング			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ソムリエ&バーテンダー				クラス	E
担当講師(フルネーム)	藤井智之・水田勇太				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	酒類に興味を持ってもらい、レストラン・バー業務に活かすこと。 現場での業務が円滑に行える、お客様との会話のツールにする。				授業形態	講義&演習
到達目標	バー・ラウンジにおける接客、お酒の基礎知識また、基本習得					
使用テキスト	ホテルテキスト料飲Ⅱ バー・ラウンジ編					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	シラバス説明	前期復習、後期講義概要				
2回	バー・ラウンジについて	バー・ラウンジ概要				
3回	酒の基礎知識	醸造酒、蒸留酒、混成酒について				
4回	ウイスキーについて	ウイスキー歴史、生産国、原料、生産方法について				
5回	ジン、ウォッカについて	スピリッツについて、生産国、原料、生産方法について				
6回	テキーラ、ラムについて	スピリッツについて、生産国、原料、生産方法について				
7回	ブランデーについて	ブランデーについて、生産国、原料、生産方法について				
8回	リキュールについて	リキュールについて、生産国、原料、生産方法について				
9回	日本酒と焼酎について	日本の酒類について				
10回	カクテルの基礎	カクテル概要				
11回	カクテル基礎知識	器具、カクテル作成について				
12回	カクテル実技	カクテル作成				
13回	カクテル実技	カクテルの知識と作成				
14回	カクテル実技	オリジナルカクテル作成				
15回	カクテル実技	オリジナルカクテルプレゼン・期末試験				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	フロントサービス				クラス	E
担当講師(フルネーム)	中牟田 登喜枝				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	宿泊部門の日常業務理解と技術取得				授業形態	講義
到達目標	企業実習、就職にむけてのフロントサービス実技取得					
使用テキスト	ホテルテキスト宿泊II フロント・サービス編					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		前期復習 企業実習の成果をロールプレーでみせよう			
2回	ハウスキーピング		ハウスキーピングの主な業務			
3回	ハウスキーピング		客室についての基礎知識			
4回	ハウスキーピング		客室整備の手順			
5回	ハウスキーピング		客室係の接客サービス			
6回	ハウスキーピング		記録及び報告			
7回	ハウスキーピング		環境への取り組み			
8回	ハウスキーピング		ベッドメイキング実技			
9回	ハウスキーピング		ベッドメイキング実技			
10回	コンシェルジュ		コンシェルジュの意味と歴史			
11回	コンシェルジュ		コンシェルジュの業務(1)			
12回	コンシェルジュ		コンシェルジュの業務(2)			
13回	コンシェルジュ		コンシェルジュに必要な資質と知識			
14回	コンシェルジュ		こんな要望にどう応えますか？			
15回	まとめ		後期範囲復習 期末試験範囲、内容確認			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル 科	
科目名	ホテル総論				クラス	E
担当講師(フルネーム)	長野 美穂				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	講義と過去問題を中心に、宿泊・料飲等、ホテルの各部門にわたっての総合的な知識を身につける				授業形態	講義
到達目標	ホテル実務技能認定試験(初級)合格を目指す					
使用テキスト	ホテル実務技能認定試験 初級過去問題集					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	・ホテル実務技能認定試験について ・授業の進め方、評価方法 ・接遇分野演習				
2回	ホテル実務技能認定試験 問題集	・接遇分野演習 ・解答 ・解説				
3回	料飲分野の知識①	・フルコースの成り立ちと各食材について学ぶ				
4回	料飲分野の知識②	・飲料、その他の知識について学ぶ				
5回	ホテル実務技能認定試験 問題集	・料飲分野演習問題 ・解答 ・解説				
6回	ホテル実務技能認定試験 問題集	・料飲分野演習問題 ・解答 ・解説				
7回	ホテル実務技能認定試験 問題集	・語学分野演習問題 ・解答 ・解説				
8回	ホテル実務技能認定試験 問題集	・その他分野演習問題 ・解答 ・解説				
9回	ホテル実務技能認定試験 過去問題	・過去問題 ・解答、解説、復習				
10回	ホテル実務技能認定試験 過去問題	・過去問題 ・解答、解説、復習				
11回	ホテル実務技能認定試験 過去問題	・過去問題 ・解答、解説、復習				
12回	ホテル実務技能認定試験 過去問題	・過去問題 ・解答、解説、復習				
13回	ホテル実務技能認定試験 過去問題	・過去問題 ・解答、解説、復習				
14回	ホテル実務技能認定試験	資格試験実施 * 点数を期末評価とします				
15回	まとめ	・ホテル実務技能認定試験振り返り				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	就職活動講座				クラス	E
担当講師(フルネーム)	安部紀美江				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	・面接対策のフォローアップをし、志望する企業への内定を勝ち取る。				授業形態	講義
到達目標	・志望する企業の絞り込みを行い、内定へと導く。					
使用テキスト	・「専門学校生のための就職内定基本テキスト」 ・就職ノート ・オリジナルレジュメ					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション・自己PR		・後期授業内容の説明 ・実習体験をもとにした自己PRの作成			
2回	自己PR作成		・実習体験をもとにした自己PRの作成			
3回	自由表現		・多様性のある自己PRを作ることでの様な質問でもPRできるようにする			
4回	自由表現		・自己PRの変形として様々なバリエーションを学ぶ。			
5回	志望動機の作り方		・モデルケースの志望動機を作ってみる。			
6回	志望動機の作り方		・志望動機作成に必要な文言や自己PRとの関連性について考えていく。			
7回	企業研究		・エントリーシートとは何かを理解し、就活にとっての第一歩であることを認識できるようになる。 ・エントリーシートの効果的な作成方法を学び、どう活用するかを考える。 ・過去のエントリーシートを使って、実際にエントリーシートを書いてみる。			
8回	企業研究		・企業研究の重要性と企業研究シートの作成方法を学ぶ。 ・情報収集の必要性和その収集方法ができるようになる。			
9回	企業研究		・企業開催セミナー・説明会に参加する意味と就活への活用方法をわかるようになる。 ・志望する企業の研究と自己PR、志望動機の作成			
10回	志望企業の研究		・受験する企業を絞り込み、その企業に合わせた対策を考えることで自信につなげていく。 ・志望する企業の研究と自己PR、志望動機の作成			
11回	面接対策		・面接の形式 ・面接の受け答えチェックポイント			
12回	面接対策		・よく出る質問の答え方を自身で考え、面接練習を行う。			
13回	面接対策		・よく出る質問の答え方を自身で考え、面接練習を行う。			
14回	面接対策		・よく出る質問の答え方を自身で考え、面接練習を行う。			
15回	完成品のチェック		・後期提出物のチェック			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	SPI言語対策				クラス	E
担当講師(フルネーム)	山本真美				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職試験における筆記試験分野・言語系の対策授業				授業形態	講義
到達目標	筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指し、応用力を養う					
使用テキスト	・一般常識&SPI (実教出版株式会社) ・一般常識&時事/一問一答 (高橋書店)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	SPIを知る	授業方針説明、SPI検査の内容を確認 SPI言語 同意語(意味や内容が近い語) * 夏休みの課題(四字熟語)提出				
2回	日本の特産品	日本地理 ①都道府県名、県庁所在の確認 SPI言語 反意語(意味や内容が反対の語)				
3回	四字熟語	四字熟語テスト ①夏休みの課題(四字熟語)を6回に分けて小テスト 日本地理 ②日本各地の産物を学び、産地との組み合わせを覚える SPI言語 ことばの意味①語句の意味が正しいもの				
4回	世界の気候	四字熟語テスト ② 世界地理 ①世界各地の気候、産物と産地の組み合わせを覚える SPI言語 ことばの意味②意味に適合する語句				
5回	日本史の中の人物	四字熟語テスト ③ 日本史 日本史上の人物に焦点をあてて、歴史を見る(誰が何をしたか?) SPI言語 複数の意味(意味や用法が近いもの)				
6回	世界史の中の人物	四字熟語テスト ④ 世界史 世界史上の有名な出来事を追い、人物と「何」が起きたのか?を見る SPI言語 文章問題①				
7回	文化史	四字熟語テスト ⑤ 文化史 文化・芸術史を学び、有名な芸術作品をおさえる SPI言語 文章問題②				
8回	名言・名句	四字熟語テスト ⑥ 思想史 思想家の名言・名句と著書 SPI言語 原料(加工物とその原料)				
9回	国際連合の役割	国際連合と諸機関 SPI言語 包含・用途・機能				
10回	地域協定	地域協定と経済連携 SPI言語 文章問題③				
11回	G7とG20	G7とG20 国際協調 SPI言語 行為の関係				
12回	日本の政治	中央政治と地方政治 SPI言語 文章問題④				
13回	経済	経済と経済用語 SPI言語 ことわざ・慣用句				
14回	働く環境を考える	労働・社会保障 労働者は守られているか? SPI言語 文章問題⑤				
15回	2年生に向けての準備	時事問題を考える 新聞・ニュースサイトの活用 後期の復習				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	SPI非言語対策				クラス	E
担当講師(フルネーム)	榎木田 裕夫				実務経験	無
授業概要(内容)	SPIは企業がおこなう就職試験です、授業では非言語(数学系)の得点差がつきやすい計算問題や様々な論理問題を解きます。				授業形態	講義
到達目標	SPI、玉手箱、SCOAなどの採用試験が解ける計算力や論理的思考能力を身につける。					
使用テキスト	SPI基本問題集(大和書房)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	四則計算		SPI非言語の基本となる計算問題(分数、小数を使った1次方程式など)を解く。			
2回	割合の問題		割合の問題を解く。			
3回	金銭の問題1		定価・原価・利益のしくみを正しく理解し、損益算の基本問題を解く。			
4回	金銭の問題2		損益算の標準問題を解く。			
5回	ハジキ問題1		速度算の基本計算(単位を合わせて式を立て時間や距離を求める)を理解し、問題を解く。			
6回	ハジキ問題2		速度算の標準問題(旅人算の同方向、反対方向など)を解く。			
7回	食塩水の問題1		食塩水の中の塩の量を求める基本計算を理解して問題を解く。			
8回	食塩水の問題2		濃度算の応用問題(異なる濃度の食塩水を混ぜる)を解く。			
9回	順列の問題1		順列Pの計算を理解し、基本問題を解く。			
10回	順列の問題2		順列の応用問題(並べ替え、色の塗り方、円順列など)を解く。			
11回	組み合わせの問題		組み合わせの応用問題(チームにわけ、最短経路の問題、文字の並べ方)を解く。			
12回	確率の問題1		確率の意味を理解し、基本問題(サイコロの出た目、コインの表裏)を解く。			
13回	確率の問題2		確率の標準問題(カード、色玉など)を解く。			
14回	推論の問題		推論(順位を考える問題など)を解く。			
15回	後期のまとめ		後期のまとめ。			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	面接対策				クラス	E①②
担当講師(フルネーム)	宮前訓子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職面接(対面・オンライン)に対応できるマナーを習得すること。 これまでの自分の経験に基づく自己分析をしようで自己PRを作成する。				授業形態	実技
到達目標	第1次面接に対応できる基本的なマナーを習得し、面接時に必要な対応力を身につける。					
使用テキスト	なし (A4サイズのバーファイルをご用意ください) 初回時にお知らせします。					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	面接に親しむ		面接の本質を理解する 第一印象の重要性について自覚する 実技・・・お辞儀の訓練			
2回	自己分析①		自己分析のやり方を理解する 私のパーソナリティ(プリント)を使用して自己分析する 実技・・・入室・退室・挨拶のやり方			
3回	自己分析②		自己分析のやり方を理解する 他者から見た自分 実技・・・他者を分析する			
4回	自己分析③		自己分析のやり方を理解する 自分史作成 実技・・・人前で話す			
5回	自己PR①		自己PRの考え方 実技・・・伝わる自己PRのやり方を実践する			
6回	自己PR②		自己PRの作成 5W2Hで考えてみる 実技・・・伝わる自己PRのやり方を実践する			
7回	リモート面接		オンライン面接の基本と注意点を学ぶ (スマホを持参してください) 自己紹介で自分の映りをチェックする 実技・・・オンライン面接を体験する (状況により実施できない場合もあります)			
8回	グループディスカッション①		グループディスカッションのやり方とマナーの理解 実技・・・グループディスカッション			
9回	グループディスカッション②		グループディスカッションのやり方とマナーの理解 実技・・・人前でディスカッションする			
10回	志望動機①		志望動機の作り方			
11回	志望動機②		なぜこの業界を選んだのか 実技・・・面接の形で答える			
12回	質疑応答対策①		いろいろな質問に答える 実技・・・面接官を体験する			
13回	面接試験①		グループ面接 (欠席の場合は他の日で実施、もしくは授業時間内の実技を採点対象とします)			
14回	面接試験②		グループディスカッション (欠席の場合は授業時間内の実技を採点対象とします)			
15回	まとめ		1年時の授業のまとめ			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ウェディングフォト実習				クラス	E
担当講師(フルネーム)	坂井 隆仁(1～7回、15回)・島崎満美子(8～14回)				実務経験	有(ブライダル業界勤務歴)
授業概要(内容)	前半では動画作成と結婚式で流す音楽の知識を身につけていきます。 後半では、様々な会場で働く上での基本的なブライダル衣装の知識を学ぶ				授業形態	講義&演習
到達目標	オープンキャンパス等で使用できる動画、結婚式で呼ばれた際に流すことができる動画等の作成 就職して現場ですぐに役立つことを学ぶ					
使用テキスト	適宜プリント配布					
成績評価方法	・提出課題(筆記試験含む)70% 出席30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーションと環境準備		自己紹介、動画制作の環境準備 画像保存と加工方法 データ種類と管理方法			
2回	動画制作①-1		基本的操作の習得 音楽に合わせて画像を動かす			
3回	動画制作①-2 音楽について		結婚式で使う音楽を考えてみましょう！			
4回	動画制作②		テクニックを増やそう！ フリーズモーションの作成			
5回	動画制作③-1		結婚式で上映する動画作成			
6回	動画制作③-2		結婚式で上映する動画作成			
7回	動画制作③-3		結婚式で上映する動画作成			
8回	衣裳店のビジネス		○衣裳の歴史等 ○役割とビジネス(営業形態) ○成約から納品までのプロセス			
9回	和装衣裳		○和装衣裳の移り変わり ○男性衣裳 ○女性衣裳 ○和装に必要な小物 ○列席者 留袖について			
10回	洋装衣裳①		○洋装衣裳の移り変わり ○会場・目的別によるデザイン ○男性衣裳 ○女性衣裳 ○プロトコール(ドレスコード) (ドレスライン、ネックライン、スリーブ(デザイン)(ブーケ&ブートニアについて)			
11回	洋装衣裳②		○体形によるスタイリング効果			
12回	洋装衣裳③		○ヘアスタイルによるスタイリング効果 ○ブライダルパーティー (海外ウェディング)			
13回	衣裳の商品管理		○ドレスの持ち運び ○メンテナンス・クリーニング、保管 ○仕入れ			
14回	総まとめテスト		8～13回目の総復習テスト			
15回	課題提出		上映会(評価)			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ブライダルセールス				クラス	E
担当講師(フルネーム)	鷹取 恭子				実務経験	有(ブライダル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ウェディングシステムを使用し、打合せ全体を把握する				授業形態	講義
到達目標	ブライダルプランナーとしての接客に於ける接客トーク演習とシステム操作					
使用テキスト	RWA(システム)制作コンテンツ保存用USBメモリー各自持参					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験						
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	・パソコンID セットアップ方法 ・後期授業スケジュールの説明とシステム活用方法の説明				
2回	ブライダルのABC	ブライダル用語とは ・挙式スタイルの分類(RWA-A) ・披露宴スタイルと一般的な流れ(RWA-B)				
3回	日本におけるブライダル	・ブライダルの歴史 ・ブライダルに関連した日本・外国の習慣・しきたり(RWA-A・B) ・今のブライダルの主流				
4回	ブライダルにおける接客 Vol. 1	・挙式スタイルの提案(RWA-A)				
5回	ブライダルにおける接客 Vol. 2	・披露宴スタイルの提案(RWA-A)				
6回	ブライダルアイテム1	・料理 RWA-A ・装花				
7回	ブライダルアイテム2	・衣装 RWA-A ・美容 ・演出・写真				
8回	ブライダルサービス実務 Vol. 1	・ブライダルサービス実務の一般的な流れ RWA-A・B (資料請求対応～フェア内容・会場案内)				
9回	ブライダルサービス実務 Vol. 2	・ブライダルサービス実務の一般的な流れ RWA-A・B (仮予約・本予約・規約説明・申込み手続き)				
10回	ブライダルサービス実務 Vol. 3	・ブライダルサービス実務の一般的な流れ RWA-A・B (婚礼打合せ～アイテム紹介)				
11回	ブライダルサービス実務 Vol. 4	・ブライダルサービス実務の一般的な流れ RWA-A・B (婚礼打合せ～発注・手配・最終確認)				
12回	ブライダルサービス実務 Vol. 4	・ブライダルサービス実務の一般的な流れ RWA-A・B (挙式当日～挙式以降の業務)				
13回	ブライダルサービス実務 まとめ	・ブライダル用語の理解 ・敬語の使い分けの理解				
14回	ブライダルサービス実務 に必要な接客マナー Vol. 2	・お客様対応の留意点 ・クレーム対応とコンプレの実例				
15回	まとめ	・14回の振り返り ・質疑応答(これまでの講義で気になったところや不安なところ) ・プランナーを目指す方へ伝えたいこと(講師より)				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	コンシェルジュ				クラス	A
担当講師(フルネーム)	中牟田 登喜枝				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	コンシェルジュを含むフロント・オフィス業務についての基本知識を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	予約からチェックアウトまでの流れを理解し接客スキルを磨く					
使用テキスト	ホテルテキスト宿泊Ⅰフロントオフィス編					
成績評価方法	・期末試験50%、実技50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	前期復習		前期復習 チェックイン			
2回	レセプション業務		チェックイン・ロールプレー(評価)			
3回	レセプション業務		チェックアウト業務 ナイト業務 デイリールームレポート			
4回	レセプション業務		デイリールームレポート			
5回	フロントキャッシャー業務		ホテルビル サービス料と税金 宿泊料金計算			
6回	フロントキャッシャー業務		宿泊料金計算 外貨両替			
7回	フロントキャッシャー業務		清算手順と方法			
8回	フロントキャッシャー業務		清算手順と方法			
9回	フロントキャッシャー業務		清算業務実技			
10回	フロントキャッシャー業務		清算業務実技			
11回	フロントキャッシャー業務		清算業務実技(評価)			
12回	フロントキャッシャー業務		清算業務実技(評価)			
13回	コンシェルジュ		コンシェルジェの歴史 レクレドール コンシェルジェの業務			
14回	コンシェルジュ		インフォメーションの種類と手順			
15回	コンシェルジュ		防犯業務 後期まとめ			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	フランス語				クラス	A
担当講師(フルネーム)	ニコラ ドゥ メニス				実務経験	無
授業概要(内容)	フランスで旅行が出来るために、簡単な質問と答えを増やす。 フランス語でフランスの文化を学んで、フランスに興味を作る。				授業形態	講義
到達目標	主に、皆さんが楽しく色んな勉強をしながら、フランスの文化を学ぶ。					
使用テキスト	Pascal au Japon & Spirale					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	フランスの文化	前期の復習 フランス人はどんな夏休みを過ごすのをフランス語でプレゼンテーション。 2回目のために、皆さんの夏休みを一言お話をもらいます。				
2回	過去形 1	皆さんの夏休みについて話してもらいます。 過去形の文法を勉強します。				
3回	過去形 2	過去形を使うロールプレイ・ゲームします。 最後に、ミニテストします。				
4回	フランスへ旅行 1	旅行出来るために、飛行機、電車などの法乗り方を勉強します。 数字の復習・時間・お会計の勉強します。 フランスやヨーロッパのサービス文化を学びます。				
5回	フランスへ旅行 2	旅行出来るために、ホテルの予約やチェックイン、レストランの注文を勉強し ロールプレイをしながらフランス料理の興味を作ります。 フランスやヨーロッパのサービス文化を学びます。				
6回	フランスへ旅行 3	ミニテスト 旅行にいいあるトラブルを解決出来るために新しい文法を勉強します。 フランスやヨーロッパのサービス文化を学びます。				
7回	プレゼンテーション 1	2-3人のグループで、フランスの有名な建物などのプレゼンテーションをつく フランスやヨーロッパの文化・を学びます。				
8回	プレゼンテーション 2	作ったプレゼンを皆さんに見せます。 フランスやヨーロッパの文化・を学びます。				
9回	未来形 1	未来の文法を勉強します。 未来のお話します。				
10回	未来形 2	未来形を使って自分の目的やプランを話します。 グループでロールプレイします。				
11回	意見 1	ミニテスト フランス語の景色を紹介されるビデオを見て、自分の意見を言います。				
12回	意見 2	グループで、フランス語を使って自分に合う旅行のプランを作ります。				
13回	まとめ	今年勉強しましたフランス語をまとめて、テストに向けて復習します。				
14回	テスト	授業中に実施				
15回	映画	リストから見たい映画を選んで見ます。 (レジットテスト)				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	ホテルブライダル科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ				クラス	Aクラス
担当講師(フルネーム)	松本範子				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	日常生活だけでなく、接客で使う語彙や会話表現を学び オンラインレッスンで実践する				授業形態	講義
到達目標	学んだ英語を実践で活かせるようにする					
使用テキスト	絵で見てパッと言う英会話トレーニング、予習・復習プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	絵で見てパッと英会話		提案①			
2回	絵で見てパッと英会話		提案②			
3回	おもてなし英語		周辺案内			
4回	絵で見てパッと英会話		スモールトーク①			
5回	絵で見てパッと英会話		スモールトーク②			
6回	おもてなし英語		日本の文化・習慣を伝える			
7回	絵で見てパッと英会話		観光の計画①			
8回	絵で見てパッと英会話		観光の計画②			
9回	おもてなし英語		トラブル・クレーム対応			
10回	絵で見てパッと英会話		日本を案内する①			
11回	絵で見てパッと英会話		日本を案内する②			
12回	おもてなし英語		電話対応			
13回	絵で見てパッと英会話		日本を案内する③			
14回	絵で見てパッと英会話		日本語案内する④ 英語アセスメントテスト			
15回	おもてなし英語		チェックアウト			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ユニバーサルサービス				クラス	A
担当講師(フルネーム)	原田 歩				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	障害者や高齢者の生活の一部を体験し、理解を深める 基本的な介護知識を身につける				授業形態	講義 & 演習
到達目標	仕事だけではなく、日常生活でも気づき実践できるようになる					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ユニバーサルデザインについて考える 身近なユニバーサルデザインを学ぶ				
2回	視覚障害者へのサービス①	視覚障害者についての基本知識を習得する 介助犬について学ぶ 盲導犬について理解を深める				
3回	視覚障害者へのサービス②	視覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める 全盲体験をする 体験から学んだことを共有する				
4回	視覚障害者へのサービス③	視覚障害者への接客を学ぶ 手引きの方法を学ぶ ホテル内を想定し案内する				
5回	視覚障害者へのサービス④	視覚障害者への接客を学ぶ 手引きの方法を学ぶ ホテル内を想定し案内する				
6回	聴覚障害者へのサービス①	聴覚障害者の基本知識を習得する 聴覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める 体験から学んだことを共有する				
7回	聴覚障害者へのサービス②	様々なコミュニケーション方法を学ぶ 筆談でチェックイン業務を行う				
8回	高齢者へのサービス①	高齢者についての基本知識を習得する 高齢社会について考える 加齢に伴う心身の変化を理解する				
9回	高齢者へのサービス②	認知症についての基本知識を習得する 認知症の症状を学ぶ 高齢者への接客を学ぶ				
10回	知的・発達・精神・言語障害のある方	知的・発達・精神障害についての基本知識を習得する 知的・発達・精神障害者への接客を学ぶ				
11回	内部障害のある方	内部障害についての基本知識を習得する 内部障害者への接客を学ぶ				
12回	妊娠中の方・小さなお子さま連れの方	妊娠中の方についての基本知識を習得する 小さなお子さま連れの方への接客を学ぶ 施設や店舗で喜ばれるサービスを考える				
13回	肢体障害者へのサービス①	肢体障害者や麻痺のある方についての基本知識を習得する 車椅子の種類と基本操作を学ぶ 校内を自走する				
14回	肢体障害者へのサービス②	車椅子をご利用の方への案内方法を学ぶ 自走体験をもとに注意すべき点に気づく ホテル内を想定し案内する				
15回	肢体障害者へのサービス③	車椅子をご利用の方への案内方法を学ぶ 自走体験をもとに注意すべき点に気づく ホテル内を想定し案内する				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	手話				クラス	A
担当講師(フルネーム)	鶴田 由香				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	聴覚障害についての理解を深め、音声言語以外のコミュニケーション手段を用いての対応を学ぶ・手話				授業形態	講義
到達目標	日常会話・基本的な接客手話の取得					
使用テキスト	手話テキスト・プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	聴覚障がい者のお客様への対応と配慮		聞こえないとは コミュニケーションについて 聴覚障害の基礎知識			
2回	伝えあってみましょう		物の形や特徴をとらえて表現する 見る言葉であることの理解			
3回	自分のことを伝える		あいさつの手話 名前を表現する			
4回	人物の表し方		人物の表現を覚えましょう 家族や周りのひとを表す			
5回	身近な話題を話そう		趣味や気持ちを表現する 形容詞			
6回	数字の表し方		数の表現 接客で使う数字の表現			
7回	指文字を覚えよう		指文字で表現 目で見ることば			
8回	道案内と乗り物に関する手話		住所・日本の都道府県 住所や建物の表現			
9回	会話練習		手話で日常会話をしてみましょう			
10回	聴覚に障がいのあるお客様の対応		きこえないとはどういうことか 日本でのサービス			
11回	接客手話		接客手話を覚えよう			
12回	手話時間の経過		時間の流れの表現			
13回	表情豊かに		手話・口・表情のたいせつさ			
14回	実技テスト		ホテルでの接客ロールプレイング			
15回	総復習		まとめ			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	フレッシュャーズ教育				クラス	A
担当講師(フルネーム)	大西 希久永				実務経験	無
授業概要(内容)	授業を通して社会人になった際の知識(考え方、動き方含む)を事前に身につける				授業形態	講義
到達目標	社会人としての基礎知識を身に着ける					
使用テキスト	適宜プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	求人票 (会社内の組織について)	・求人票の見方 ・主な部署と役割(一般、外資) ・主な福利厚生について				
2回	給与明細 (働くということ)	・給与明細の見方(社会保険、税金) ・社会人としての心構え①				
3回	就業規則 (働くということ②)	・就業規則について ・社会人としての心構え②				
4回	1日の流れ	・出社から退社までのマナー ・仕事での立ち振る舞い				
5回	第一印象	・視覚情報、聴覚情報、言語情報 ・身だしなみについて				
6回	新入社員の自己紹介	・好感度を高める為のステップ ・おじぎ、挨拶				
7回	仕事の仕方	・仕事の進め方 ・ほうれんそうについて(連絡の仕方) ・スケジュール管理術				
8回	言葉遣い	・敬語の基本 ・ビジネスでの間違い敬語 ・ビジネスで活用できる言い回し				
9回	やりとりの仕方	・ビジネス文書 ・電話、メール				
10回	接し方	・席次のルール ・来客対応				
11回	人権 コンプライアンス (個人情報の取り扱い)	・ハラスメントについて ・社内での人間関係について ・社内、社外で気をつけること ・SNSトラブルについて				
12回	会議について	・準備や流れについて ・意見の伝え方 (グループワーク)				
13回	上司(同僚)との付き合い方 ・強みの発見	・オフィスでのトラブルについて ・ミス、叱られた際の対応 ・懇親会のマナーなど ・自身の強みの発見、認識				
14回	テスト・まとめ	・テスト ・まとめ				
15回	まとめ	・生徒ヒアリングのうえでの授業内容 ・疑問点等の解決 ・テスト答え合わせ				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	社会情勢研究				クラス	A
担当講師(フルネーム)	前田恭子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	新聞を用いて話題性の高い時事ニュースを読み解く				授業形態	講義
到達目標	時事ニュースについて自分の意見を述べられるようになる					
使用テキスト	オリジナルプリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	ニュースの発信源		・授業の進め方、評価方法について理解する ・新聞を読む意義を理解する・授業の進め方、評価方法について理解する ・日本および主要国の新聞社、通信社を知る			
2回	新聞の構成		・新聞の構成を知る ・新聞から必要な情報を探し出せるようになる			
3回	時事を学ぶ①		・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる			
4回	新聞研究①		・記事をジャンル分けできるようになる ・記事の要旨を「5W1H」を意識してまとめられるようになる			
5回	時事を学ぶ②		・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる			
6回	新聞研究②		・難解な語彙を調べながら、記事を読み進めることができる ・記事の要旨とともに、自分の意見も述べられるようになる			
7回	時事を学ぶ③		・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる			
8回	新聞研究③		・記事の背景を理解しながら、記事を読み進めることができる ・記事の要旨を自分の意見とともに発表できるようになる			
9回	時事を学ぶ④		・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる			
10回	新聞研究④		・興味の幅を広げて、記事を読むことができる ・発表内容を聞き、要旨を理解することができる			
11回	時事を学ぶ⑤		・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる			
12回	新聞研究⑤		・グループで研究テーマを決めて、発表準備をする			
13回	新聞研究⑥		・研究テーマについてグループで発表準備をする			
14回	新聞研究⑦		・グループごとに研究発表をする			
15回	新聞研究⑧		・グループごとに研究発表をする			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	Web広告戦略				クラス	A
担当講師(フルネーム)	坂井 隆仁				実務経験	有(ブライダル業界勤務歴)
授業概要(内容)	実際に動画作成、Webサイトを作成を経験した上で、広告の学習をしていきます。他にもPCのできる事を色々と学習していきます。				授業形態	講義&演習
到達目標	パソコンを使って色々な事ができる人材になっていきましょう。					
使用テキスト	なし。課題、資料等はデータで配布予定。					
成績評価方法	・課題提出70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	スケジュール確認、タイピング練習 ファイルの保存、管理、提出方法について 画像の取得方法、人物抽出方法の紹介				
2回	動画制作①	写真を使ってスライドショーを作成 音楽の挿入、トランジションの使い方 動画広告について				
3回	動画制作②	課題作成① 音楽に合わせて動画編集 動画に使える撮影方法を紹介				
4回	動画制作③	課題作成②-1 商品紹介動画作成				
5回	動画制作④	課題作成②-2 商品紹介動画作成				
6回	バナーについて①	canvaで実際にバナーを作りましょう。 色々なWebサイトを見てどんなバナーがあるか調査してみましょう。				
7回	バナーについて②	canvaで実際にバナーを作りましょう。 テーマ別にバナーを作成				
8回	Webサイトを作ってみましょう①	ペライチへ登録 webサイト作成 課題①				
9回	Webサイトを作ってみましょう②	webサイト作成 課題②				
10回	Webサイトを作ってみましょう③	webサイト作成 課題③				
11回	Webサイトを作ってみましょう④	webサイト作成 課題④				
12回	Webサイトを作ってみましょう⑤	seo対策について 公開する手順説明				
13回	広告の種類と効果	動画やWebサイトを作ってきましたが、どんな効果があるのか？ また他にどんな広告があるのかを学びます。				
14回	Webサイトの更新①	Webサイトを更新しながら、HTML・CSSを学習していきましょう 課題①				
15回	Webサイトの更新② 振り返り	Webサイトを更新しながら、HTML・CSSを学習していきましょう 課題② まとめ				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科		
科目名	観光産業概論				クラス	A	
担当講師(フルネーム)	友納真				実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	旅行会社から見たホテル。旅行会社との繋がりから観光業界を知る。				授業形態	講義	
	観光素材である移動手段(鉄道・航空)・観光地理を学ぶ。						
到達目標	観光についての知識を習得する						
使用テキスト	講師作成プリント						
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30%(小テスト・提出物含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施						
	テーマ	授業内容					
1回	旅行とホテル	・旅行会社から見たホテル ・旅行会社の仕組み(手配・収入)					
2回	観光業界のおもてなし	・観光業界におけるおもてなしを学ぶ					
3回	国内の交通①	・JR(旅客鉄道株式会社)線 ・全国7つの新幹線と接続する特急列車 ・営業規則					
4回	国内の交通②	・D&S 九州の観光列車を学ぶ					
5回	国内の交通③	・JR時刻表を使ってみよう					
6回	国内の交通④	・国内の空港・航空会社を知る ・営業規則(国内大手2社) ・航空予約端末「アマデウス」を使ってみよう。					
7回	九州	・九州の観光地・名産品を学ぶ ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ					
8回	北海道・沖縄	北海道 ・北海道・沖縄の地域・交通・気候 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ					
9回	東京・大阪・京都	東京都・大阪府・京都府 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ					
10回	海外旅行の基礎知識	・海外旅行の基礎知識 ・時差・言語・宗教・文化の違いを学ぶ ・海外の地勢を学ぶ					
11回	韓国	韓国 ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ					
12回	中国①	中国・香港・マカオ・台湾 ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ					
13回	中国②	シルクロード・チベット ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ					
14回	東南アジア	マレーシア・シンガポール・ベトナム・タイ ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ					
15回	ヨーロッパ	イギリス・フランス・イタリア ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ					

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	HRS実技セミナー				クラス	A
担当講師(フルネーム)	小西 翼				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ホテルレストランサービス技能検定(3級)の実技試験合格に向けて、対策を行う。				授業形態	実技
到達目標	ホテルレストランサービス技能検定(3級) 全員合格					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 (R認定もしくはI評価)				単位数	1
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	実技試験に向けての練習	2021年度 HRS試験(実技)課題の説明・デモンストレーション・練習				
2回	実技試験に向けての練習	反復練習				
3回	実技試験に向けての練習	反復練習				
4回	実技試験に向けての練習	反復練習				
5回	実技試験に向けての練習	反復練習				
6回	実技試験に向けての練習	反復練習				
7回	実技試験に向けての練習	反復練習				
8回	実技試験に向けての練習	反復練習				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル 科	
科目名	和の作法				クラス	A選択
担当講師(フルネーム)	長野 美穂				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	着物のたたみ方や小物の名称などを覚える 着付けの練習				授業形態	実技
到達目標	自装と他装で名古屋帯が結べるようになる					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	出席率100% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	着物	座礼で挨拶 備品の取り扱い方の注意点 着物と腰紐をきれいにたためるようになる 腰ひもを結ぶまで				
2回	着物	前回の復習 衿合わせ～伊達締めまで				
3回	半幅帯	半幅帯の結び方を覚える(文庫) 自装 他装				
4回	名古屋帯	名古屋帯を結ぶ(他装) お太鼓を作るまで				
5回	名古屋帯	名古屋帯を結ぶ(他装) 帯揚げ、帯締めの結び方をマスター				
6回	名古屋帯	名古屋帯を結ぶ(自装) ひたすら練習				
7回	名古屋帯	名古屋帯を結ぶ(自装) ひたすら練習				
8回	総まとめ	自装で着付けをして、お互いを手直し トータルコーディネートをして写真撮影				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル 科	
科目名	ブライダルコーディネーター検定対策				クラス	A
担当講師(フルネーム)	長野 美穂				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	2022年1月26日(水)実施のブライダルコーディネーター技能検定の合格を目指しつつ、ブライダルの歴史や業務に関する基礎知識を身に付ける				授業形態	講義
到達目標	ブライダルコーディネーター技能検定3級に合格					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験						
	テーマ		授業内容			
1回	イントロデュース		試験概要 授業の進め方、評価の仕方の説明			
2回	過去問題を解く		約10年分の過去問題を解き、解答&解説を行う 挙式について復習			
3回	過去問題を解く		約10年分の過去問題を解き、解答&解説を行う ウェディングドレスの種類とデザインの復習			
4回	過去問題を解く		約10年分の過去問題を解き、解答&解説を行う 結納について復習			
5回	過去問題を解く		約10年分の過去問題を解き、解答&解説を行う ブライダルにまつわる西洋の習慣について学ぶ			
6回	過去問題を解く		約10年分の過去問題を解き、解答&解説を行う 実技試験に向けて対策			
7回	模試		2020年度過去問題に挑戦 解答&解説			
8回	模試の復習		今年度のブライダルニュースの振り返り 予想問題にチャレンジ			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル プライダル科	
科目名	Maitre d'hotel				クラス	Aクラス
担当講師(フルネーム)	HASHIGUCCI JUNJ				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ホテルF&Bの最高級技能を学ぶ 清掃に始まり清掃に終わる				授業形態	実技
到達目標	HRSコンクール出場を目標としたカリキュラム					
使用テキスト	non					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Description de la classe Facile Trancée.	Pour l'introduction et la façon de gérer l'OE pour être utilisé dans la salle. Hôtel restaurant introduction qui il est un Maitre d'hotel. Le secret de Guéridon., une tranche simple.				
2回	Trancée. (Peler)	Polissage de couteau. Trancher diverses méthodes. Peler de d'orange, pomme, kiwi, banane, ananas, etc ..(Avec changement ingrédients) Autres organisée.				
3回	Pour-deux.	Technologie de serveur formelle.pour-deux. Salad Melanger Salad Caesar etc. Autres organisée.				
4回	Decoupage.	Découpe de viande. Technologie de découpe de la viande et de l'application de. Autres organisée.				
5回	Avant Desserts Grand Desserts	Avant Deseru propos. Glaces et sorbets de techniques de service.Flambe de fruits. Coupe à dessert et pour bomber la technologie. Gateau, chocolat, mousse, crème, etc. Autres organisée.				
6回	Première flambé.	Flambe wagon, pour les instructions d'utilisation. Fruits(Ananas, pêche blanche,etc.) Autres organisée.				
7回	Deuxième moment de flamber.	Flambe wagon, pour les instructions d'utilisation. Beurre Suzette créer et Crêpe Suzette. (Crêpe flambé) Autres organisée.				
8回	Finale maître d'hôtel.	Flambe wagon, pour les instructions d'utilisation. cerises jubile.(Reine Victoria, monta sur le trône fête anniversaire a concédé 50 produits.) Autres organisée.				

観光・鉄道

学年	科目名
2	海外観光地理
2	観光ゼミ
2	アマデウス
2	プレゼンテーション
2	ワールドカルチャー
1	鉄道概論
1	鉄道基礎
1	鉄道係員
1	就職活動講座
1	コミュニケーションイングリッシュ
1	就職筆記試験対策Ⅰ
1	就職筆記試験対策Ⅱ
1	時刻表
1	鉄道駅実務
1	鉄道業界研究
1	鉄道車両
1	サービス介助士
1	面接対策
1	ペン字
2	鉄道概論
2	鉄道実務
2	コンピュータ
2	コミュニケーションイングリッシュ
2	鉄道旅行プランニング
2	コミュニケーション学
2	フレッシュャーズ教育
2	社会情勢研究

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	観光科	
科目名	海外観光地理				クラス	K
担当講師(フルネーム)	挽田雅子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	海外旅行の企画・販売・添乗のために必要な海外地理の基礎知識を学ぶ。 世界各地の観光資源の地域性や魅力を理解する。				授業形態	講義
到達目標	海外の観光都市、観光地、観光ポイントの名前と場所を覚え、特徴を述べることができる。					
使用テキスト	海外観光資源、海外観光地理サブノート、旅に出たくなる地図(世界)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	アメリカ(1)	サブノート記入チェック 東海岸 ワシントンD.C. ポストン ニューヨーク マイアミ オーランド				
2回	アメリカ(2)	サブノート記入チェック 小テスト ニューオーリンズ 西海岸 サンフランシスコ ロサンゼルス				
3回	カナダ	サブノート記入チェック 小テスト トロント ケベック カナディアンロッキー バンクーバー				
4回	中米・カリブ諸国	サブノート記入チェック 小テスト 中米 メキシコ カリブ諸国 キューバ ジャマイカ				
5回	南米	サブノート記入チェック 小テスト ペルー ブラジル				
6回	発表	発表 アメリカ・カナダ 中南米				
7回	オーストラリア	サブノート記入チェック 小テスト シドニー メルボルン ケアンズ ブリスベーン パース				
8回	ニュージーランド	サブノート記入チェック 小テスト オークランド ロトルア クライストチャーチ クイーンズタウン				
9回	グアム・サイパン・南太平洋	サブノート記入チェック 小テスト グアム サイパン ニューカレドニア フランス領ポリネシア(タヒチ)				
10回	トルコ	サブノート記入チェック 小テスト イスタンブール トロイ カッパドキア パムツカレ				
11回	エジプト	サブノート記入チェック 小テスト カイロ ギザ ルクソール アスワン				
12回	アフリカ北部	サブノート記入チェック 小テスト モロッコ カサブランカ マラケシュ チュニジア アルジェリア				
13回	アフリカ東部	サブノート記入チェック 小テスト エチオピア ケニア タンザニア				
14回	発表	発表 オセアニア・太平洋 アフリカ・中東				
15回	まとめと復習	後期のまとめ 北・中・南アメリカの復習 オセアニア・太平洋・中東・アフリカの復習				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	観光科	
科目名	観光ゼミ				クラス	K
担当講師(フルネーム)	友納真				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	観光業界に関連する事柄を学ぶ。 12月の研究発表会の発表準備。内定先企業について研究し、就業に備える。				授業形態	講義&演習
到達目標	旅行会社のカウンター販売(国内旅行編)					
使用テキスト	国内旅行カウンター販売					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 (RもしくはI単位認定)					単位数 2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回 9/15(水)	講座①		福岡市出前講座「SDGs(持続可能な開発目標)について」 講師:福岡市総務企画局 真名子 健太様			
2回 9/22(水)	講座を受けて／事前学習		講座①を受講しての振り返り 講座②の事前学習			
3回 10/6(水)	講座②		韓国観光公社におでかけ 日本から、福岡からもっとも近い韓国について学ぶ。			
4回 10/6(水)			福岡の名園である池泉回遊式庭園・楽水園見学。 楽水園にて抹茶体験。 ※3回・4回は2コマ続けての講義となります			
5回 10/13(水)	研修後レポート		講座②を受講しての振り返り			
6回 10/20(水)	研究発表会準備①		12月実施の研究発表会に向けて準備			
7回 10/27(水)	研究発表会準備②		準備の続き			
8回 11/10(水)	研究発表会準備③		準備の続き			
9回 11/17(水)	研究発表会準備④		準備の続き			
10回 12/1(水)	研究発表会準備⑤		準備の続き			
11回 12/8(水)	研究発表会準備⑥		リハーサルを行い、本番に備える。			
12回 12/15(水)	内定先・企業研究①		自身の内定先・進路の研究 (パワーポイント等使用し、発表準備)			
13回 1/12(水)	内定先・企業研究②		研究の続き			
14回 1/19(水)	内定先・企業研究③		研究の続き			
15回 1/26(水)	企業研究・発表		内定先・進路の研究発表			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	観光科	
科目名	アマデウスアルテア				クラス	KY
担当講師(フルネーム)	横瀬 敦子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	予約の基礎に加え、応用へと進む。座席指定や機内食・マイレージ登録など複雑なPNR作成を行う。				授業形態	実技
到達目標	予約操作の応用をマスターする。アマデウスシステム検定「初級」全員合格を目指す					
使用テキスト	amadeusu ユーザーガイド予約 早見表					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	前期復習	簡単なPNR作成を行う(直行・乗継ぎ・オプション指定含む) 小児・幼児を含む、PNR作成を行う DNEエントリー入力(機材の大きさチェック)				
2回	前期復習	PNRの完了・抽出・変更・取消の復習を行う				
3回	2区間の空席照会	2区間空席照会の入力と画面確認を行う 2区間空席照会からの予約を行う スピードマスタ予約を習得する				
4回	ダイレクトアクセス	ダイレクトアクセスとは何かを学ぶ ダイレクトアクセス空席照会とAN(空席照会)の違いは何かを理解する				
5回	フライトスケジュール	フライトスケジュール入力を学ぶ AN(空席照会)との違いを学ぶ				
6回	その他・便利入力	便利入力(キーボード・画面履歴)を使用して、PNR操作処理を高める オープンセグメント予約を行う DO入力にて、航空便の詳細を知る				
7回	SSR入力	SSRとは何かを理解する 機内食入力について概要説明、メインの食事サービスコードを覚える				
8回	SSR入力	機内食入力を含む、PNR作成を行う その他のSSRコード説明(バシネット・車いす・パスポートデータ入力など)、テキストにて知識を深める マイレージサービスとは何かを学び、FFP入力を含むPNR作成を行う				
9回	SSR入力	シートマップからの(グラフィックページにて)座席指定を理解する 座席指定(座席番号指定)を含む、PNR作成を行う				
10回	SSRの追加と取消	今まで学んだ様々なSSRをPNRに追加する SSRの取消も行う				
11回	SSRとOSI	OSIとは何かを学ぶ(PNRとの関連付けも学ぶ) 完成したPNR構成中のOSIやSSR表示の意味を理解する(何のために入力されているのか) RMKSとは(confidential入力)				
12回	検定対策	初めての検定に向けての心がまえを学ぶ 検定対策を行う(過去問題と添削)				
13回	検定対策	検定対策を行う(過去問題と添削)				
14回	総復習	後期の総復習 後期・期末試験対策を行う				
15回	期末試験	後期・期末試験の実施				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	観光科	
科目名	プレゼンテーション				クラス	K
担当講師(フルネーム)	吉良 牧子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	発声、発音、滑舌など基本的な話し方を学び 誰からも好感もてる対話やプレゼンテーションが出来るようになる				授業形態	講義
到達目標	社会で自己PRでき、商品をPRでき、意見の言える人材になる					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		コミュニケーション学の復習 今後の授業について			
2回	笑顔・挨拶		復習 良い第一印象とは 名刺交換			
3回	スピーチ		30秒 1分 3分			
4回	発表		(もしくは課題提出)			
5回	商品説明①		おススメを他者にPRする方法 印象を残す文章 そこに集客力があるか、ないか			
6回	発表		誰の何を買うか (もしくは課題提出)			
7回	CM		印象に残るキャッチフレーズを作ろう			
8回	フリートーク術		共通のワードから会話をふくらませる			
9回	インタビュー		質問の仕方 会話の広げ方 本音を引き出す話し方			
10回	ナレーション		印象に残る話し方			
11回	好きなことプレゼン		趣味(映画、本、夢中になっていること)			
12回	発表		熱を伝える (もしくは課題提出)			
13回	フィードバックの仕方		プレゼンテーションの発表に対しフィードバック出来るようになる			
14回	フィードバックの仕方		発表⇄フィードバックの練習			
15回	まとめ					

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	観光科	
科目名	ワールドカルチャー				クラス	K
担当講師(フルネーム)	挽田雅子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	現代社会に対する理解を基盤として国際感覚に基づいて行動できる。 世界の文化について、口頭表現や文章表現によって発信することができる。				授業形態	講義
到達目標	異文化理解を深め、グローバルな業界人として活躍できるようになる。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	発表40% レポート40% 授業参画度20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	イントロダクション(授業内容、評価方法について) 発表のテーマを考える 多文化社会とは				
2回	多文化社会	民族と文化 アメリカ カナダ				
3回	多文化社会	民族と文化 オーストラリア ニュージーランド				
4回	多文化社会	民族と文化 日本 マイノリティ				
5回	音楽	ポピュラーミュージック ロック ブラックミュージック				
6回	音楽	世界の音楽 サンバ・ボサノバ レゲエ				
7回	美術	ルネッサンス レオナルド・ダ・ヴィンチ ミケランジェロ				
8回	美術	印象派～近代 ピカソ ゴッホ				
9回	研究発表	世界の文化について調べる 発表(5人) 発表を聞いて意見を述べる				
10回	研究発表	世界の文化について調べる 発表(5人) 発表を聞いて意見を述べる				
11回	研究発表	世界の文化について調べる 発表(5人) 発表を聞いて意見を述べる				
12回	映画	ヨーロッパ映画 歴史 映画を通して考えるヨーロッパ				
13回	映画	韓国映画 歴史 映画を通して考える韓国				
14回	映画	アメリカ映画 歴史 映画を通して考えるアメリカ				
15回	食文化	各国の食文化 食事のマナー 食のタブー				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道概論				クラス	Nクラス
担当講師(フルネーム)	花生 義一				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道に関わる用語、合図、標識、車両を知る 運転理論の意義を学ぶ				授業形態	講義&演習
到達目標	鉄道の安全に対する知識を学ぶ					
使用テキスト	時刻表、講師作成資料					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		1. カリキュラムの説明 2. 主な鉄道用語概要を行い授業が柔軟に進めるよう周知する 3. 用語の意義を説明することにより、より深みのある授業にす			
2回	鉄道の標識①		1. 標識の意義 ・鉄道標識の意義を知ることによって標識に対する意識を深める ・鉄道の安全を維持するための標識であることを意識付けする			
3回	鉄道の標識②		1. 標識の種類 ・標識の種類と役割を知り、標識の重要性を知る			
4回	鉄道の標識③		1. 鉄道車両概要 ・鉄道車両に対する省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・標識に対する習熟度確認により授業内容の把握を確認する			
5回	鉄道の標識④		1. 鉄道車両概要 ・鉄道車両に対する省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・標識に対する習熟度確認により授業内容の把握を確認する			
6回	鉄道の標識⑤		1. 鉄道車両概要 ・鉄道車両に対する省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・標識に対する習熟度確認により授業内容の把握を確認する			
7回	鉄道車両紹介①		1. 鉄道車両概要 ・鉄道車両に対する省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・鉄道車両に対する各鉄道会社の着目点を知る			
8回	鉄道車両紹介②		1. 九州の鉄道会社 ・車両の特徴を知る ・各車両の営業目的に合った特徴を知る			
9回	鉄道車両紹介③		1. 九州の鉄道会社-2 ・車両の特徴を知る ・各車両の営業目的に合った特徴を知る			
10回	鉄道車両紹介④		1. ワンマン列車の特徴を知る ・ワンマン車両の基本 ・ワンマン列車の規定を学ぶ			
11回	運転理論①		1. 運転速度の定義を学ぶ ・均衡速度・表定速度・平均速度・計画速度・進入速度・進出速度・通過速度・実測速度 ・観測速度・推定速度・許容速度を学ぶ			
12回	運転理論②		1. けん引き定数を知り、列車運転に対する定義を学ぶ 2. 車種別によるけん引き定数の表し方を知る 3. けん引き定数の表記方に対する注意点を学ぶ			
13回	運転理論③		1. 速度種別の概要を学ぶ 2. 速度名称を学び、各車両の特性を知る 3. 速度記号による列車の区別方法を知る			
14回	運転理論④		1. 列車の運転線図を学ぶ ・計画運転線図・指導運転線図・実際運転線図・簡易運転線図の特徴を学ぶ 2. 習熟度確認			
15回	まとめ		1. 期末試験対策 2. 総まとめ、全体質疑			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	科	
科目名	鉄道基礎				クラス	N
担当講師(フルネーム)	山田和久				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道の総合的な専門知識の習得と、安全に対する意識を向上させる。 ヒューマンエラー防止等の意識の向上に取り組む。				授業形態	講義
到達目標	事故の種類や運転方法の変更、鉄道従事員のヒューマンエラー防止について学ぶ。					
使用テキスト	分かりやすい鉄道技術「土木編・電気編・運転編」					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数 2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	前期授業の振り返り 後期授業の内容と進め方を説明する。				
2回	電車のメカニズム	電車の走る原理(発電所から走行まで)を知る。 電車が止まる原理を理解する。 集電装置・主電動機・主制御機について学ぶ。				
3回	鉄道車両(西鉄)	西鉄電車の車両について知る。 出庫点検の重要性と行程を学ぶ。 出庫点検のDVDを参照する。				
4回	鉄道信号の役割	鉄道信号の前期復習 役割について解説を行う。 手信号の種類と代用手信号について学ぶ。				
5回	閉そく方式	通常時の閉そく方式を知る。 列車間の安全を確保する方法・閉そく区間と役割について理解する。 異常時の列車運行の手段・方法について知る。				
6回	伝令法	駅伝令法と指令伝令法の違いについて学ぶ。 伝令法の施行時と運転範囲について学ぶ。 DVDを活用し説明を行い理解する。				
7回	列車の運転	原則的な鉄道運転ルールを知る。 飲酒運転撲滅を理解する。 推進運転・退行運転を知る。				
8回	鉄道の設備	電気の設備について知る。 車両機器について知る。 線路の設備について知る。				
9回	鉄道運転事故	事故の分類を知る。 事故の種類と内容について理解する。 インシデントについて学ぶ。				
10回	異常時の対策	気象予報警報・注意報のの発令基準を知る。 気象観測システム発令に伴う運行規制を知る。 事故災害等が発生した時の処置及び行動を考える。				
11回	気付き・ヒヤリハット・事故	ヒューマンエラーについて学ぶ。 言葉の意義を知る。 事故防止策について協議する。				
12回	運転保安装置	保安装置の種類を知る。踏切保安装置について学ぶ。 信号保安装置について学ぶ。 列車無線・列車防護無線の機能及び取扱いを理解する。				
13回	自動列車停止装置(ATS)	ATSの設備目的と運転士の注意について知る。 地上装置と車上装置について学ぶ。 ATS故障時の取扱いと注意点を知る。				
14回	西鉄	西鉄の乗務員の資質管理 乗務員のあり方、苦楽について 生徒の就活について				
15回	後期まとめ	後期授業を振り返り 全体質疑を行う。 期末試験の対策				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道係員				クラス	Nクラス
担当講師(フルネーム)	花生 義一				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道運行に携わる各係員の概要と鉄道運行の仕組みについて学ぶ 鉄道係員の役割と責任、心構えについて学ぶ				授業形態	講義&演習
到達目標	各鉄道係員の仕事を身に付け、目標とする職種の重要性を身に付ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		1.カリキュラムの説明 2.前期の復習 3.鉄道係員の役割及び仕事内容の復習を行い、各係員の作業把握を行う			
2回	鉄道乗務員①		1.乗務員の放送一般 2.乗務員のお客さまに対する案内放送の意義と相対的な放送内容の習得を行い実施する 3.各場面でのお客さま対応能力を身に付け、基本的な放送を身に付ける			
3回	鉄道乗務員②		1乗務員の基本動作を学ぶ ・到着から発車までの基本動作の実施 ・車掌と運転士のやり取りを実戦形式で学ぶ			
4回	鉄道乗務員③		1乗務員の基本動作を学ぶ ・到着から発車までの基本動作の実施 ・車掌と運転士のやり取りを実戦形式で学ぶ			
5回	鉄道運行に関わる係員		1司令について学ぶ ・各指令の種類と役割を学び、指令の重要性を知る ・鉄道運行の安全確保に対してに指令の役割が生かされているかを学ぶ			
6回	鉄道ダイヤに関わる係員①		1ダイヤグラム作成に関わる係員を学ぶ ・鉄道ダイヤ作成時の注意点(お客さまの利用しやすいダイヤ)とダイヤグラムの関係を学び、時刻表がどのような工程で出来上がるかを学ぶ			
7回	鉄道ダイヤに関わる係員②		1ダイヤグラム作成に関わる係員を学ぶ ・ダイヤグラムを見方を学び、実際にダイヤグラムの作成を行い、ダイヤの知識を深める ・各駅のダイヤがどのように抗されるかを学び、駅作業の重要性を学ぶ			
8回	事故事例研究①		1コンプライアンスに関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)			
9回	事故事例研究②		1信号に関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)			
10回	事故事例研究③		1ATSに関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)			
11回	事故事例研究④		1停車に関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)			
12回	鉄道運行に関わる係員①		1.司令について学ぶ ・各指令の種類と役割を学び、指令の重要性を知る ・鉄道運行の安全確保に対してに指令の役割が生かされているかを学ぶ			
13回	鉄道運行に関わる係員②		1.指令と駅運転との関係を学ぶ ・方向で取り扱いと確認方法を学ぶ ・駅作業ダイヤの確認方を学ぶ			
14回	事故事例研究		1.コンプライアンスに関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)			
15回	前期のまとめ		1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験対策			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	就職活動講座				クラス	N
担当講師(フルネーム)	三石 佳代子				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	専門学校に在学し、鉄道を学んでいるという特異性を理解し、 鉄道業界に特化した就職活動を行える力を養成する。				授業形態	講義
到達目標	一学年終了時には自信をもって自分の強みを相手に伝えることができるような人物となることを目指す。					
使用テキスト	就職ノート・専門学校生のための就職内定基本テキスト					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・忘れ物・授業態度・就職活動に対する熱意・小テストにより総合的に評価を行う					単位数 2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	夏休みの振り返り 後期説明 夏休みの活動から自分の成長を振り返る				
2回	ナビサイト登録	リクナビ・マイナビに登録する インターネットでの企業の検索法 ナビサイトの便利ツールを就活に活かす				
3回	求人情報の収集方法	情報の収集方法と活用 求人票の見方 就職室の利用方法、IBC就活ルールの再確認				
4回	履歴書作成	就職活動に活用するIBCの履歴書を作成する				
5回	模擬面接用 エントリーシート	模擬面接用エントリーシートの書き方を説明し作成する				
6回	履歴書・模擬面接用 エントリーシートのまとめ	履歴書・模擬面接用エントリーシートの指導				
7回	自己PR作成	前期作成した自己PRを手直しして完成				
8回	模擬面接の振り返り	模擬面接での結果とフィードバック 自分自身で面接を振り返る方法を知り、改善点を次に活かす				
9回	志望動機作成 (志望企業編)	前期作成した鉄道業界に対する志望動機に、 志望企業の要素をプラスして完成させる				
10回	志望動機作成 (実習編)	第9回で作成した志望企業や鉄道業界に対する志望動機に、 実習に対する心構え、学びたいことなどをプラスして完成させる				
11回	学生時代に頑張ったこと のエピソード作成	夏休みの宿題「学生時代に頑張ったこと」のエピソードを手直しして完成				
12回	面接応答内容を考える①	過去に試験で出た質問に対してどう答えるか考える				
13回	面接応答内容を考える②	過去に試験で出た質問に対してどう答えるか考える				
14回	エントリーシート作成	志望企業の過去のエントリーシートを参考にして、 エントリーシートの作成手順を確認する そして、実際のエントリーが始まったら、すぐにエントリーシートを作成できる力を養う				
15回	後期の振り返り	一年間の就職活動講座の振り返りとまとめ 実習の注意点 春休みの就職活動について				

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄道科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ				クラス	M
担当講師(フルネーム)	Geoffrey Wolfson, Guzman Carlos				実務経験	無
授業概要(内容)	Doing self introductions. Making various presentations about oneself. Asking and answering various questions with a partner. Practicing role plays. Understanding various culture points.				授業形態	講義
到達目標	To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.					
使用テキスト	Challenge book #4、Warm-up Booklet 2、Vocabulary Book(Noun)、接客英会話交通編					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Warm Up: P6, Vocabulary: P8 Challenge Book: P15 Transportation Dialog: 8		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Cuisine Interview Sentences using nouns starting with H, Role play with Transportation Dialog			
2回	Warm Up: P6, Vocabulary: P9 Challenge Book: P16 Transportation Dialog: 9		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: MyFavorite Restaurant Nouns starting with I, Role play with Transportation Dialog			
3回	Warm Up: P6, Vocabulary: P9 Challenge Book: P16 Transportation Dialog: 9		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: MyFavorite Restaurant Sentences using nouns starting with I, Role play with Transportation Dialog			
4回	Warm Up: P7, Vocabulary: P10 Challenge Book: P21 Transportation Dialog: 10		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: School Memory Lane Nouns starting with J, Role play with Transportation Dialog			
5回	Warm Up: P7, Vocabulary: P10 Challenge Book: P21 Transportation Dialog: 10		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: School Memory Lane Sentences using nouns starting with J, Role play with Transportation Dialog			
6回	Warm Up: P7, Vocabulary: P11 Challenge Book: P22 Transportation Dialog: 11		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Best School Trip Nouns starting with K, Role play with Transportation Dialog			
7回	Warm Up: P8, Vocabulary: P11 Challenge Book: P22 Transportation Dialog: 11		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Best School Trip Sentences using nouns starting with K, Role play with Transportation Dialog			
8回	Warm Up: P8, Vocabulary: P12 Challenge Book: P23 Transportation Dialog: 12		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: My School Club Nouns starting with L, Role play with Transportation Dialog			
9回	Warm Up: P8, Vocabulary: P12 Challenge Book: P23 Transportation Dialog: 12		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: My School Club Sentences using nouns starting with L, Role play with Transportation Dialog			
10回	Warm Up: P9, Vocabulary: P13 Challenge Book: P24 Transportation Dialog: 13		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Music Interview Nouns starting with M, Role play with Transportation Dialog			
11回	Warm Up: P9, Vocabulary: P13 Challenge Book: P24 Transportation Dialog: 13		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Music Interview Sentences using nouns starting with M, Role play with Transportation Dialog			
12回	Warm Up: P9, Vocabulary: P14 Challenge Book: P25 Transportation Dialog: 14		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Farovite English Song Nouns starting with N, Role play with Transportation Dialog			
13回	Warm Up: P10, Vocabulary: P14 Challenge Book: P25 Transportation Dialog: 14		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Farovite English Song Sentences using nouns starting with N, Role play with Transportation Dialog			
14回	Warm Up: P10, Vocabulary: P15 Challenge Book: P26 Transportation Dialog: 15		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Travel Interview Nouns starting with O, Role play with Transportation Dialog			
15回	Warm Up: P10, Vocabulary: P15 Challenge Book: P26 Transportation Dialog: 15, test		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Travel Interview Sentences using nouns starting with O, Role play with Transportation Dialog			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	就職筆記対策 I				クラス	N
担当講師(フルネーム)	北村正雄				実務経験	無
授業概要(内容)	鉄道各社の採用試験問題の出題傾向に沿った講義。国語分野は文法 文章の要旨並び替え 適語補充は頻出分野 社会分野は非常に範囲が広いので、就職試験に頻出題されている分野(世界遺産 政治経済 日本地理 日本史 最新時事問題)を重点的に講義				授業形態	講義
到達目標	JR各社 西日本鉄道 民鉄 第三セクター 地下鉄の就職試験に合格するのに必要な言語分野の学力の修得					
使用テキスト	SPI基本問題集 大和書房					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	前期社会分野復習	SPIでは社会の出題はありませんが、鉄道会社が採用しているSCOAでは社会からも理科からも出題されます。前期社会分野の政治分野(基本的人権 統治機構)の復習 最新時事問題 税の種類				
2回	経済	現代の市場(需要曲線と供給曲線の傾き) 独占の形態(コンツェルン トラスト カルテル) 独占禁止法 株式会社の仕組み 合同会社LLC など経済分野の重要分野 日本の社会保障				
3回	国語	テキストp234～253 SPI PAPER&テストセンター(文法 長文の要旨 文章並び替え) 難しい漢字の読み書き ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語				
4回	国語	テキストp234～253 SPI PAPER&テストセンター(文法 長文の要旨 文章並び替え) 難しい漢字の読み書き ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語				
5回	国語	テキストp234～253 SPI PAPER&テストセンター(文法 長文の要旨 文章並び替え) 難しい漢字の読み書き ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語				
6回	国語	テキストp254～279 SPI PAPER&テストセンター(文法 長文の要旨 文章並び替え) 敬語問題 文章整理問題他 四字熟語 同音異義語 同訓異義語				
7回	英語	SPI テストセンター 英語分野 (文章の並び替え 同意語 反意語 適語補充)				
8回	国語	テキストp254～279 SPI PAPER&テストセンター(文法 長文の要旨 文章並び替え) 敬語問題 文章整理問題他 四字熟語 同音異義語 同訓異義語				
9回	国語	漢字検定準2級(熟語の構成 部首 対義語 類義語 他)				
10回	国語	テキストp254～279 SPI PAPER&テストセンター(文法 長文の要旨 文章並び替え) 文章構成 慣用句 ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語				
11回	国語	テキストp254～279 SPI PAPER&テストセンター(文法 長文の要旨 文章並び替え) 文章構成 慣用句 ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語				
12回	日本地理	観光地理(資源) 人文地理 自然地理 日本①				
13回	日本地理	観光地理(資源) 人文地理 自然地理 日本②				
14回	構造的把握力検査	この分野はSPIのテストセンターのみに出題される最新の傾向分野 文の構造が同じものを選択肢から選ぶ 文は アイウエオ の五つが提示 その中から PグループとQグループに分ける形式 慣れないと難しい				
15回	構造的把握力検査	この分野はSPIのテストセンターのみに出題される最新の傾向分野 文の構造が同じものを選択肢から選ぶ 文は アイウエオ の五つが提示 その中から PグループとQグループに分ける形式 慣れないと難しい				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	就職筆記対策Ⅱ				クラス	N
担当講師(フルネーム)	北村正雄				実務経験	無
授業概要(内容)	数学の授業は週に1回なので、鉄道系企業の過去問を中心に問題が予想される問題をできるだけわかりやすく講義します。この科目は予習よりも復習に力を入れてください。SPI能力検査試験に合格しなければ面接				授業形態	講義
到達目標	JR各社 西日本鉄道 民鉄 第三セクター 地下鉄の就職試験に合格するのに必要な非言語分野の学力の修得					
使用テキスト	SPI基本問題集 大和書房					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	損益算の復習	損益算の基本公式の確認 原価 定価 売価 を求める公式 原価も定価も売価も不明の時 総原価 総利益 総定価 を求める問題 各コースの企業の過去問を中心に応用問題にチャレンジ				
2回	順列	全体の数nの中からr個を取り出して並べるときの並べ方 nPr 順列公式 $P=Permutation$ 重複順列 nr 乗 円順列 $(n-1)!$ 数珠順列 $(n-1)! \div 2$				
3回	組み合わせ	全体の数nの中からr個を選ぶ時の選び方 nCr $C=nPr \div r!$ (階乗) 重複組み合わせの公式 $hCr=n+r-1Cr$				
4回	集合	集合分野はSPIでは極めて重要な分野です。ほとんどの企業で問題が予想されます。 集合はカブリのことです。ベン図 オイラー図 の理解がポイントです。 集合では独特の日本語の理解が必要です。少なくともの意味				
5回	集合	集合分野はSPIでは極めて重要な分野です。ほとんどの企業で問題が予想されます。 集合はカブリのことです。ベン図 オイラー図 の理解がポイントです。 集合では独特の日本語の理解が必要です。少なくともの意味				
6回	推論	テキストBプリント p194～p222 推論 順位 平均点 フローチャート				
7回	位置 順列	テキストCプリント p172～194 位置の問題 順列 重複順列 問題文の条件を推理して各店の位置を特定する。				
8回	勝敗	テキストCプリント p172～p194 勝敗 リーグ形式とトーナメント形式				
9回	確率	テキストCプリント p172～p194 サイコロ コインを使った確率問題 $p(\text{probability}) = N(\text{全体の場合の数}) \div a(\text{求める場合の数})$				
10回	SPIテストセンター過去問	推論 集合 順列 組み合わせの過去問 問1～問12 推論 6個の玉を箱PQに分けて入れた PはQの2倍 Qの玉は何個か 9人にイヌ ネコ 小鳥どれを飼いたいかわからない 多い順にイヌ ネコ 小鳥 無回答無し 小鳥の回答人数は				
11回	SPIテストセンター過去問	推論 集合 順列 組み合わせの過去問 問13～問25 集合 クラスの30人のうち、運動部の生徒16人 運動部と文化部の両方2人 どちらにも入っていない生徒は4人 文化部に入っている生徒は何人?				
12回	SPIテストセンター過去問	推論 集合 順列 組み合わせの過去問 問26～問38 組み合わせ PQRSTUVの7人を3人部屋と4人部屋に振り分けた 分け方は何通り? 確率PQR3人がサイコロを振った Pが最大の目 QとRが同じ目となる組み合わせは何通り?				
13回	SPIテストセンターAプリント 2年次前倒し	推論 問1～問8 RSTU 4人の交通費の問題 4店舗の位置の問題 LMNOPQ 6人の待ち合わせ場所の到着の前後関係 嘘・本当の発言問題 トーナメント方式の勝敗の結果 トーナメント表の作成				
14回	立方体の軌跡展開図 関数の公式	サイコロや立方体を左右・前後に何回か回転させたのち、Aの面の回転の軌跡、 立方体の性質が分かればすぐに解けるので、絶対に落とせない分野 $Y=ax$ $Y=ax+b$ $Y=ax^2$ 乗 $+b$ 一次関数 二次関数 傾き 切片 比例定数 条件と領域				
15回	構造的把握力検査	この分野は、SPI・3になって初めて導入された分野です。 1問5択の選択肢が用意されています。問題処理の考え方の構造が似ているものを二つ選ぶ問題。 慣れないと問題の意味を理解するのが難しい。問題を解いても正解に到達できるわけではありません。				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	時刻表				クラス	Nクラス
担当講師(フルネーム)	花生 義一				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	時刻表を用いてのプランニング作業 運賃料金及び宿泊先を考えたプラン作成				授業形態	講義&演習
到達目標	時刻表の確実な活用方を身に付ける					
使用テキスト	時刻表、講師作成資料					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.前期の反省と今後のプラン内容を説明				
2回	旅行プランニング①	1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客さまの意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・見積書作成時に必要な事項を学び、実施作業を行う				
3回	旅行プランニング②	1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客さまの意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・お客さまの予算に似合ったプランニング作業を行う				
4回	旅行プランニング③	1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
5回	旅行プランニング④	1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
6回	旅行プランニング⑤	1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
7回	旅行プランニング⑥	1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
8回	旅行プランニング⑦	1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
9回	旅行プランニング⑧	1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
10回	旅行プランニング⑨	1.JR時刻表を使った総合的な旅行プラン作成 ・各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する ・宿泊所に対する考え方の練習を行う				
11回	旅行プランニング⑩	1.JR時刻表を使った総合的な旅行プラン作成 ・各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する ・宿泊所に対する考え方の練習を行う				
12回	旅行プランニングまとめ①	1.プランニング作業に対してまとめを行う ・旅行見積書の最終作成を行う ・旅行に対する作業とお客さまに対する接客対応のまとめ				
13回	旅行プランニングまとめ②	1.プランニング作業に対してまとめを行う ・旅行見積書を完成させ各チーム発表を行う				
14回	時刻表の活用	1.時刻表の活用術を発表する ・各自、時刻表に対する確認方を発表し、実力不足を解消する 2.習熟度調査を行う				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 質疑応答により習熟度を向上させる				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道駅実務				クラス	N
担当講師(フルネーム)	西 政明(マック24)				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	交通業界、特に鉄道業界の動向、経営・運営概況を学ぶ。 鉄道駅業務の仕組み、内容、役割等を理解し、基本知識・スキルを習得する。				授業形態	講義&演習
到達目標	交通・鉄道関連に従事するための基本的資質の育成・向上を図る。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数 2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	シラバスの概要、講義の進め方等の説明 日本鉄道の概況、鉄道専門用語、・略号等の鉄道一般常識の確認 交通関連トピックス解説				
2回	鉄道経営の概況	JRグループの概況とビジネスモデル 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク				
3回	〃	主要民鉄(東日本)の概況とビジネスモデル 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク				
4回	〃	主要民鉄(西日本)の概況とビジネスモデル 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク				
5回	鉄道事業の運営	鉄道会社の組織・業務運営体制(営業・運輸) 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク				
6回	〃	鉄道会社の組織・業務運営体制(施設・電気・新幹線) 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク				
7回	鉄道駅の役割・機能	交通サービスの生産要素と鉄道駅の役割・機能 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク				
8回	鉄道駅の今後の役割	鉄道駅の今後の役割とその方向性 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク				
9回	鉄道駅業務の概要	鉄道駅の業務運営体制と部門別概要 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク				
10回	〃	鉄道駅の付帯業務及び安全・地球環境保全への取り組み 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク				
11回	鉄道駅運営の実態と課題	鉄道駅の運営運営体制の変遷と今後の課題 交通関連トピックス解説				
12回	鉄道駅社員のキャリアパス	鉄道会社の採用・社員運用 交通関連トピックス解説				
13回	社会人・組織人の基礎知識	交通関連に従事するための基礎知識(法、規範、ルール等) 交通関連トピックス解説				
14回	鉄道駅業務見学	JR博多駅見学(予定)				
15回	まとめ	振り返りと要点整理 期末試験の傾向と対策 交通関連トピックス解説				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	鉄道業界研究				クラス	N
担当講師(フルネーム)	三石 佳代子				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道業界への就職を目標とし、JR・大手私鉄を中心とした業界研究を行う。				授業形態	講義
到達目標	各鉄道会社の実態と経営戦略、企業理念を学び、志望動機に活かす。					
使用テキスト	鉄道業界大研究					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点＋小テストで50%、期末テストで50%				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション 企業研究のやり方		企業研究のやり方が深いほど志望動機に具体性が出る 企業研究シートと使用した方法を学ぶ			
2回	西鉄について		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
3回	JR九州グループ について		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
4回	JR四国について		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
5回	JR東海・JR北海道 について		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
6回	JR西日本		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
7回	JR東日本		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
8回	東京メトロについて		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える 小テスト1			
9回	東急、東武、西武		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
10回	京急、京王、京成		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
11回	小田急、相鉄、名鉄		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
12回	阪急(阪神)について		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える 小テスト2			
13回	近鉄、京阪、南海		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
14回	第三セクター、 地下鉄、その他鉄道		第3セクターや地方鉄道、公営鉄道など、JR・大手私鉄以外にIBCに過去求人を出した実績のある会社を 求人が来たら応募できる準備をする			
15回	一年間のまとめ 期末テスト対策		一年間の鉄道業界研究の復習 これまでの鉄道業界研究を総復習し、期末テスト対策、及び就職試験に活かす			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道車両				クラス	Nクラス
担当講師(フルネーム)	花生 義一				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道車両の種類について学ぶ 電車と気動車の仕組みと違いを学ぶ				授業形態	講義&演習
到達目標	各鉄道係員の仕事を身に付け、目標とする職種の重要性を身に付ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.鉄道車両の歴史説明				
2回	電車と気動車の相違点①	1.電車と気動車の利点と欠点 2.鉄道業界における車両普及内容 3.運転内容説明				
3回	電車と気動車の相違点②	1.国家試験の相違点 ・学習内容の違い ・車両形式の確認方を学ぶ				
4回	電車の運行条件	1.電車線路について ・起電方式の種類と条件について学ぶ ・直流起電と交流起電の違いと内容について学び、車両の条件を知る				
5回	気動車の運行条件	1.気動車の運行条件を学ぶ ・エンジンのストローク ・線区別車両について学ぶ				
6回	電車の機器一覧	1.集電装置について学ぶ ・起電方式の違いによる集電装置の役割を学ぶ ・集電装置の種類について学び、鉄道会社の車両を学ぶ				
7回	気動車の機器一覧	1.車両形式について ・地域別形式についての機器配置を学ぶ ・エンジンを正常に起動させる重要機器について学ぶ				
8回	電車の機器一覧	1.集電システムを学ぶ ・架線集電システムの各機器配置 ・架線集電システムの各機器の役割を学ぶ				
9回	気動車の機器一覧	1.床下機器配置 ・形式別機器配置と役割を学ぶ				
10回	電車の列車記号	1.電車の列車記号を知る ・記号の選別による運転取扱いを学ぶ ・換算係数を学び車両の種別を知る				
11回	気動車の列車記号	1.電車の列車記号を知る ・記号の選別による運転取扱いを学ぶ ・換算係数を学び車両の種別を知る				
12回	電車の台車について	1.電車の台車概要を学ぶ ・モーターと台車の因果関係を学び、安全を守る条件を知る ・台車の種類を学び、車両形式に合った台車の役割を学ぶ				
13回	気動車の台車について	1.気動車の台車概要を学ぶ ・エンジンと台車の関係を学び、動力伝達方式を知る ・減速機の役割と歯車の種類を知る				
14回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験対策				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	サービス介助士				クラス	N
担当講師(フルネーム)	西 雅恵				実務経験	無
授業概要(内容)	おもてなしの心と正しい介助技術を学ぶとともに、障害の社会モデルの考えを理解し、心のバリアフリーについての理解を深める				授業形態	講義
到達目標	おもてなしの心と正しい介助技術を学び、授業後のサービス介助士資格取得を目指す					
使用テキスト	サービス介助士・准サービス介助士資格取得講座テキスト					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回 9/13	オリエンテーション		サービス介助論で何を学ぶのか、どのように将来に活かすのかを考える 超高齢社会の現状を知るとともに、サービス介助士の必要性を考える 障害の社会モデルの考えを理解する			
2回 9/27	ホスピタリティ・マインド		ホスピタリティの語源を知り、ホスピタリティとは何かを理解する ホスピタリティを感じた体験についてのディスカッションを通して、ホスピタリティマインドを理解する 事前課題の取り組み			
3回 10/4	ノーマライゼーション		ノーマライゼーションの意味とノーマライゼーションとは何かを理解する ノーマライゼーションの実現に必要なものは何かを理解する 障害者差別解消法を知る 事前課題の取り組み			
4回 10/11	高齢者への理解と接遇		高齢者の身体的特徴やかかりやすい病気・特徴的な病気について理解を深める 高齢者の機能低下に対する介助方法について学ぶ 事前課題の取り組み			
5回 10/18	ジェロントロジー		ジェロントロジーとは 将来について考えてみよう(2年後、10年後、そして何歳まで生きるのか) 事前課題の取り組み			
6回 10/25	車いす使用者への接遇		車いす使用者への理解を深めるとともに、介助方法について学ぶ 車いすの種類、操作上の注意点について理解を深める 事前課題の取り組み			
7回 11/1	視覚障害者への接遇		視覚障害の概要を知り、見えないことの不便さを理解する 視覚障害者の誘導方法について理解する 点字について学ぶ 事前課題の取り組み			
8回 11/8	聴覚障害者への接遇		聴覚障害者の概要を知り、聞こえないことの不便さを理解する 聴覚障害者とのコミュニケーション方法について学ぶ 事前課題の取り組み			
9回 11/15	知的障害者、発達障害者、精神障害者への接遇 円滑なコミュニケーションについて		知的障害者、発達障害者、精神障害者の概要を知り、接遇を理解する 円滑なコミュニケーション方法について学ぶ 事前課題の取り組み			
10回 11/22	身体障害者補助犬 ユニバーサルデザイン		身体障害者補助犬を知る。身体障害者補助犬法、介助方法を理解する バリアフリーデザインとユニバーサルデザインについて理解する 事前課題: 提出			
11回 11/29	期末試験		授業内での期末試験 範囲: 今まで学んだ部分			
12回 12/6	オンライン講座①		実技教習前のオンライン講座(DVD視聴)			
13回 12/13	オンライン講座②		実技教習前のオンライン講座(DVD視聴)			
14回 1/17	オンライン講座③		実技教習前のオンライン講座(DVD視聴)			
15回 1/24	オンライン講座④		実技教習前のオンライン講座(DVD視聴) まとめ 誰もが暮らしやすい社会のためにできることは? 共生社会の実現のために必要なことを考える 実技教習についての説明			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	面接対策講座				クラス	N
担当講師(フルネーム)	橋本美智子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職面接において好印象を勝ち取るための表現(立ち居振る舞い、身だしなみ、言葉遣い)を学び身に付ける。 実技演習によりトレーニングする。				授業形態	実技
到達目標	就職面接に合格すると同等の実力を身につける					
使用テキスト	配布プリント 制服着用					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	就職試験に向けて	授業の進め方についての説明 受講の心構え 面接の種類とポイントについて理解する				
2回	求められる人材について	「企業に求められる人材」についてワークを通じて理解する 求められる能力について学ぶ				
3回	面接に向けて	表現について 正しい姿勢、歩き方 発声、相手に届く声① ・自己紹介				
4回	集団面接1	入退室 立ちかた 歩き方 座り方② 実技4～5名				
5回	集団面接2	話す 聞く 答える③ 実技4～5名				
6回	集団面接3	話す 聞く 答える④ 実技4～5名				
7回	集団面接4	好印象の質疑応答⑤ 実技4～5名				
8回	集団面接5	好印象の質疑応答⑥ 実技4～5名				
9回	集団討議1	討議の進め方とポイントの説明				
10回	集団討議2	身近な問題から討議の実践① 実技4～5名				
11回	集団討議3	日本の問題から討議の実践② 実技4～5名				
12回	集団討議3	世界の問題から討議の実践③ 実技4～5名				
13回	振り返り	第2回～12回までのまとめと振り返り				
14回	期中評価①	集団面接				
15回	期中評価②	集団討議 来期に向けての課題を共有する				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	ペン字				クラス	N
担当講師(フルネーム)	青木初恵				実務経験	無
授業概要(内容)	文字の基本を学び、様々な用途に合わせた書式とバランスを学ぶ				授業形態	講義 & 演習
到達目標	実用ペン字・筆ペンの指導を通じて社会人としての教養を身につける。					
使用テキスト	オリジナルテキスト・ペン2種類・下敷き・筆ペン					
成績評価方法	提出物70%、小テスト、授業態度30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	美文字になるためのポイント①	文字の基本を学ぶ① 文字を書くための基本～姿勢、ペンの持ち方・種類 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ① 自分の名前～配字配列				
2回	美文字になるためのポイント②	文字の基本を学ぶ② 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ②				
3回	美文字になるためのポイント③	文字の基本を学ぶ③ 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ③				
4回	美文字になるためのポイント④	文字の基本を学ぶ④ 文字(片仮名・平仮名)のバランスの取り方を学ぶ				
5回	履歴書の書き方①	文字を書くための基本 読みやすい履歴書を書くためのバランスと書式とバランスを学ぶ～横書きの書式 履歴書に出てくる漢字の書き取り練習と名前の練習				
6回	履歴書の書き方②	履歴書オリジナル資料を参照にして下書きを作る 名前・住所・学歴・免許・資格など				
7回	履歴書の書き方③	履歴書～まとめ 履歴書を1枚仕上げる一提出				
8回	実用書を学ぶ①	はがきの表書き～配字(書式)とバランスの取り方を学ぶ 封筒の書き方と書式 お礼状を入れる封筒(和封筒長形4号)の書き方一個人・企業宛の書き分け①				
9回	実用書を学ぶ②	封筒の書き方と書式 大切な書類を入れる封筒(長形3号)の書き方一個人・企業宛の書き分け②				
10回	実用書を学ぶ③	封筒の書き方と書式 履歴書が入るサイズの封筒(角形2号)の書き方一個人・企業宛の書き分け③ 履歴書が入るサイズの封筒(角形2号)の書き方差出人(自分の住所・氏名の練習)				
11回	実用書を学ぶ④	封筒まとめ 小テスト 色んな封筒の書き分けと共通点				
12回	実用書を学ぶ⑤	手紙文の書き方 内定後のお礼状の書き方縦書きの書式 ～お礼状によく出てくる漢字の書き取り練習 お礼状を便箋に書く				
13回	筆ペンで実用書を学ぶ①	筆ペンの特徴と書き方 筆ペンで自分の名前の練習(楷書と行書) 芳名帳の書き方～書式とバランス				
14回	筆ペンで実用書を学ぶ②	慶弔の表書き① 「御祝」「寿」の練習と熨斗封筒の書き方				
15回	筆ペンで実用書を学ぶ③	慶弔の表書き② 「御仏前」「御霊前」の練習と不祝儀袋の書き方 まとめ				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道概論				クラス	Mクラス
担当講師(フルネーム)	花生 義一				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	ダイヤ改正に伴う注意点 乗務員勤務作成時の注意点を学び、乗務行路を作成する				授業形態	講義&演習
到達目標	ダイヤ改正とそれに伴う乗務員の配置方を学ぶ					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明を行う 2.ダイヤ改正の意義と作業内容を学ぶ				
2回	駅構内ダイヤの解説	1.ダイヤ改正に伴う注意点 ・駅構内の運行内容の解説を行い、それに伴うダイヤグラムとの繋がりを知る ・車両の入換(分割、併合、入換)作業を学ぶ				
3回	ダイヤグラム作成作業①	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.乗務員の作業を把握することにより知識を深める				
4回	ダイヤグラム作成作業②	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.乗務員の作業を把握することにより知識を深める				
5回	乗務員行路表作成作業①	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成する ・乗務員の作業を書き込み、1日の動きを把握することにより乗務員の仕事を把握できる ・行路作成時の注意点を周知する				
6回	乗務員行路表作成作業②	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成する ・乗務員の作業を書き込み、1日の動きを把握することにより乗務員の仕事を把握できる ・行路作成時の注意点を周知する				
7回	乗務員行路表作成作業③	1.各自作成した乗務員行路を発表する 2.グループ割を行い、作成した行路表と乗務員時刻表を照合して間違いを正す ・注意点の確認を班ごとに行い発表準備を行う				
8回	乗務員勤務①	1.各班ごと乗務員行路表の発表を行う ・班ごとの解説を行うことで乗務員の勤務に対する知識が認識できる ・行路作成上の注意点を学ぶことによりより深い知識を得られる				
9回	乗務員勤務②	1.各班ごと行路内容計算を行い乗務員勤務を把握する ・行路内容により、班ごとに振分を行い全員が力を合わせ勤務形態を決める ・乗務員職場の雰囲気を感じ、乗務員に対する意識を実感させる				
10回	運用手配実践①	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・気象異常時に対する乗務員手配を各班ごとに考え発表を行うことにより、各作業内容を把握する				
11回	運用手配実践②	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・列車遅延に対する乗務員手配と車両手配を考え発表を行う				
12回	運用手配実践③	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を行う ・車両故障に対する乗務員手配と車両手配を考え発表を行う				
13回	運用手配実践④	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を行う ・乗務員疾病に対する乗務員手配を考え発表を行う 2.期末試験対策				
14回	運用手配実践⑤	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を行う ・イベント等による車両増結に伴う乗務員手配及び車両手配を考え発表を行う 2.フィードバックを行い習熟度を深める				
15回	まとめ	1.まとめ、全体質疑 2. 期末試験対策				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道実務				クラス	Mクラス
担当講師(フルネーム)	花生 義一				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道運行に伴う、各職種別の異常時取扱いを学びます 異常時対応能力及びお客さま対応能力向上を目指します				授業形態	講義 & 演習
到達目標	鉄道員が持つべき知識を習得し、実際に近い行動力を身に付ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	1. 鉄道人身傷害事故・踏切障害事故対応 ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う 2. 人身事故発生時のモックアップを使用した取扱いの実施				
2回	踏切及び人身事故①	1. 鉄道人身傷害事故・踏切障害事故対応 ・各職別対応の復習とまとめを行い注意すべき点を把握させる 2. 人身事故発生時のモックアップを使用した取扱いの実施				
3回	踏切及び人身事故②	1. 列車の所定停止位置に停止できない場合の取り扱い説明 ・運転士、車掌、指令員、駅員の対応を学ぶ ・お客様から見た処置内容について考える				
4回	停車に関わる取扱い①	1. 列車の所定停止位置に停止できない場合の取り扱い実践 ・モックアップを使用した運転士、車掌、指令員、駅員の対応を実践 ・各係員の対応について意見を深める				
5回	停車に関わる取扱い②	1. 鉄道係員の対応について学ぶ ・想定に沿った係員の正確な対応を学ぶ ・実践に近い対応能力を身につける				
6回	異常事対応能力実践①	1. 鉄道係員の対応について学ぶ ・想定を各班で考え、交換する ・想定に対する取扱いを各班毎発表する				
7回	異常事対応能力実践②	1. 駅及び構内作業ダイヤを学ぶ ・駅作業に対する内容説明 ・構内作業に対する内容説明				
8回	駅作業ダイヤ①	1. 駅及び構内作業ダイヤを学ぶ ・駅作業に対する駅員及び乗務員の運用を考える ・構内作業に対する車両社員及び乗務員運用を考える				
9回	駅作業ダイヤ②	1. 駅及び構内作業ダイヤを学ぶ ・構内作業に対する車両社員及び乗務員運用を考える 2. 車両周期に対する関係社員の取扱いを学ぶ				
10回	駅作業ダイヤ③	1. 鉄道営業法に対する各鉄道企業の取り組み ・鉄道係員に対する勤務体制を知る				
11回	法定労働に関する取扱い①	1. 乗務員の勤務と他の係員の勤務の違い ・乗務員の勤務作成時の注意点を学ぶ				
12回	法定労働に関する取扱い②	1. 鉄道会社における休日の取扱いを学ぶ 2. 休日労働に対する考え方 3. 年次有給休暇の取扱い				
13回	休日勤務に対する取扱い①	1. 鉄道会社における休日の取扱いを学ぶ ・各係員の勤務体制を学ぶ ・乗務員の勤務を知り実際に勤務作成を行う				
14回	休日勤務に対する取扱い②	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期後授業の学習を振り返り、鉄道に対する意識を深める 3. 期末試験対策				
15回	まとめ	1. まとめ、全体質疑 2. 期末試験対策				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	鉄道 科	
科目名	コンピュータ				クラス	M
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美				実務経験	有(通信業界勤務歴)
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 表計算の基礎を学び、活用できる力を習得する。				授業形態	講義 & 演習
到達目標	表計算技能検定2級レベルの習得および資格取得。社会人として必要なパソコンスキルの活用能力・応用力を習得する。					
使用テキスト	30時間でマスター Office2019					
成績評価方法	・期末試験50% パワーポイント提出課題30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	PowerPoint活用		パワーポイント 前期で作成したパワーポイントショートムービーの仕上げ			
2回	Excel基礎		タイピングレッスン Excel2019について、画面構成、文字・数値の入力と編集、テンキーレッスン 四則演算式と関数			
3回	Excel基礎		タイピングレッスン 表作成 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)			
4回	Excel基礎		タイピングレッスン 表作成 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める			
5回	Excel基礎		タイピングレッスン 表作成 グラフ作成(基本的な縦棒・横棒・折れ線・円グラフ)			
6回	Excel基礎		タイピングレッスン 表作成 関数(IF関数など)			
7回	Excel基礎		タイピングレッスン 表作成 関数(IF関数にほかの関数をネスト、SUMIF,COUNTIFなど)			
8回	Excel応用		タイピングレッスン 表作成 検定過去問題の練習①			
9回	Excel応用		タイピングレッスン 表作成 検定過去問題の練習②			
10回	Excel応用		タイピングレッスン 表作成 検定過去問題の練習③			
11回	後期期末試験		表計算技能処理検定 2級相当の模擬テスト			
12回	パソコン活用		Excelシートを使用したタイピング ExcelデータをWord文書で体裁よく仕上げる			
13回	Powerpoint応用		2年間の思い出をまとめたプレゼンテーション・ムービーの作成 使用する素材、音源などの準備 スライド作成			
14回	Powerpoint応用		2年間の思い出をまとめたプレゼンテーション・ムービーの作成 スライドの編集 ※アニメーション効果、画面切替効果、サウンドやビデオの追加			
15回	Powerpoint応用		2年間の思い出をまとめたプレゼンテーション・ムービーの作成 仕上げ、ムービーに変換 ※すべての効果を自動に設定する			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ				クラス	M
担当講師(フルネーム)	秋満 陽子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	交通機関で訪日外国人を接客する際に使用する様々なフレーズを学び、基本的な英語応対能力を身に付ける				授業形態	講義
到達目標	英語応対能力検定取得					
使用テキスト	とにかくひとこと接客英会話(交通編) 接客英会話ワークブック(鉄道編)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Unit 12	【トラブルシューティング4】 車内・駅構内での忘れ物対応 リーディング問題(単語)、リスニング問題				
2回	Unit 13	【スピーキングテスト対策1】 単語の発音、定型表現の発音、音読、長文の音読				
3回	Unit 14-1	【スピーキングテスト対策2】 資料に基づく応答 練習問題				
4回	Unit 14-2	【スピーキングテスト対策3】 資料に基づく応答 複数の資料の内容確認 練習問題				
5回	Unit 15	【スピーキングテスト対策3】 状況設定に基づく応答				
6回	検定対策	検定対策① リーディング問題、リスニング問題				
7回	検定対策	検定対策② スピーキング問題、リスニング問題				
8回	検定対策	検定対策③ リーディング、スピーキング、リスニング総復習				
9回	検定日	英語応対能力検定実施日				
10回	接客英会話①	【鉄道編】 駅や構内での接客フレーズ お客様の様々な要望に応えられるようになろう				
11回	接客英会話②	【鉄道編】 様々な車内アナウンス、駅構内アナウンス 駅や構内で流れる多様なアナウンスを理解して、お客様に案内しよう				
12回	接客英会話③	【観光案内編】 観光案内定型フレーズを学ぼう				
13回	接客英会話④	【飲食編】 飲食の場で使用する接客フレーズを学ぼう				
14回	接客英会話⑤	【電話対応編】 電話特有の応対表現を学ぼう				
15回	期末テスト	期末テスト 総括				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道旅行プランニング				クラス	Mクラス
担当講師(フルネーム)	花生 義一				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	時刻表を用いてのプランニング作業 青春18切符の乗車行路と旅行ポスターの作成				授業形態	講義&演習
到達目標	プランニング作業の充実、旅行窓口作業の充実					
使用テキスト	時刻表、講師作成資料					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.発表内容に説明				
2回	鉄道の旅①	1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客さまの意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・見積書作成時に必要な事項を学び、実施作業を行う				
3回	鉄道の旅②	1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客さまの意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・お客さまの予算に似合ったプランニング作業を行う				
4回	定期観光バスの旅①	1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
5回	定期観光バスの旅②	1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
6回	船舶の旅①	1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
7回	船舶の旅②	1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
8回	航空の旅①	1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
9回	航空の旅②	1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
10回	各種切符の旅①	1.青春18きっぷで行く旅行作成 ・各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する ・乗車証明可能駅数をよく考えて作成する作業				
11回	各種切符の旅②	1.青春18きっぷで行く旅行作成 ・各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する ・乗車証明可能駅数をよく考えて作成する作業				
12回	ポスター作成①	1.旅行会社と位置付けしたポスター作成 ・日本の名所を宣伝したポスター作成				
13回	ポスター作成②	1.旅行会社と位置付けしたポスター作成 ・日本の名所を宣伝したポスター作成				
14回	発表用プログラム作成②	1.青春18切符乗車体験の報告資料のまとめ 2.発表用ポスターのまとめ 3.発表プログラムの決定				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 青春18切符乗車体験及びポスターの発表				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	コミュニケーション学				クラス	M
担当講師(フルネーム)	吉良 牧子				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	明日から使える「コミュニケーション」を考え 様々な環境下の中、自らが主体的に発信していくノウハウを学ぶ				授業形態	講義
到達目標	社会で活躍できる人材になる					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	自己紹介	これまでの自己紹介とこれからの自己紹介 話を聞いてもらうコツ 感じよい印象を残すためには				
2回	笑顔・挨拶	世界の挨拶 何のため、誰のため、することでどうなるの 第一印象を良くするためのレッスン				
3回	スピーチ	就職問題を使用してのスピーチ作成 勝ち取るスピーチ術				
4回	アンガーマネジメント	怒りのコントロールを学び職場でいかす 怒りのポイントは人それぞれ タイプ別怒りのコントロール				
5回	ブログコミュニケーション	おススメを他者にPRする方法 印象を残す文章 そこに集客力があるか、ないか				
6回	就職問題	問題を出题されたら、全てを自己PRに変える術				
7回	お礼状	暑中見舞い、年賀状の由来 周りが書かないから書く 人に会えないなら、色々な方法でコミュニケーションを図る				
8回	絵本コミュニケーション	子供とのコミュニケーション シンプルなメッセージを相手に伝える大切さ 絵本を仕上げて提出				
9回	3分間自己PR①	ネタ作り 文章作成 正しい敬語チェック				
10回	3分間自己PR②	発表 (状況によっては提出のみ) 3分間の時間チェック				
11回	男女別世代別	男性と女性の違いを学ぶ 世代によって考え方の違いや時代背景を学ぶ				
12回	DMフレーズ	感謝の気持ちを届ける どんな場面でどんな人にどう伝えるか				
13回	マインドマップ	頭の中を整理する 試験勉強や就職活動、ストレス軽減などに役立てる 作成⇒提出なし				
14回	エゴグラム	自身を知る 他者を知る 感想⇒提出				
15回	まとめ	自身を主人公に授業を通じて学んだことを1冊の絵本にする ・感想・学んだこと・こんな大人になりたい・社会人で活躍するためには 提出				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	フレッシュャーズ教育				クラス	M
担当講師(フルネーム)	三石 佳代子				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	社会人になった際に学生と違う部分は何であるのかを、 鉄道業界での事例を踏まえ学習する。				授業形態	講義
到達目標	働く上で必要なことを知り、鉄道業界で働く心構えをし、早期離職を防ぐ					
使用テキスト	・講師作成プリント					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業態度・授業に対する熱意・出席率・小テストなどにより総合的に評価を行う				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	鉄道会社の組織図、鉄道業界でのキャリアパス、福利厚生・休日などについて				
2回	社会人の基礎について 学ぼう	基本的な労働条件、労働・社会保険などを学ぶ。				
3回	会社の法律 ＝就業規則とは？	鉄道業界の就業規則の記載事項について学ぶ 社会人として必ず守らないといけないルールを知る				
4回	給料の内訳を知る	社会保険・労働保険・税金の意味を知り、 使えるお金の範囲で生活をシュミレーションする				
5回	QC活動	仕事に取り組む際には自ら目的意識を持ち、改善することが大切 鉄道業界におけるQC活動を学ぶ				
6回	ビジネス自己分析	これまでの振り返り、就職活動進捗状況報告 自分の行動パターン知ったうえで、上司・同僚・友人の行動パターンを学び どのように接したら円滑に仕事が進むかを考える				
7回	できる新入社員と言われ る ためには	報連相の基本 スケジュールリングの大切さ これだけは押さえないビジネスマナー				
8回	アフター5の過ごし方	懇親会のマナー 残業・休日出勤				
9回	マイクロリズム プランニング	近場の魅力を再発見するため、日帰り、または一泊二日の一人旅を企画				
10回	マイクロリズム プランニング 発表会	前週に作成したプランを各自で発表する				
11回	アンガーマネジメント	怒りのしくみを知り、コントロールする術を学び、円滑な社会人生活を送ることを 目指す				
12回	メンタルヘルス	社会人に多いメンタル不調について学ぶ ストレスや悩みを抱え込まないためにはどうすればよいか検討する				
13回	ストレスタイプを知る	自分自身のストレスの受け方、傾向を知り、 ストレスに強いメンタルを養う				
14回	セルフケア	自分自身で心や身体についてケアするためストレス対処法や 心の健康において良くない状態であればそれを改善し、 良い状態であればそれを保ちながら、さらに良くするためにケアする方法を学ぶ				
15回	2年間のまとめ	働くことに関する総合的なテスト 2年間のまとめ これから社会に出る皆さんへメッセージ				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	社会情勢研究				クラス	M
担当講師(フルネーム)	前田恭子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	新聞を用いて話題性の高い時事ニュースを読み解く				授業形態	講義
到達目標	時事ニュースについて自分の意見を述べられるようになる					
使用テキスト	オリジナルプリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数 2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	ニュースの発信源	・授業の進め方、評価方法について理解する ・新聞を読む意義を理解する・授業の進め方、評価方法について理解する ・日本および主要国の新聞社、通信社を知る				
2回	新聞の構成	・新聞の構成を知る ・新聞から必要な情報を探し出せるようになる				
3回	時事を学ぶ①	・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる				
4回	新聞研究①	・記事をジャンル分けできるようになる ・記事の要旨を「5W1H」を意識してまとめられるようになる				
5回	時事を学ぶ②	・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる				
6回	新聞研究②	・難解な語彙を調べながら、記事を読み進めることができる ・記事の要旨とともに、自分の意見も述べられるようになる				
7回	時事を学ぶ③	・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる				
8回	新聞研究③	・記事の背景を理解しながら、記事を読み進めることができる ・記事の要旨を自分の意見とともに発表できるようになる				
9回	時事を学ぶ④	・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる				
10回	新聞研究④	・興味の幅を広げて、記事を読むことができる ・発表内容を聞き、要旨を理解することができる				
11回	時事を学ぶ⑤	・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる				
12回	新聞研究⑤	・グループで研究テーマを決めて、発表準備をする				
13回	新聞研究⑥	・研究テーマについてグループで発表準備をする				
14回	新聞研究⑦	・グループごとに研究発表をする				
15回	新聞研究⑧	・グループごとに研究発表をする				

エアライン

学年	科目名	クラス
1	航空業界研究	Q
1	エアカーゴ概論	Q
1	ペン字	QW
1	就職活動講座	Q
1	コミュニケーションイングリッシュ	QW
1	SPⅠ言語対策	QW
1	SPⅠ非言語対策	QW
1	空港実務	Q①
1	グランドハンドリング	Q②
1	アマテウスアルデア	QW
1	貿易実務	Q選択
1	ユニバーサルサービス	Q選択
1	危険物取扱試験対策	Q選択
1	グランドハンドリング概論	Q選択
1	空港実務	Q②W
1	ブラッシュアップ講座	W
1	エアラインマナー	W
1	CA受験対策Ⅰ	W
1	CA受験対策Ⅱ	W
1	TOEICⅠ	W
1	TOEICⅡ	W
2	航空機概論	OPV
2	観光地理	OPV
2	コミュニケーションイングリッシュ	OPV
2	エアラインゼミ	V

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	航空業界研究				クラス	Q
担当講師(フルネーム)	吉原 正彦				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	航空会社及び関連会社の業務、航空機、空港施設・設備について学ぶ 航空輸送の現状について学ぶ				授業形態	講義
到達目標	航空業界の全体を理解し、就職活動に役立つ知識を習得する					
使用テキスト	エアライン ビジネス入門・プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	後期授業内容(授業の進め方・成績評価方法)を具体的に説明する 前期授業内容(航空業界の歴史・航空会社の仕事)を復習する 航空会社の今後の動向について説明し学ぶ				
2回	航空会社の仕事(旅客業務)	搭乗手続き、出入国書類のチェックについて学ぶ スペシャル・ハンドリングの内容について学ぶ 手荷物に関する基礎知識について学ぶ				
3回	航空会社の仕事(旅客業務)	旅客搭乗方式について学ぶ 旅客業務のポイント(安全性・定時制)について学ぶ ホスピタリティ産業としての基本的な心構えについて学ぶ				
4回	航空機運航情報	運航スケジュールの見方(FLT NUMBER等)について学ぶ 飛行機の登録番号(SHIP NUMBER)について学ぶ フライトオペレーションでのブリーフィング内容、等について学ぶ				
5回	航空業界用語	航空機・運航・整備・空港施設・取り扱い関係用語について学ぶ 飛行機の座席、構造に関する用語、航空一般用語について学ぶ 航空業界用語の確認テストを行う				
6回	旅客機の進化	旅客機の進化の過程について学ぶ 民間航空界をリードする巨大企業について学ぶ 最新技術の粋を集めた次世代旅客機について学ぶ				
7回	世界のエアライン	エアラインを取り巻く環境について学ぶ エアライン発展の一世紀について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)				
8回	日本へ就航のエアライン	日本航空と全日空、新しいエアラインの動向について学ぶ 北米・中南米・ヨーロッパのエアラインについて学ぶ アジア・中東・オセアニア・アフリカのエアラインについて学ぶ				
9回	日本の航空輸送	日本の航空輸送の変遷について学ぶ 日本の航空輸送の今後の課題について学ぶ				
10回	世界の航空輸送	世界の航空輸送の歴史について学ぶ 世界の航空輸送の枠組みについて学ぶ 国際旅客輸送の現状について学ぶ				
11回	エアトラベル	航空各社別、多種多様な運賃体系について学ぶ コンフィギュレーションにみる航空会社の戦略について学ぶ				
12回	空港の基本構造	空港の基本構造について学ぶ 現代の空港ターミナルビルの構造について学ぶ 日本の空港、ランウェイデータについて学ぶ				
13回	フライトオペレーション	フライトプラン作成に欠かせない航空情報について学ぶ 乗客の搭乗完了、出発(ブッシュバックからタキシングまで)について学ぶ				
14回	航空管制	飛行機が航行する空域と飛行ルートについて学ぶ 管制業務について学ぶ 運航に影響する気象現象について学ぶ				
15回	まとめ	授業全体を振り返り復習する 小テスト(採点と解答説明)				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	エアカーゴ概論				クラス	Q
担当講師(フルネーム)	秦 隆益				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	①国内・国際貨物、郵便取扱い業務およびロードコントロール業務を経験 ②航空貨物取扱い全般に加えてその他付随する他業務について講義				授業形態	講義&演習
到達目標	航空貨物取扱いについての基礎知識を学ぶことにより、航空業務への視野を広げる					
使用テキスト	エアカーゴマニュアル 資料プリント配布					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	貨物の輸送形態		・前期振り返り ・貨物受託基準 ・保管基準 ・荷役作業基準 ・積付基準 ・取扱いラベルの説明			
2回			・重量分散 ・タイダウン要領 ・理解度クイズ			
3回			・運航重量の算出 ・重量差異の確認 ・搭載指示書 ・通気が必要な動物取扱い ・理解度クイズ			
4回	危険物輸送		・危険物の分類 ・航空郵便として輸送可能な危険物 ・申告漏れになりがちな危険物(隠れた危険物)			
5回			・危険物受託要件 (申告書・IATA規則書・ラベリング・マーキング・運送状・受託チェックシート)			
6回			・少量危険物 ・微量危険物 ・CAO ・搭載基準 ・隔離基準			
7回			・運航部門への通知 ・機長への通知 ・危険物事故処理要領 ・危険物に起因する事故事例紹介			
8回	イレギュラーケース		・貨物損傷、紛失 ・ダイバート、オフロード、欠航時の対処 ・事故の種類、要因等と損害賠償			
9回	ロードプラン		・WIDE/NARROW機の特長 ・搭載計画書を作成する上での注意点 (搭載基準・隔離基準)			
10回			・ロードプラン演習 (WIDE/NARROW機)			
11回	ウエイト&バランス		・ウエイト&バランスの概要 ・ウエイト&バランスの目的			
12回			・用語の説明 ・重量の構成、重心位置、運用限界 ・理解度クイズ			
13回			・ウエイト&バランスシート作成(演習)			
14回	後期のまとめ		・後期授業のまとめ ・期末試験対策			
15回	年間のまとめ		・1年間を振り返る(理解不足の洗い出し、補足説明)			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	ペン字				クラス	Q W
担当講師(フルネーム)	青木初恵				実務経験	無
授業概要(内容)	文字の基本を学び、様々な用途に合わせた書式とバランスを学ぶ				授業形態	講義&演習
到達目標	実用ペン字・筆ペンの指導を通じて社会人としての教養を身につける。					
使用テキスト	オリジナルテキスト・ペン2種類・下書き・筆ペン					
成績評価方法	提出物70%、小テスト、授業態度30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	美文字になるためのポイント①	文字の基本を学ぶ① 文字を書くための基本～姿勢、ペンの持ち方・種類 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ① 自分の名前～配字配列				
2回	美文字になるためのポイント②	文字の基本を学ぶ② 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ②				
3回	美文字になるためのポイント③	文字の基本を学ぶ③ 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ③				
4回	美文字になるためのポイント④	文字の基本を学ぶ④ 文字(片仮名・平仮名)のバランスの取り方を学ぶ				
5回	履歴書の書き方①	文字を書くための基本 読みやすい履歴書を書くためのバランスと書式とバランスを学ぶ～横書きの書式 履歴書に出てくる漢字の書き取り練習と名前の練習				
6回	履歴書の書き方②	履歴書オリジナル資料を参照にして下書きを作る 名前・住所・学歴・免許・資格など				
7回	履歴書の書き方③	履歴書～まとめ 履歴書を1枚仕上げる一提出				
8回	実用書を学ぶ①	はがきの表書き～配字(書式)とバランスの取り方を学ぶ 封筒の書き方と書式 お礼状を入れる封筒(和封筒長形4号)の書き方一個人・企業宛の書き分け①				
9回	実用書を学ぶ②	封筒の書き方と書式 大切な書類を入れる封筒(長形3号)の書き方一個人・企業宛の書き分け②				
10回	実用書を学ぶ③	封筒の書き方と書式 履歴書が入るサイズの封筒(角形2号)の書き方一個人・企業宛の書き分け③ 履歴書が入るサイズの封筒(角形2号)の書き方差出人(自分の住所・氏名の練習)				
11回	実用書を学ぶ④	封筒まとめ 小テスト 色んな封筒の書き分けと共通点				
12回	実用書を学ぶ⑤	手紙文の書き方 内定後のお礼状の書き方縦書きの書式 ～お礼状によく出てくる漢字の書き取り練習 お礼状を便箋に書く				
13回	筆ペンで実用書を学ぶ①	筆ペンの特徴と書き方 筆ペンで自分の名前の練習(楷書と行書) 芳名帳の書き方～書式とバランス				
14回	筆ペンで実用書を学ぶ②	慶弔の表書き① 「御祝」「寿」の練習と熨斗封筒の書き方				
15回	筆ペンで実用書を学ぶ③	慶弔の表書き② 「御仏前」「御霊前」の練習と不祝儀袋の書き方 まとめ				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	就職活動講座				クラス	Q
担当講師(フルネーム)	小林俊也/吉原正彦				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	次年度の就職試験に向けて、面接の対策を行う。				授業形態	講義
到達目標	面接の基本動作習得、より評価の高い受け答え方ができる					
使用テキスト	「専門学校生のための就職内定基本テキスト」・プリント配布					
成績評価方法	・平常点100%(出席状況と受講態度、事後学習の取り組み姿勢による) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方と評価について ・就職活動の流れと手続き ・応募方法と求人動向			
2回	①企業研究		・企業研究 ※目標の設定(職種・企業)と企業研究			
3回	②企業研究		・企業研究の発表 ※会社の特色・求められる人材像等			
4回	①志望動機		・志望動機の作成 ※入社目的、どのような仕事をしたいのか			
5回	②志望動機		・志望動機の作成 ※自分の言葉で組み立てよう。			
6回	①自己紹介		・自己紹介 ※出身地や趣味、性格等を含めて			
7回	①自己PR		・自己PR ※自己PRを組み立てよう。(何が強みなのか)			
8回	②自己PR		・自己PR ※自分の言葉で組み立てよう！			
9回	①面接対策		・志望動機 ※模擬面接とフィードバック			
10回	②面接対策		・志望動機 ※模擬面接とフィードバック			
11回	③面接対策		・自己PR、長所と短所 ※模擬面接とフィードバック			
12回	④面接対策		・自己PR、長所と短所 ※模擬面接とフィードバック			
13回	⑤面接対策		・学生時代に力を入れて取り組んだこと ※模擬面接とフィードバック			
14回	⑥面接対策		・模擬面接 ※模擬面接とフィードバック			
15回	まとめ		・就職試験に臨む前に			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ				クラス	Q・W
担当講師(フルネーム)	久保田 博子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	日常生活および空港・航空機内で使う語彙や会話表現を学び オンラインレッスンで実践する				授業形態	講義 & 演習
到達目標	学んだ英語をエアライン業界での接客に活かせるようにする					
使用テキスト	予習・復習プリント					
成績評価方法	・オンラインレッスン評価60% アセスメント20% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	絵で見てパッと英会話	Scene 8: 感想(1)				
2回	絵で見てパッと英会話	Scene 8: 感想(2)				
3回	おもてなし英語	空港: 出発ゲートの業務				
4回	絵で見てパッと英会話	Scene 9: ほめる(1)				
5回	絵で見てパッと英会話	Scene 9: ほめる(2)				
6回	おもてなし英語	空港: 預け入れ荷物の返却				
7回	絵で見てパッと英会話	Scene 10: 気づかう				
8回	絵で見てパッと英会話	Scene 11: 依頼				
9回	おもてなし英語	空港: よく聞かれる質問				
10回	絵で見てパッと英会話	Scene 12: 提案(1)				
11回	絵で見てパッと英会話	Scene 12: 提案(2)				
12回	おもてなし英語	機内: 搭乗時				
13回	絵で見てパッと英会話	Scene 13: スモールトーク(1)				
14回	絵で見てパッと英会話 スピーキングテスト	Scene 13: スモールトーク(2) スピーキングアセスメント				
15回	おもてなし英語	機内: 離着陸時				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	SPI言語対策				クラス	QW
担当講師(フルネーム)	前田恭子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職試験における筆記試験分野・言語系の対策授業				授業形態	講義
到達目標	筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指し、応用力を養う					
使用テキスト	・一般常識&SPI (実教出版株式会社)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	なぜSPIをするのか	・後期授業方針説明、SPI検査の内容を確認 ・SPI言語 同意語(意味や内容が近い語) *夏休みの課題(四字熟語)提出				
2回	日本の特産物を知る	・四字熟語テスト① 夏休み課題(四字熟語)を6回に分けて小テスト ・日本地理① 日本各地の産物を学び、産地との組み合わせを覚える ・SPI言語 反意語(意味や内容が反対の語)				
3回	四字熟語を極める	・四字熟語テスト② ・日本地理② 産地・産物の練習問題を解き、理解を深める ・SPI言語 ことばの意味①(語句の意味が正しいもの)				
4回	世界の特産物	・四字熟語テスト③ ・世界地理① 世界各地の産物を学び、産地との組み合わせを覚える ・SPI言語 ことばの意味②(意味に適合する語句)				
5回	世界が作るもの	・四字熟語テスト④ ・世界地理② 産地・産物の練習問題を解き、理解を深める ・SPI言語 複数の意味(意味や用法が近いもの)				
6回	日本史の中の人物	・四字熟語テスト⑤ ・日本史① 日本史上の人物に焦点をあてて、歴史を見る ・SPI言語 原料(加工物とその原料)				
7回	史実を学ぶ	・四字熟語テスト⑥ ・日本史② ・SPI言語 包含・用途・機能				
8回	世界史の中の人物	・世界史 歴史上の有名な出来事を追ひ、人物と「何」が起きたのかを見る ・SPI言語 行為の関係				
9回	文化は歴史が作る	・文化史 文化・芸術史を学び、有名な芸術作品をおさえる ・SPI言語 ことわざ・慣用句				
10回	名句・名言から学ぶ	・思想史 思想家の名句・名言と著書を学ぶ ・SPI言語 文章問題①				
11回	文学史	・文学史 主な文学作品とその作者を学ぶ ・SPI言語 文章問題②				
12回	働く環境を考える	・労働・社会保障 労働者は守られているか？現行制度を学びます ・SPI言語 文章問題③				
13回	社会の常識	・国民の祝日、法規、マーク、名数などを確認します ・SPI言語 文章問題④				
14回	2年生に向けての準備	・時事問題を考える 新聞・ニュースサイトの活用 ・SPI言語 文章問題⑤				
15回	後期のまとめ	・後期の復習 ・春休みの課題説明				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	SPI非言語対策				クラス	QW
担当講師(フルネーム)	榎木田 裕夫				実務経験	無
授業概要(内容)	SPIは企業がおこなう就職試験です、授業では非言語(数学系)の得点差がつきやすい計算問題や様々な論理問題を解きます。				授業形態	講義
到達目標	SPI、玉手箱、SCOAなどの採用試験が解ける計算力や論理的思考能力を身につける。					
使用テキスト	SPI基本問題集(大和書房)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	ハジキ問題1		速さ、時間、距離を求める基本計算を確認する。 単位を変えた時の計算を正確に行う。			
2回	ハジキ問題2		速度算の実践的な問題を解く。 旅人算(同じ方向に進む、反対方向に進む、向きあう)を解く。			
3回	ハジキ問題3		速度算の実践的な問題を解く。 通過算(追いつく、追い越す、渡り切る)を解く。			
4回	食塩水の問題1		食塩水の中の塩の量を求める基本計算を理解して問題を解く。			
5回	食塩水の問題2		濃度算の標準問題(食塩水を蒸発させたり、水を加えたりした問題)を解く。			
6回	食塩水の問題3		濃度算の応用問題(異なる濃度の食塩水を混ぜる)を解く。			
7回	グラフの問題		1次関数、2次関数の特徴を知り、グラフの領域の問題を解く。			
8回	順列の問題1		順列Pの計算を理解し、基本問題を解く。			
9回	順列の問題2		順列の応用問題(並べ替え、色の塗り方、円順列など)を解く。			
10回	組み合わせの問題1		組み合わせCの計算を理解し、基本問題を解く。			
11回	組み合わせの問題2		組み合わせの応用問題(チームにわけ、最短経路の問題、文字の並べ方)を解く。			
12回	確率の問題1		確率の意味を理解し、基本問題(サイコロの出た目、コインの表裏)を解く。			
13回	確率の問題2		確率の標準問題(カード、色玉など)を解く。			
14回	確率の問題3		確率の応用問題(「少なくとも」の場合)を解く。			
15回	推論の問題		推論(順位を考える問題など)を解く。後期のまとめ。			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科		
科目名	空港実務				クラス	Q①	
担当講師(フルネーム)	原田歩				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国際線におけるお客様の流れを学ぶ サービスについて考え、接客を学ぶ				授業形態	講義	
到達目標	国際線の基礎を理解し、接客スキルを身につける						
使用テキスト	ANAのグランドスタッフ入門						
成績評価方法	・期末試80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション 海外の空港		授業の目的、進め方、成績評価方法について 前期の復習 海外の空港について学ぶ				
2回	海外の航空会社①		海外の航空会社について学ぶ 各社の特徴やサービスを研究する				
3回	海外の航空会社②		各社の特徴やサービスを研究し、発表する				
4回	航空専門用語①		専門用語や略語について学ぶ どのような場面で使われるか理解する				
5回	航空専門用語②		専門用語や略語について学ぶ どのような場面で使われるか理解する				
6回	出入国書類		パスポートやビザについて学ぶ 出入国書類に関する航空会社の責任について学ぶ				
7回	CIQ①		CIQの役割を理解する 国際線における手続きを学ぶ 国際線におけるお客様の流れを学ぶ				
8回	CIQ②		CIQの役割を理解する 国際線における手続きを学ぶ 国際線におけるお客様の流れを学ぶ				
9回	アライアンス		3つのアライアンスについて学ぶ 各アライアンスの加盟航空会社を学ぶ アライアンスに加盟するメリットを理解する				
10回	保安		アメリカ同時多発テロ事件について学ぶ 全日空機ハイジャック事件について学ぶ 安全に対し、より一層理解を深める				
11回	予約・発券業務①		アマデウス等を使って接客をする				
12回	予約・発券業務②		アマデウス等を使って接客をする				
13回	イレギュラー		不可抗力と会社都合による欠航、遅延について学ぶ イレギュラー時のハンドリングについて学ぶ				
14回	クレーム		クレームについて理解を深め、対応のポイントを学ぶ サービスについて考える				
15回	まとめ		1年間の復習				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	グランドハンドリング				クラス	Q
担当講師(フルネーム)	松下 良朗				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	日々進歩している航空機地上業務・航空輸送業務に対応する知識を習得する 航空会社が求めるグランドハンドリング業務全般を理解する				授業形態	講義
到達目標	グランドハンドリング業務(地上支援業務)に必要な関連知識の習得を目的とする					
使用テキスト	航空機のグランドハンドリング(日本航空技術協会)・パワーポイント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	前期授業振り返り	・前期授業の振り返り ・前期期末テストの解説 ・後期授業の説明				
2回	機体サービス作業	・機体空調サービス(低圧空気)の供給作業について概要を説明する。 ・機体電源供給作業の操作方法。サービスパネルの位置について学ぶ。 ・エースターター(高温高圧空気)供給作業について概要を説明する。				
3回	客室サービス作業	・客室クリーニングの種類、作業者の訓練・資格について学ぶ ・客室用品の搭載取り卸しとセッティングについて概要を説明する ・客室用品の補充・受け入れ作業について概要を説明する				
4回	燃料搭載作業	・航空燃料(ジェット燃料)について学ぶ ・搭載量(燃料オーダー)・給油方法(フューエー方式・ハイドランド方式)について学ぶ ・燃料搭載作業手順について理解する。 作業のための資格について知る				
5回	機体の防雪・防氷作業	・一般 防除雪氷液の種類性能について学ぶ ・ホールドオーバータイムの意味・変化する要因 ガイドラインに示された気象条件について学ぶ ・フローオフの特性・防除雪氷について学ぶ				
6回	ヘリコプター/小型航空機のグランドハンドリング	・ヘリコプターの飛行の仕組みを知る ・グランドハンドリング概要 ・ヘリの構造 小型機の概要 適用				
7回	航空危険物	・搭載従事者のための航空危険物1 航空輸送に関する法規 危険物輸送の概要 危険物の定義を学ぶ				
8回	航空危険物	・搭載従事者のための航空危険物2 輸送禁止品目 放射性物質の輸送 旅客に対する援助規定を理解する				
9回	空港管理規定	・制限区域内安全管理規定・エプロン運用要領・保安管理規定・危機管理について学ぶ ・模擬試験(制限区域内車両試験) ・GRID MAP				
10回	グランドハンドリング作業	・搭載取り卸し作業の実務を学ぶ ・貨物機の搭載/取り卸し準備/器材の取り扱いB/BL/C/P 貨物機の取り卸し/搭載 ・ULD DIM 特殊搭載方法 F/P方式 機内積み付け方式				
11回	グランドハンドリング作業	・地上支援器材の取り扱いについて(概要・トローラー牽引車 トローラーレス牽引車)について学ぶ ・トローラー・ダミーSHIP ・車両取り扱い PSC/CS/MDL/MDT/HLB/ BL/TC/TT/FT				
12回	グランドハンドリング作業	・搭載取り卸し作業GRAND SERVICE EQUIPMENTの取り扱いを知る ・機種別CGO DOOR取り扱いを知る 構造を学ぶ ・PBB取り扱い(機能と仕組み)について学ぶ				
13回	グランドハンドリング作業	・テールスタンション/テザリングの取り扱いを知る ・メインデッキハンドリングシステム/NOSEドア・サイドカーゴドアのOPEN/CLOSE ・重量分散 エリアロード/リニアロード				
14回	グランドハンドリング作業	・まとめ 授業全体を通し、グランドハンドリング会社の実際の映像(参考資料)を視聴し、航空機の発着及び作業の流れを理解する。				
15回	授業まとめ	・小テスト ・社会人への心構え ・フィロソフィ教育を学ぶ。				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	アマデウスアルテア				クラス	QW
担当講師(フルネーム)	横瀬 敦子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	予約の基礎に加え、応用へと進む。座席指定や機内食・マイレージ登録など複雑なPNR作成を行う。				授業形態	実技
到達目標	予約操作の応用をマスターする。アマデウスシステム検定「初級」全員合格を目指す					
使用テキスト	amadeusu ユーザーガイド予約 早見表					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	前期復習	簡単なPNR作成を行う(直行・乗継ぎ・オプション指定含む) 小児・幼児を含む、PNR作成を行う DNEエントリー入力(機材の大きさチェック)				
2回	前期復習	PNRの完了・抽出・変更・取消の復習を行う				
3回	2区間の空席照会	2区間空席照会の入力と画面確認を行う 2区間空席照会からの予約を行う スピードマスタ予約を習得する				
4回	ダイレクトアクセス	ダイレクトアクセスとは何かを学ぶ ダイレクトアクセス空席照会とAN(空席照会)の違いは何かを理解する				
5回	フライトスケジュール	フライトスケジュール入力を学ぶ AN(空席照会)との違いを学ぶ				
6回	その他・便利入力	便利入力(キーボード・画面履歴)を使用して、PNR操作処理を高める オープンセグメント予約を行う DO入力にて、航空便の詳細を知る				
7回	SSR入力	SSRとは何かを理解する 機内食入力について概要説明、メインの食事サービスコードを覚える				
8回	SSR入力	機内食入力を含む、PNR作成を行う その他のSSRコード説明(バシネット・車いす・パスポートデータ入力など)、テキストにて知識を深める マイレージサービスとは何かを学び、FFP入力を含むPNR作成を行う				
9回	SSR入力	シートマップからの(グラフィックページにて)座席指定を理解する 座席指定(座席番号指定)を含む、PNR作成を行う				
10回	SSRの追加と取消	今まで学んだ様々なSSRをPNRに追加する SSRの取消も行う				
11回	SSRとOSI	OSIとは何かを学ぶ(PNRとの関連付けも学ぶ) 完成したPNR構成中のOSIやSSR表示の意味を理解する(何のために入力されているのか) RMKSとは(confidential入力)				
12回	検定対策	初めての検定に向けての、心構えを学ぶ 検定対策(過去問題と添削)				
13回	検定対策	検定対策(過去問題と添削)				
14回	総復習	後期の総復習 後期・期末試験対策を行う				
15回	期末試験	後期・期末試験の実施				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン 科	
科目名	貿易実務				クラス	Q
担当講師(フルネーム)	中村秀茂				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	貿易実務の基本を学ぶ。後期はテキストの後半部分の講義を行う。 主に保険、代金決済、外国為替を中心に。				授業形態	講義
到達目標	貿易実務検定C級の合格を目指す					
使用テキスト	前期と同じく最新貿易実務ベーシックマニュアル(改正4版MHJ出版)、貿易実務検定C級試験問題集(第9版MHJ出版)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	貨物海上保険		① 付保手続き ② 貨物海上保険の基本条件			
2回	貨物海上保険		② 貨物海上保険の基本条件			
3回	貿易取引に関するその他の保険		① 製造物責任とは ② PL保険 ③ 貿易保険			
4回	代金決済		① 外国との代金決済 ② 荷為替手形による決済 ③ 送金による決済			
5回	船積みから輸出代金の回収		① 輸出実務の流れ ② 為替予約 ③ 輸出貿易管理			
6回	船積みから輸出代金の回収		④ 輸出の準備 ⑤ 輸出通関と船積手続			
7回	船積みから輸出代金の回収		⑤ 輸出通関と船積手続 ⑥ 代金回収手続			
8回	船積通知の受領から貨物の引取りまで		① 輸入実務の流れ ② 輸入貿易管理 ③ 代金決済と輸入金融			
9回	船積通知の受領から貨物の引取りまで		④ 貨物の荷受け ⑤ 輸入通関			
10回	船積通知の受領から貨物の引取りまで		⑤ 輸入通関			
11回	外国為替相場と為替変動リスクの回避		① 外国為替相場と外国為替市場 ② 貿易取引と相場			
12回	外国為替相場と為替変動リスクの回避、1回から6回までの復習		③ 為替変動リスクの回避 貨物海上保険、貿易取引に関するその他の保険、代金決済、船積みから輸出代金の回収 おさらいとポイント			
13回	7回～12回までの復習		船積みから輸出代金の回収、船積通知の受領から貨物の引き取りまで、外国為替相場と為替変動リスクの回避のおさらいとポイント			
14回	過去問		貿易実務検定C級の過去問を解いてみる。答え合わせの中で理解を深める。			
15回	後期のまとめと期末試験		① 全体の振り返りとまとめ ② 期末試験			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	ユニバーサルサービス				クラス	Q選択
担当講師(フルネーム)	原田歩				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	障害者や高齢者の生活の一部を体験し、理解を深める 基本的な介護知識を身につける				授業形態	講義&演習
到達目標	仕事だけではなく、日常生活でも気づき実践できるようになる					
使用テキスト	接客・接遇のためのユニバーサルサービス基本テキスト					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ユニバーサルデザインについて考える 身近なユニバーサルデザインを知る				
2回	視覚障害者へのサービス①	視覚障害者についての基本知識を習得する 介助犬について学ぶ 盲導犬について理解を深める				
3回	視覚障害者へのサービス②	視覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める 全盲体験をする 体験から学んだことを共有する				
4回	視覚障害者へのサービス③	視覚障害者への接客を学ぶ 手引きの方法を学ぶ 空港内を想定し案内する				
5回	視覚障害者へのサービス④	視覚障害者への接客を学ぶ 手引きの方法を学ぶ 空港内を想定し案内する				
6回	聴覚障害者へのサービス①	聴覚障害者の基本知識を習得する 聴覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める 体験から学んだことを共有する				
7回	聴覚障害者へのサービス②	様々なコミュニケーション方法を学ぶ 筆談でチェックイン業務を行う				
8回	高齢者へのサービス①	高齢者についての基本知識を習得する 高齢社会について考える 加齢に伴う心身の変化を理解する				
9回	高齢者へのサービス②	認知症についての基本知識を習得する 認知症の症状を学ぶ 高齢者への接客を学ぶ				
10回	知的・発達・精神・言語障害のある方	知的・発達・精神障害についての基本知識を習得する 知的・発達・精神障害者への接客を学ぶ				
11回	内部障害のある方	内部障害についての基本知識を習得する 内部障害者への接客を学ぶ				
12回	妊娠中の方・小さなお子さま連れの方	妊娠中の方についての基本知識を習得する 小さなお子さま連れの方への接客を学ぶ 施設や店舗で喜ばれるサービスを考える				
13回	肢体障害者へのサービス①	肢体障害者や麻痺のある方についての基本知識を習得する 車椅子の種類と基本操作を学ぶ 校内を自走する				
14回	肢体障害者へのサービス②	車椅子をご利用の方への案内方法を学ぶ 自走体験をもとに注意すべき点に気づく 空港内を想定し案内する				
15回	肢体障害者へのサービス③	車椅子をご利用の方への案内方法を学ぶ 自走体験をもとに注意すべき点に気づく 空港内を想定し案内する				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	危険物取扱者対策(選択)				クラス	Qクラス
担当講師(フルネーム)	池内 勝				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	国家試験 危険物取扱者乙種4類の免許取得及び危険物取扱全般				授業形態	講義
到達目標	国家試験 危険物取扱者乙種4類の免許取得					
使用テキスト	危険物取扱必携法令編及び実務編					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	国家資格内容	授業内容の説明及びスケジュールについて 授業の目的及び目標について 危険物の種類について				
2回	危険物に関する法令	危険物の定義及び分類について 指定数量について 製造所等の区分、申請等の手続きについて				
3回	危険物に関する法令	危険物取扱者の責務について 危険物保安監督者の責務について 危険物保安統括管理者の責務について				
4回	危険物に関する法令	危険物施設保安員の業務内容について 予防規定について 製造所等の規制について				
5回	危険物に関する法令	製造所等の規制について				
6回	危険物に関する法令	製造所等の規制について				
7回	燃焼及び消化	物理及び化学の基礎について				
8回	燃焼及び消化	燃焼の定義、消化の原理について 消火方法、消火設備について				
9回	過去問題	過去問題を解く 問題解説				
10回	過去問題	過去問題を解く 問題解説				
11回	試験の復習	試験の復習及び今後の対策について				
12回	試験の復習	試験の復習及び今後の対策について				
13回	試験の復習	試験の復習及び今後の対策について				
14回	危険物のまとめ	前期のまとめ及び後期に向けての対策について				
15回	期末試験対策	期末試験対策について				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	グランドハンドリング概論				クラス	Q選択
担当講師(フルネーム)	吉原 正彦				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	グランドハンドリング業務(地上支援業務)に関わる概要を理解する 航空会社が求めるグランドハンドリング業務について学ぶ				授業形態	講義
到達目標	グランドハンドリング業務(地上支援業務)に必要な関連知識の習得を目的とする					
使用テキスト	航空機のグランドハンドリング(日本航空技術協会)・必要に応じプリント配布					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の進め方・成績評価方法について説明する グランドハンドリングの歴史と意義について学ぶ グランドハンドリング作業の概念についてFLT例を用い具体的に説明する				
2回	ランプ・イン/アウト作業	誘導業務の内容、要領、訓練方法、資格取得など概略を説明する マーシャリング作業、マーシャラーの心得について学ぶ 航空機トーイング操作、プッシュ・バック要領について学ぶ				
3回	ランプ・イン/アウト作業	ブレーキマンの主要作業と作業上の注意について学ぶ ウォッチ作業(監視作業)、ウォッチマン(監視員)の心得について学ぶ 航空機移動中の安全確保について学ぶ				
4回	搭載・取り出し関連業務	搭載計画(ロード・プラン)作成業務の概要について学ぶ ウェイト・アンド・バランス業務(航空機の重量・機体の重心位置、等)について学ぶ 手荷物・貨物および郵便物の集荷・分別・通関・引き渡し作業と運搬作業について学ぶ				
5回	搭載・取り出し作業	搭載取り出し作業の概要、基本的な考え方について学ぶ 搭載物件(特殊貨物)の取り扱い等について学ぶ 航空機貨物室内における作業上の注意点について学ぶ				
6回	搬出作業一般	機種、機番、スポット、出発時刻(運航スケジュール・モニタ)の確認について学ぶ 貨物・郵便物搬出回数、物量などの情報について学ぶ 手荷物搬出回数、物量等の情報および搬出時の連結台数について学ぶ				
7回	航空機への搭載・取り出し	航空機へのULDの搭載、及びULDの種類とタイプについて学ぶ パレット・コンテナの搭載方法(ハイリフト・ローダ、航空機貨物室内)について学ぶ バルク貨物・郵便物・手荷物の搭載手順について学ぶ				
8回	搭載監督者業務	搭載監督者業務一般、搭載監督者1級・2級の違いについて学ぶ 出発便・到着便の搭載監督者業務(情報の収集、作業指示および確認)について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)				
9回	旅客乗降ドアの開閉操作	機種ごとの旅客乗降ドアの名称、数について学ぶ 機種ごとの旅客乗降ドアの内部構造、機構とモード機能について学ぶ 旅客乗降ドアの操作方法、機種ごとの違いについて学ぶ				
10回	カーゴドアの開閉作業	機種(旅客機)ごとの貨物室の位置とカーゴ・ドアの大きさ、機構について学ぶ 貨物専用機の貨物室の位置とカーゴ・ドアの大きさ、機構について学ぶ カーゴ・ドアの操作方法、機種ごとの違いについて学ぶ				
11回	機体・客室サービス業務	機体外部クリーニングの実施時期、種類と作業方法について学ぶ 機内空調サービス・機体電源供給作業について学ぶ 客室クリーニングの種類と客室用品の搭載取り出し作業について学ぶ				
12回	航空機地上支援機材	航空機地上支援機材の概要およびランプ・イン/アウト作業用GSEについて学ぶ 搭載・取り出し作業GSE(ステップ車・PBB・カーゴローダ等)について学ぶ 搭載・取り出し業務用GSE(ドーリ/カート牽引車・コンテナドーリ等)について学ぶ				
13回	安全・品質管理	安全管理一般(機体付近の安全・高所作業の安全、等)について学ぶ 品質管理一般(航空輸送の品質・サービス、等)について学ぶ 不安全事故の分析、ヒューマンエラーの防止対策、等について学ぶ				
14回	空港規則	空港規則(制限区域内の車両安全)について学ぶ 空港制限区域内における立ち入り区域の区分、承認証の表示、等について学ぶ 空港内ランプ、誘導路などの表示、標識について学ぶ				
15回	まとめ	授業全体を振り返り復習する 小テスト(採点と解答説明)				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	空港実務				クラス	Q②W
担当講師(フルネーム)	原田歩				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	国内線・国際線におけるお客様の流れを学ぶ チェックイン業務、ゲート業務、アナウンス業務など実技を交えながら学ぶ				授業形態	講義
到達目標	GSの業務を理解し、CAやGHの業務と関連づける					
使用テキスト	ANAグランドスタッフ入門					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について 航空業界について GSに求められる人材について考える				
2回	空港	世界の空港について学ぶ 各空港の特徴を学ぶ				
3回	航空会社とアライアンス	世界の航空会社について学ぶ 各社の特徴を学ぶ アライアンス加盟によるメリットを理解する				
4回	サービス	FSCとLCCについて学ぶ 良いサービスとは何か考える				
5回	GSの業務と役割①	旅客ハンドリング担当会社について学ぶ GSの業務形態を学ぶ				
6回	GSの業務と役割②	GSの業務内容を学ぶ チェックイン業務 アナウンス業務				
7回	GSの業務と役割③	GSの業務内容を学ぶ チェックイン業務 アナウンス業務				
8回	GSの業務と役割④	GSの業務内容を学ぶ ゲート業務 アナウンス業務				
9回	GSの業務と役割⑤	GSの業務内容を学ぶ ゲート業務 アナウンス業務				
10回	出入国書類	パスポート、ビザについて学ぶ 出入国書類に関する航空会社の責任について学ぶ				
11回	CIQ	CIQの役割を理解する 国際線における手続きを学ぶ 国際線におけるお客様の流れを学ぶ				
12回	手荷物①	受託・持込み手荷物のルールを学ぶ 手荷物タグについて学ぶ 収納ケースについて学ぶ				
13回	手荷物②	危険物について学ぶ BAGトラブルについて学ぶ				
14回	Webサイト 運賃	各社Webサイトを比較する 空席照会 搭乗方法について学ぶ				
15回	まとめ	イレギュラー時のハンドリングについて学ぶ 復習				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアラン科	
科目名	ブラッシュアップ講座				クラス	W
担当講師(フルネーム)	脇山 奈津美				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	新卒で問われる設問への回答の仕方				授業形態	講義
到達目標	文書、口頭への的確な回答ができる					
使用テキスト	なし(オリジナルテキスト使用)					
成績評価方法	・課題レポート70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		・授業の進め方 ・過去のESの設問確認(経験の当てはめ) ・ES添付に必要な写真の確認(証明、全身、その他スナップ)			
2回	就職活動準備		・スピーチ ・夏休み課題の確認 ・過去のESの設問確認(経験の当てはめ)			
3回	就職活動準備		・スピーチ ・ANA、JALの企業研究(社風の違いを知る)			
4回	就職活動準備		・スピーチ ※社風と自己分析から自身と照らし合わせた自己紹介スピーチ(漢字) ・航空業界/CAの魅力			
5回	就職活動準備		・スピーチ ・志望動機作成の手順 ・志望動機(企業/業界への志望動機作成)			
6回	就職活動準備		・スピーチ ・志望動機添削・作成 ・自己PR添削・作成			
7回	就職活動準備		・スピーチ ・志望動機添削・作成 ・自己PR添削・作成(エピソードの整理)			
8回	就職活動準備		・スピーチ ・志望動機&自己PR添削・作成・提出			
9回	就職活動準備		・スピーチ ・「学生時代に頑張ったこと」作成			
10回	就職活動準備		・スピーチ ・「学生時代に頑張ったこと」添削・作成			
11回	就職活動準備		・スピーチ ・「学生時代に頑張ったこと」添削・作成・提出			
12回	就職活動準備		・スピーチ ・ES作成			
13回	就職活動準備		・スピーチ ・ES作成・添削			
14回	就職活動準備		・スピーチ ・ES作成・添削			
15回	就職活動準備		・スピーチ ・ES作成・添削			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアラン科	
科目名	エアラインマナー				クラス	W
担当講師(フルネーム)	脇山 奈津美				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	社会人としての基本マナー				授業形態	講義
到達目標	エントリーに必要な書類の作成が自身でできる					
使用テキスト	なし(オリジナルテキスト使用)					
成績評価方法	・課題レポート70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		・授業の進め方 ・スピーチ			
2回	就職活動準備		・スピーチ ・エントリー準備(履歴書に必要なもの)			
3回	就職活動準備		・スピーチ ・エントリー準備(履歴書に必要なもの) ※趣味・特技・アルバイト・得意科目など			
4回	就職活動準備		・スピーチ ・エントリー準備(履歴書に必要なもの) ※趣味・特技・アルバイト・得意科目など			
5回	就職活動準備		・スピーチ ・エントリー準備(履歴書に必要なもの) ※履歴書左側の作成手順と資格取得欄の書き方			
6回	就職活動準備		・スピーチ ・エントリー準備(履歴書に必要なもの) ※履歴書左側の作成手順と資格取得欄の作成			
7回	就職活動準備		・スピーチ ・履歴書完成・提出 ・添え状について			
8回	就職活動準備		・スピーチ ・添え状作成の意味と手順			
9回	就職活動準備		・スピーチ ・カバーレター作成 ・封筒の書き方、レターパックについて			
10回	就職活動準備		・スピーチ ・カバーレター完成・提出			
11回	就職活動準備		・スピーチ ・就職活動におけるビジネスメールのマナーと作成手順			
12回	就職活動準備		・スピーチ ・就職活動におけるビジネスメールの作成			
13回	就職活動準備		・スピーチ ・就職活動におけるビジネスメールの提出(送信)			
14回	就職活動準備		・スピーチ ・電話対応の基本マナー			
15回	就職活動準備		・スピーチ ・電話対応の基本マナー ・席次について			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアラン科	
科目名	CA受験対策 I				クラス	W
担当講師(フルネーム)	脇山 奈津美				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	質問の意図を理解する				授業形態	講義
到達目標	的を得た回答で、自身の思いを伝えることができる					
使用テキスト	なし(オリジナルテキスト使用)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		・授業の進め方 ・入退室の確認 ・スピーチ			
2回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
3回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
4回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
5回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
6回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
7回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
8回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
9回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
10回	就職活動準備・試験		・スピーチ ・面接実技試験			
11回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
12回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
13回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
14回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
15回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアラン科	
科目名	CA受験対策Ⅱ				クラス	W
担当講師(フルネーム)	脇山 奈津美				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	人前で発言することに慣れる 「自分」の売りを理解する(深掘り)				授業形態	講義
到達目標	自身の「人柄」を自分の経験から立証し、伝えることができる					
使用テキスト	なし(オリジナルテキスト使用)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		・授業の進め方 ・スピーチ			
2回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
3回	就職活動準備		・ANA、JALの企業研究(社風の違いを知る)			
4回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
5回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
6回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
7回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
8回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
9回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
10回	就職活動準備・試験		・スピーチ ・面接実技試験			
11回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
12回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
13回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
14回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			
15回	就職活動準備		・スピーチ ・面接トレーニング			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	TOEIC I				クラス	W
担当講師(フルネーム)	日高 郁子				実務経験	有(通訳・翻訳業界)
授業概要(内容)	TOEICに特化した文法を基礎から復習。語彙力を高め、音読、シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。				授業形態	講義
到達目標	各自の目標スコアを達成する。					
使用テキスト	TOEIC L&R戦略的トレーニング:レベル500 / TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ					
成績評価方法	・期末試験50% 単語熟語テスト30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	前期の総復習 Part5	品詞(名詞、形容詞、副詞)の見分け方 品詞問題の解き方 Part5 品詞以外にも前期に学んだことを生かしてPart5を解く方法を復習する 単語テスト				
2回	分詞の形容詞的用法 &分詞構文 Part4	分詞の形容詞的用法、分詞構文 Part4 Part5 単語テスト				
3回	Part7	Part7(長文の解き方) Part5 単語テスト				
4回	動詞の形 名詞・冠詞 part6	動詞の形 名詞・冠詞 Part6 Part5 単語テスト				
5回	関係代名詞 Part3	関係代名詞 Part3 Part5 単語テスト				
6回	関係副詞 Part4	関係副詞、関係代名詞と関係副詞の置き換え Part4 単語テスト				
7回	仮定法 Part1&2	仮定法 Part1 Part2 Part5 Part6 単語テスト				
8回	比較級	比較級 Part7 Part5 単語テスト				
9回	模擬テスト (リスニング)	模擬テストリスニング 解答 単語テスト				
10回	模擬テスト (筆記)	模擬テスト筆記 解答				
11回	that節	様々なthatの用法 単語テスト				
12回	リスニング全般	Part1～4 単語テスト				
13回	リーディング全般	Part5～7 単語テスト				
14回	文法総復習	Part5 これまでの文法の総復習 単語テスト				
15回	期末対策	期末対策				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	TOEIC II				クラス	W
担当講師(フルネーム)	日高 郁子				実務経験	有(通訳・翻訳業界)
授業概要(内容)	TOEICに特化した文法を基礎から復習。語彙力を高め、音読、シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。				授業形態	講義
到達目標	各自の目標スコアを達成する。					
使用テキスト	TOEIC L&R戦略的トレーニング:レベル500 / TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ					
成績評価方法	・期末試験50% 単語熟語テスト30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	前期の総復習 Part5		品詞(名詞、形容詞、副詞)の見分け方 品詞問題の解き方 Part5 品詞以外にも前期に学んだことを生かしてPart5を解く方法を復習する 単語テスト			
2回	分詞の形容詞的用法 &分詞構文 Part4		分詞の形容詞的用法、分詞構文 Part4 Part5 単語テスト			
3回	Part7		Part7(長文の解き方) Part5 単語テスト			
4回	動詞の形 名詞・冠詞 part6		動詞の形 名詞・冠詞 Part6 Part5 単語テスト			
5回	関係代名詞 Part3		関係代名詞 Part3 Part5 単語テスト			
6回	関係副詞 Part4		関係副詞、関係代名詞と関係副詞の置き換え Part4 単語テスト			
7回	仮定法 Part1&2		仮定法 Part1 Part2 Part5 Part6 単語テスト			
8回	比較級		比較級 Part7 Part5 単語テスト			
9回	模擬テスト (リスニング)		模擬テストリスニング 解答 単語テスト			
10回	模擬テスト (筆記)		模擬テスト筆記 解答			
11回	that節		様々なthatの用法 単語テスト			
12回	リスニング全般		Part1～4 単語テスト			
13回	リーディング全般		Part5～7 単語テスト			
14回	文法総復習		Part5 これまでの文法の総復習 単語テスト			
15回	期末対策		期末対策			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	航空機概論				クラス	O・P・V
担当講師(フルネーム)	吉原 正彦				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	航空機の発達、技術の進歩について学ぶ 世界の空で活躍する旅客機のメーカー・機種・メカニズムについて学ぶ				授業形態	講義
到達目標	航空機の名称と各部の機能、役割、特性について理解する					
使用テキスト	航空知識のABC・必要に応じプリント配布					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的について具体的に説明する 授業の進め方・成績評価方法について説明する 航空機に対する思い、イメージ等について意見交換を行う				
2回	航空機製造メーカー	航空機製造メーカーについて学ぶ 航空機製造の流れについて学ぶ 航空機製造において、共同開発に参画している日本企業について学ぶ				
3回	飛行機の構造	飛行機の形、その理由について学ぶ 飛行機の各部の名称・機能について学ぶ 飛行機の構造と製造プロセスについて学ぶ				
4回	飛行の原理	飛行機と航空機の違いについて学ぶ 飛行機が飛ぶための原理(4つの力)について学ぶ 離陸・旋回・着陸のための仕組みについて学ぶ				
5回	旅客機のメカニズム	飛行機が軽くて丈夫なわけについて学ぶ 飛行機の胴体断面が円い理由について学ぶ 旅客機の主翼はなぜ細長いのか？主翼には何が入っているのか？について学ぶ				
6回	機体構造と役割	主翼・水平尾翼・垂直尾翼が飛行に果たす役割について学ぶ 動翼(スポイラー・フラップ・エルロン・エレベーター・ラダー)及び主輪・前輪の構造、役割について学ぶ				
7回	機体構造と役割	制動装置(ブレーキ・システム)の仕組みについて学ぶ 地表と航空機をつなぐ着陸装置(緩衝装置)について学ぶ 航空機用タイヤについて学ぶ				
8回	機体構造と役割	飛行機の発電システムと動力供給システムについて学ぶ 飛行機の与圧・空調装置の仕組みについて学ぶ 小テスト(採点と解答説明)				
9回	機体構造と役割	ジェット・エンジンのしくみ、働きと種類について学ぶ ターボジェット・エンジン、ターボプロップ・エンジン、ターボシャフト・エンジンの違いについて学ぶ ターボファン・エンジンの働きについて学ぶ				
10回	機体構造と役割	機体の内部構造、各種ドアについて学ぶ 客室(座席の種類・座席の配列・ギャレーの構造及び機能・収納庫、等)について学ぶ 貨物室(前方・後方・バルク)について学ぶ				
11回	飛行機の運航システム	旅客機のコックピットはどのような仕組みになっているか学ぶ 日本の航空会社で活躍中の最新旅客機のコックピットについて学ぶ				
12回	飛行機の運航システム	どのくらいの高さをどのように飛ぶのかについて学ぶ 巡航高度はどのように保たれているかについて学ぶ 電波・目視・ボイスなど様々なアプローチ法について学ぶ				
13回	飛行機の運航システム	安全運航を脅かす気象現象について学ぶ 警報システムの名称と役割及び安全対策備品について学ぶ 自動操縦装置機能が安全運航に果たす役割について学ぶ				
14回	飛行に関わる機体の要素	飛行機に装備されている灯火系統の種類と役割について学ぶ 飛行機に装備されている多種多様なアンテナについて学ぶ ハイテクを駆使して収益性や環境保護に配慮した最新鋭旅客機について学ぶ				
15回	まとめ	授業全体を振り返り復習する 小テスト(採点と解答説明)				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	観光地理				クラス	OPV
担当講師(フルネーム)	友納真				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	地域毎のおもな都市・都市コード・観光地を白地図に記入 有名観光地の映像を見て学ぶ				授業形態	講義
到達目標	日本・海外の地域の特性、主な都市・有名観光地を覚える					
使用テキスト	国内観光地理サブノート／海外観光地理サブノート					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30%(小テスト・提出物含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	中国①	中国・香港・マカオ・台湾 ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ				
2回	中国②	シルクロード・チベット ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ				
3回	東南アジア①	ベトナム・ラオス・カンボジア・ミャンマー・タイ ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ				
4回	東南アジア②	マレーシア・シンガポール・インドネシア・フィリピン ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ				
5回	オセアニア	オーストラリア・ニュージーランド ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ				
6回	トルコ・中東	トルコ・アラブ首長国連邦 ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ				
7回	英国(イギリス)	英国(イギリス) ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ				
8回	フランス	フランス ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ				
9回	ドイツ	ドイツ ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ ・ロマンチック街道の観光ルートを学ぶ				
10回	スイス・オーストリア	スイス・オーストリア ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ ・スイス山岳鉄道を学ぶ				
11回	イタリア	イタリア・バチカン市国・サンマリノ・マルタ ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ				
12回	ハワイ	アメリカ合衆国(ハワイ) ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ				
13回	北陸	北陸3県(富山県・石川県・福井県) ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ				
14回	東北①	南東北(福島県・山形県・宮城県) ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ				
15回	東北②	北東北(岩手県・秋田県・青森県) ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ				クラス	OPV
担当講師(フルネーム)	Victor Cagno, Fernando Lewinger, Guzman Carlos				実務経験	無
授業概要(内容)	Doing self introductions. Making various presentations about oneself with a lot of partner work. A lot of vocabularies. Practicing role plays. Understanding various culture points.				授業形態	講義
到達目標	To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.					
使用テキスト	とにかくひとことまちかど英会話、各種プリント配布					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション Warm Up: P6, Vocabulary: P8 とにかくひとこと:P10-11	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with H Role play with とにかくひとこと				
2回	Warm Up: P6, Vocabulary: P9 とにかくひとこと:P12-15	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with I Role play with とにかくひとこと				
3回	Warm Up: P6, Vocabulary: P9 とにかくひとこと:P16-17	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with I Role play with とにかくひとこと				
4回	Warm Up: P7, Vocabulary: P10 とにかくひとこと:P18-19	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with J Role play with とにかくひとこと				
5回	Warm Up: P7, Vocabulary: P10 とにかくひとこと:P20-21	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with J Role play with とにかくひとこと				
6回	Warm Up: P7, Vocabulary: P11 とにかくひとこと:P72-73	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with K Role play with とにかくひとこと				
7回	Warm Up: P8, Vocabulary: P11 とにかくひとこと:P76-79	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with K Role play with とにかくひとこと				
8回	Warm Up: P8, Vocabulary: P12 とにかくひとこと:P80-81	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with L Role play with とにかくひとこと				
9回	Warm Up: P8, Vocabulary: P12 とにかくひとこと:P88-93	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with L Role play with とにかくひとこと				
10回	Warm Up: P9, Vocabulary: P13 とにかくひとこと:P100-103	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with M Role play with とにかくひとこと				
11回	Warm Up: P9, Vocabulary: P13 とにかくひとこと:P124-127	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with M Role play with とにかくひとこと				
12回	Warm Up: P9, Vocabulary: P14 とにかくひとこと:P128-131	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with N Role play with とにかくひとこと				
13回	Warm Up: P10, Vocabulary: P14 とにかくひとこと:P132-135	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with N Role play with とにかくひとこと				
14回	Warm Up: P10, Vocabulary: P15 とにかくひとこと:P136-139	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with O Role play with とにかくひとこと				
15回	Warm Up: P10, Vocabulary: P15 とにかくひとこと:P156-159, test	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with O Role play with とにかくひとこと				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	エアラインゼミ				クラス	V
担当講師(フルネーム)	脇山 奈津美				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職試験対策				授業形態	講義
到達目標	各選考の評価ポイント、質問の意図を理解した対応ができる					
使用テキスト	なし(オリジナルテキスト使用)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	・後期授業の進め方 ・就職活動後半戦の準備について				
2回	採用試験対策	・面接対策				
3回	採用試験対策	・面接対策				
4回	採用試験対策	・面接対策				
5回	採用試験対策	・面接対策				
6回	採用試験対策	・面接対策				
7回	採用試験対策	・面接対策				
8回	採用試験対策	・面接対策				
9回	採用試験対策	・面接対策				
10回	採用試験対策・試験	・面接実技試験				
11回	採用試験対策	・面接対策				
12回	採用試験対策	・面接対策				
13回	採用試験対策	・面接対策				
14回	採用試験対策	・面接対策				
15回	採用試験対策	・面接対策				

国際ホテルマネジメント

学年	科目名	クラス
1	ホテル総論	T
1	フロントサービス	T①②
1	レストランオペレーション	T①②
1	日本語ビジネス会話	T
1	日本地理	T
1	現代国語	T
1	コンピュータ	T
1	実習前教育	T
1・2	日本語能力試験対策Ⅰ（語彙）	ST①②③
1・2	日本語能力試験対策Ⅱ（聴解・漢字）	ST①②③
1・2	日本語能力試験対策Ⅲ（文法）	ST①②③
1・2	日本語能力試験対策Ⅳ（読解）	ST①②③
2	ソムリエ&バーテンダー	S
2	ホテル業界研究	S
2	SPI対策（言語・非言語）	S
2	日本語ビジネス会話	S
2	面接対策	S
2	コンピュータ	S
2・3	TOEICⅠ・Ⅱ	SU（日）
2・3	フロントオフィス	SU
3	ホテル英会話	U
3	観光地理	U
3	ホテルマネジメント	U
3	社会情勢研究	U
3	日本文化	U
3	コミュニケーションイングリッシュ	U
3	日本語ビジネス会話	U（留）
3	日本語読解	U（留）
3	日本語能力試験対策Ⅰ	U（留）
3	日本語能力試験対策Ⅱ	U（留）
2・3	ホスピタリティ概論	SU（留）
2・3	レストラン実技	SU（留）

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ホテル総論				クラス	Tクラス
担当講師(フルネーム)	松本範子				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ホテルの基礎を学び、ホスピタリティ業界に必要なことを身に着ける				授業形態	講義
到達目標	ホテルマンになるための基礎知識、心構えを習得する					
使用テキスト	基礎から学ぶ ホテルの概論					
成績評価方法	・期末試験40% プレゼンテーション40% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	ホテルのサービス	お客様がホテルに求めるもの				
2回	ホテルスタッフに求めるもの	基礎的知識 スペシャリストとジェネラリスト				
3回	ホテルスタッフに求めるもの	求められる資質 身だしなみ				
4回	ホテルスタッフに求めるもの	求められる能力 語学力・国際感覚				
5回	ホテルマンの仕事	予約からチェックアウトまで				
6回	宿泊部門の指標	稼働率などの計算方法				
7回	ホテルを取り巻く環境	旅行会社との関わり インターネット予約				
8回	ホテルの社会的責任①	ホテル・旅館に関わる法律 ホテルの防災				
9回	ホテルの社会的責任②	食中毒 食物アレルギー 高齢者・障害者への対応				
10回	これからのホテル①	プライバシーを守る 環境への配慮 新しい客室・プラン				
11回	これからのホテル②	グループワーク プレゼンテーション作業				
12回	これからのホテル③	プレゼンテーション作業				
13回	これからのホテル③	プレゼンテーション発表 期末テスト対策				
14回	期末テスト	テスト				
15回	まとめ	期末テスト解説 1年間のまとめ				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	フロントサービス				クラス	T
担当講師(フルネーム)	小西 翼				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	宿泊部門(ベルマン、客室係、コンシェルジュ)業務の習得。 また、それに関連する他部署の業務についての知識を学ぶ。				授業形態	講義&演習
到達目標	宿泊部門(ベルマン、客室係、コンシェルジュ)と関連部署についての業務内容の理解と技術の習得。					
使用テキスト	ホテルテキスト 宿泊Ⅱ フロント・サービス編					
成績評価方法	・期末試験50% 実技試験20% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	成績評価と授業スケジュールの説明 前期期末試験の返却と解説				
2回	ベルマンの業務	デリバリー・バゲッジイン 新聞の配達と発注 ドアオープン タクシー、ハイヤー、リムジンバス 宅配便の取り扱い 旗の取り扱い(掲揚・降納)				
3回	クローク係の業務	クローク係とは クロークルームの整理と準備 クローク業務の作業手順				
4回	クローク係の業務	クローク業務の作業手順 クローク業務(実践)				
5回	客室部門の業務	客室部門の業務の概要 客室についての基礎知識				
6回	客室部門の業務	客室についての基礎知識 客室内の設備・備品				
7回	客室部門の業務	客室整備の手順 ベッドルームの清掃(OUT清掃)				
8回	客室部門の業務	ベッドルームの清掃(OUT清掃) ベッドルームの清掃(STAY清掃) ルームインスペクション				
9回	客室部門の業務	ランドリーサービス ターンダウンサービス デリバリーサービス その他のサービス				
10回	客室部門の業務	客室清掃(実践) ベッドメイキング				
11回	客室部門の業務	ベッドメイキングの練習				
12回	実技試験	ベッドメイキングの実技試験				
13回	実技試験	ベッドメイキングの実技試験				
14回	コンシェルジュの業務	コンシェルジュとは コンシェルジュの業務				
15回	後期まとめ	後期の学習内容についてのまとめ、振り返り				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	レストランオペレーション				クラス	T
担当講師(フルネーム)	長野 美穂				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	前期に引き続きレストランサービスの知識を身に付ける				授業形態	講義
到達目標	サーバー、チューリンサービスをマスターする					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	前期の復習と夏の振り返り 皿持ち復習				
2回	日本料理	日本料理の基本知識 お箸練習、和室での立ち居振る舞い				
3回	中国料理	四大中国料理の特徴を知る サーバー練習				
4回	バンケットサービス	MICE、ワーキング・ディナー 立食パーティーのマナー、サービス				
5回	レストランの値段	原価率のお話 モノの値段の決め方を学ぶ				
6回	レストランマーケティング①	マーケティングの基本 売れているモノが売れている理由 接客業で必要な消費者心理を学ぶ				
7回	レストランマーケティング②	POP作り 作品プレゼンテーション				
8回	ユニバーサルサービス	ご年配、体が不自由なお客様の注意点 お出迎え～食事のサービス～お見送り				
9回	ユニバーサルサービス	車いすの基本操作方法を学ぶ				
10回	レストランウェディング	レストランウェディングの特徴 幸せを呼ぶアイテムたち				
11回	グループワーク	テーブルコーディネートプラン作成				
12回	グループワーク	テーブルコーディネートの作成と撮影				
13回	ソースアート	基本的なソースアートを覚えて実践				
14回	実技練習	期末試験 制限時間内にロールプレイング				
15回	期末試験	期末試験 制限時間内にロールプレイング				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	日本語ビジネス会話				クラス	T
担当講師(フルネーム)	恵良 恭子				実務経験	無
授業概要(内容)	各課の機能表現を含んだ会話。ロールプレイによる実際のビジネス場面に近い活動。会話を作ってペアワークで発表。				授業形態	講義
到達目標	ビジネス現場で役に立つ敬語を含む会話表現の習得。					
使用テキスト	『ビジネスのための日本語(中上級)』『日本語で働く! ビジネス日本語30時間』					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	第4課 依頼(1)		①新語と基本文型 敬語練習問題 ②STAGE 1——談話(社内・社外)／ロールプレイ 口頭練習			
2回	第4課 依頼(2)		③STAGE 2——会話聴解で(状況・場面・語彙の説明)・ディクテーション ④STAGE 3——1. 提出期限の延期 2. データ整理の延期 3. 値引きの依頼 4. ペアワークで発表(小テスト)			
3回	第5課 誘い(1)		4課 言葉テスト 敬語練習問題 ①新語と基本文型 ②STAGE 1——談話(社内・社外)／ロールプレイ 口頭練習			
4回	第5課 誘い(2)		③STAGE 2——会話聴解で(状況・場面・語彙の説明)・ディクテーション ④STAGE 3——1. 部長をテニスに誘う 2. 同僚を飲みに誘う 3. 他社の人を勉強会に誘う 4. ペアワークで発表(小テスト)			
5回	第6課 電話(1)		5課 言葉テスト 敬語練習問題 ①新語と基本文型 ②STAGE 1——談話(社内・社外)／ロールプレイ 口頭練習			
6回	第6課 電話(2)		③STAGE 2——会話聴解で(状況・場面・語彙の説明)・ディクテーション ④STAGE 3——1. 他の部からの電話 2. 同僚からの電話 3. 他社からの電話 ⑤STAGE 4——伝言メモ			
7回	第6課 電話(3)		4. ペアワークで発表(小テスト) 『日本語で働くビジネス日本語』——3. 電話をかける・受ける			
8回	第6課 電話(4)		第5課・第6課 復習&まとめ 6課 言葉テスト			
9回	第7課 アポイント(1)		①新語と基本文型 ②STAGE 1——談話(社内・社外)／ロールプレイ 口頭練習 ③STAGE 2——聴解で(状況・場面・語彙の説明)・ディクテーション			
10回	第7課 アポイント(2)		④STAGE 3——1. アポイントを取る 2. アポイントの変更 3. アポイントを取ってその後変更 ⑤STAGE 5 『日本語で働くビジネス日本語』			
11回	第8課 提案・申し出(1)		①新語と基本文型 ②STAGE 1——談話(社内・社外)／ロールプレイ 口頭練習 7課 言葉テスト			
12回	第8課 提案・申し出(2)		③STAGE 2——聴解で(状況・場面・語彙の説明)・ディクテーション ④STAGE 3——1. 歓迎会の幹事 2. 同僚への申し出 3. 車の共同開発 『日本語で働くビジネス日本語』			
13回	第8課 提案・申し出(3)		8課 言葉テスト STAGE 3—— 4. ペアワークで発表(小テスト)			
14回	第6課～第8課		第6課～第8課 復習&まとめ 『日本語で働くビジネス日本語』			
15回	まとめ		第6課～第8課 会話テスト			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本地理				クラス	T
担当講師(フルネーム)	山本真美				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	日本の主な都市にある観光地を学び、観光資源としての各地の祭りも知る				授業形態	講義
到達目標	観光地の提案ができる土台を作る					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	福岡市内の観光	授業方針、評価方法の説明 公共交通機関で行く1日観光 お土産を選ぶ				
2回	九州①	佐賀、佐世保、長崎の観光地 有田陶器市、唐津くんち、長崎くんち ハウステンボスで泊まる				
3回	九州②	熊本、大分、宮崎の観光地 別府で泊まる				
4回	九州③・沖縄	鹿児島、宮崎、沖縄本島・離島の観光地				
5回	中国・四国	中国・四国地方の代表的な観光地を学ぶ				
6回	関西(近畿)①	大阪市内から各観光地への行き方 京都、奈良、和歌山				
7回	関西(近畿)②	京都市内観光 京都三大祭り				
8回	北信越	福井、石川の観光地 新潟、長野のスキー場 北信越の夏の観光				
9回	東海	名古屋市内観光 岐阜/高山の観光 三重/伊勢志摩の観光				
10回	関東	東京の観光 横浜、鎌倉、川越の観光				
11回	箱根、日光	東京から箱根に行く 東京から日光へ行く				
12回	富士山の観光	富士山に行く ①登山をする場合 ②登山をせずに山裾から観光する場合				
13回	東北	東北の冬の観光と夏の観光 東北四大祭り				
14回	北海道	北海道の冬の観光と夏の観光 さっぽろ雪まつり				
15回	好きな観光地	好きな観光地を5つ決めて、観光地の案内を作成してみよう 時間内に作成して提出				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	現代国語				クラス	T
担当講師(フルネーム)	前田恭子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	・名作文学を読み、日本語のいろいろな表現を学ぶ ・時事に関する文章を読み理解する				授業形態	講義
到達目標	いろいろな日本語表現を読めるようになる					
使用テキスト	オリジナルプリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	声をそろえる		前期期末試験のフィードバック 後期授業の進め方、評価方法についての説明 声をそろえて音読できるようにしましょう			
2回	登場人物の気持ち		名作文学を楽しく読みましょう 登場人物の気持ちを考えながら読みましょう			
3回	物語の背景		名作文学を楽しく読みましょう 物語の背景を考えながら読みましょう			
4回	役割語		名作文学を楽しく読みましょう 役割語に注意しながら読みましょう			
5回	作者の意図		名作文学を楽しく読みましょう 作者が何を伝えようとしているか考えながら読みましょう			
6回	古典作品		名作文学を楽しく読みましょう むかしの日本語を使った物語にも挑戦してみましょう			
7回	方言		名作文学を楽しく読みましょう 地域で使う言葉(方言)の違いを勉強しましょう			
8回	イントネーション		名作文学を楽しく読みましょう イントネーションに気をつけながら音読しましょう			
9回	間(ま)		名作文学を楽しく読みましょう 間(ま)に気をつけて音読しましょう			
10回	物語の要旨		名作文学を楽しく読みましょう 話の内容を自分のことばで説明しましょう			
11回	物語の感想		名作文学を楽しく読みましょう 話を読んだ感想を書きましょう			
12回	感想を発表する		名作文学を楽しく読みましょう 感想を発表しましょう			
13回	聞き取り①		名作文学を楽しく読みましょう 簡単なディクテーションをしましょう			
14回	聞き取り②		名作文学を楽しく読みましょう 漢字、句読点を混ぜながらディクテーションをしましょう			
15回	後期期末試験		後期に学習した内容をテストで確認しましょう。			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	コンピュータ				クラス	T
担当講師(フルネーム)	乙 咩 清美				実務経験	有(通信業界勤務歴)
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 ビジネス文書のルール、ファイル管理を練習する。				授業形態	講義&演習
到達目標	キーボード操作のマスター。誤字脱字なく、形式にのっとった日本のビジネスレター作成ができるようになる。					
使用テキスト	実教出版 30時間でマスターOffice2019					
成績評価方法	・期末試験40% 提出課題40%(Word20%、ppt20%) 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Word基礎	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) 短文入力 キーボードの各キーの意味と使い分け				
2回	Word基礎	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) 短文入力 表の練習				
3回	Word基礎	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) 文章入力 コンテンツの追加(画像、イラスト)				
4回	Word基礎	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) 文章入力 コンテンツの追加(画像、イラスト)				
5回	Word基礎	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) 出身地紹介ポスターを作る				
6回	Word基礎	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) 出身地紹介ポスターを作る				
7回	Word基礎	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) 出身地紹介ポスター(発表)				
8回	Word基礎	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) ビジネス文書作成(社内文書) ※表作成、ビジネス文書の基本など				
9回	Word基礎	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) ビジネス文書作成(社外文書) ※ビジネス文書の基本、箇条書きなど				
10回	Word基礎	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) ビジネス文書作成(社外文書) ※ビジネス文書の基本、箇条書きなど				
11回	後期期末試験	Word タイピング・ビジネス文書				
12回	PowerPoint基礎	パワーポイントの画面構成と基本操作 スライド作成と編集① 文字入力と装飾、図形・画像などコンテンツの挿入と編集 サンプルスライド「バブルティーカフェの提案」				
13回	PowerPoint基礎	スライド作成と編集② スライドショーのための効果(アニメーション、画面切替など) サンプルスライド「バブルティーカフェの提案」				
14回	PowerPoint基礎	スライド作成と編集③ スライドショーのための効果(サウンド、ビデオなど) サンプルスライド「バブルティーカフェの提案」				
15回	PowerPoint基礎	スライドショーの確認とリハーサル				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	実習前教育				クラス	T
担当講師(フルネーム)	橋口 淳二				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	企業実習の目的を理解させ、実りある就業体験となるように準備させる。 履歴書作成並びに、出退勤の規律、業務中の態度等「働く姿勢」の理解。				授業形態	講義
到達目標	実習用履歴書の完成並びに企業実習に臨む心構えの涵養					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・平常点100%(出席状況、授業態度及び取組み姿勢による) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方と企業実習の心構え ・あいうえお ドレミファソラシド			
2回	履歴書の書き方①		履歴書の記入項目の説明と演習 ・基本情報(プロフィール欄)			
3回	履歴書の書き方②		履歴書の記入項目の説明と演習 ・学歴と職歴、免許と資格			
4回	履歴書の書き方③		履歴書の記入項目の説明と演習 ・志望動機			
5回	履歴書の書き方④		履歴書の記入項目の説明と演習 ・志望動機			
6回	履歴書の書き方⑤		履歴書の記入項目の説明と演習 ・自己PR			
7回	履歴書の書き方⑥		履歴書の記入項目の説明と演習 ・自己PR			
8回	履歴書の書き方⑦		履歴書の記入項目の説明と演習 ・得意学科、趣味特技			
9回	履歴書の書き方⑧		履歴書の記入項目の説明と演習 ・実習・アルバイト等			
10回	履歴書の書き方⑨		履歴書の記入項目の説明と演習 ・提出用履歴書の記入とチェック			
11回	面接対策①		面接マナー ・自己紹介			
12回	面接対策②		面接マナー ・志望動機(企業実習で何を学びたいか)			
13回	実習報告書の書き方①		実習報告書の書き方 ・実習報告書の記入(会社・施設概要)			
14回	実習報告書の書き方②		実習報告書の書き方 ・実習報告書の記入(研修目標)			
15回	授業のまとめ		企業実習の目標発表と実習期間中の注意事項、禁止事項の確認 ・2年時授業と2回目の企業実習につなげるために、実習期間をどう過ごすか			

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント1, 2年	
科目名	日本語能力試験対策 I (語彙)				クラス	ST①
担当講師(フルネーム)	永吉美知子				実務経験	無
授業概要(内容)	能力試験N1合格を目指して 多岐に渡る膨大な量の語彙を効率よく習得する試験パターンに慣れるための徹底練習				授業形態	講義
到達目標	能力試験 N1合格 ニュースやエッセイを読んで 内容が理解できるようになる					
使用テキスト	日本語能力試験N1 20日で合格 ・ 過去問題 ニュース検定 1・2級 上級で学ぶ日本語					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション・アカデミックジャパニーズ	読解の読み取り方 要点整理などを教材を使った説明				
2回	20日で合格 3日目	問題1－問題7				
3回	20日で合格 4日目	問題1－問題7				
4回	20日で合格 5日目					
5回	20日で合格 6日目	問題1－問題7				
6回	20日で合格 7日目	問題1－問題7				
7回	20日で合格 8日目	問題1－問題7				
8回	調整と復習	復習テスト				
9回	模擬試験	読解のFB				
10回	模擬試験	読解のFB				
11回	読み物	上級で学ぶ日本語 語彙の確認 漢字の読み 内容把握				
12回	読み物	ニュース検定 語彙の確認 漢字の読み 内容把握				
13回	読み物	ニュース検定 語彙の確認 漢字の読み 内容把握				
14回	対策テスト	総復習と 対策テスト				
15回	学期末テスト FB					

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	日本語能力試験Ⅰ(語彙)				クラス	ST②③
担当講師(フルネーム)	中村千春・小川剛				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N2語彙対策				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2合格または同等レベルの日本語能力をつける					
使用テキスト	新完全マスター語彙 日本語能力試験N2					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	第2部1章	動詞① 動詞②				
2回	1章	形容詞・名詞 副詞・形容詞				
3回	2章	名詞・動詞 1章小テスト ドリル&ドリルN2文字・語彙より				
4回	3章	形が似ている言葉 ドリル&ドリルN2文字・語彙より				
5回	4章	程度、時間、頻度の副詞&後ろに決まった表現が来る副詞 2-3章 小テスト ドリル&ドリルN2文字・語彙より				
6回	4章&5章	まとめて覚えたい副詞・その他の副詞&オノマトペ ドリル&ドリルN2文字・語彙より				
7回	6章	体の言葉を使った慣用表現① ドリル&ドリルN2文字・語彙より				
8回	JLPT直前対策	3-4章 小テスト JLPT直前対策問題				
9回	N2模擬試験	共通模擬試験				
10回	N2模擬試験	共通模擬試験				
11回	6章	体の言葉を使った慣用表現②				
12回	7章	語形成:二つの言葉をプラス 語形成:単語の前に漢字をプラス 5-6章 小テスト				
13回	7章	語形成:単語の後ろに単語をプラス 期末テスト前復習①				
14回	7章	語形成:形容詞から作る動詞と名詞 期末テスト前復習②				
15回	期末試験	後期期末試験				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ(聴解・漢字)				クラス	ST①
担当講師(フルネーム)	中村千春				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N1聴解対策 日本語能力試験N1漢字対策				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N1合格または同等レベルの日本語能力をつける					
使用テキスト	新完全マスター聴解及び徹底トレーニング／プリント対応:新完全マスター漢字N1・にほんご単語ドリル慣用句					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	聴解 漢字	聴解:「新完全マスター」概要理解⑤ 漢字:第2部 形成文字 前期の宿題チェック 漢字:第2部 第18回 な形容詞(2) 副詞 & 第19回 名詞(1)身体・健康				
2回	聴解 漢字	聴解:「新完全マスター」統合理解 漢字:第2部 第20回 名詞(2)建造物・日用品 & 第19回小テスト				
3回	聴解 漢字	聴解:「徹底トレーニングN1聴解」実践問題第1回 ※試験直前対策 漢字:第2部 第21回 名詞(3)人間関係・生涯 & 第20回小テスト				
4回	聴解 漢字	聴解:「徹底トレーニングN1聴解」実践模試第1回F.B. ※試験直前対策 漢字:第2部 第22回 名詞(4)数量・範囲 & 第21回小テスト				
5回	聴解 漢字	聴解:「徹底トレーニングN1聴解」実践問題第2回 ※試験直前対策 漢字:第2部 第23回 名詞(5)言語・教育 & 第22回しようてすと				
6回	聴解 漢字	聴解:「徹底トレーニングN1聴解」実践問題第2回F.B. ※試験直前対策 漢字:第2部 漢字:第2部 第24回 名詞(6)犯罪・災害 & 第23回小テスト				
7回	聴解 漢字	聴解:「徹底トレーニングN1聴解」実践問題 予備 ※試験直前対策 漢字:第2部 第25回 名詞(7)政治・行政・国際関係 & 第24回小テスト				
8回	聴解 漢字	聴解:「徹底トレーニングN1聴解」課題理解:練習しよう 漢字:第2部 第26回 名詞(8)産業・交通 & 第25回小テスト				
9回	N1模擬試験	共通模擬試験				
10回	N1模擬試験	共通模擬試験 漢字:第2部 第27回 名詞(9)経済・流通				
11回	聴解 漢字	聴解:「徹底トレーニングN1聴解」課題理解:練習しよう 漢字:第2部 第28回 名詞(10)自然・科学・地理 & 第26回小テスト				
12回	聴解 漢字	聴解:「徹底トレーニングN1聴解」ポイント理解:練習しよう 漢字:第2部 第29回 名詞(11)思想・歴史 & 第27回小テスト				
13回	聴解 漢字	聴解:「徹底トレーニングN1聴解」即時応答の対策① 漢字:期末試験対策／第2部 第30回 名詞(12)IT関連・娯楽				
14回	聴解 漢字	聴解:「徹底トレーニングN1聴解」即時応答の対策② 漢字:期末試験対策／第2部 第31回 特別な読み方をする漢字の言葉				
15回	聴解 漢字	聴解:期末試験 漢字:期末試験				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科 1・2年	
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ(漢字と聴解)				クラス	ST②③
担当講師(フルネーム)	永吉美知子・小川剛				実務経験	無
授業概要(内容)	12月に実施される能力試験N2合格を目指して、聴解の不得手な部分をスクリプトを読みながら語彙を定着させる。漢字は反復学習に集中させる				授業形態	講義
到達目標	能力試験 N2合格					
使用テキスト	日本語能力試験 N2 予想問題 過去問 20日で合格					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション ・レベル確認	アカデミックジャパニー(中上級)を通してレベルの確認 今後の方針の徹底				
2回	課題理解① 漢字8日	課題解決に必要な情報の聞き取り 答えを選ぶ 意味の確認 文の中の文法				
3回	ポイント理解① 漢字9日	聞き取るべきポイントを理解して 適切な答えを選ぶ				
4回	ポイント理解② 漢字9日	聞き取るべきポイントを理解して 適切な答えを選ぶ				
5回	概要理解① 漢字復習	話全体から話者の意図を聞き取る				
6回	概要理解② 漢字10日	話全体から話者の意図を聞き取る				
7回	即時応答① 漢字10日	短い発話に対し 適切な応答と選ぶ				
8回	統合理解① 漢字11日	長めの複雑な話を聞き 適切な答えを選ぶ				
9回	過去問題	読解のFB				
10回	過去問題	読解のFB				
11回	模擬試験FB 漢字11日	試験で間違えが多い部分のFB				
12回	模擬試験 漢字12日	間違えの多い部分のFB				
13回	即時応答② 漢字12日	短い発話に対し 適切な応答と選ぶ				
14回	統合理解②	長めの複雑な話を聞き 適切な答えを選ぶ 漢字対策テスト				
15回	評価テスト					

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科		
科目名	日本語能力試験対策Ⅲ(文法)				クラス	ST①	
担当講師(フルネーム)	藤瀬葵				実務経験	無	
授業概要(内容)	日本語能力試験対策N1 N1文法練習問題、模擬試験と解答解説				授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N1合格						
使用テキスト	N1文法総まとめ(三修社)、N1文法問題集、パワードリルN1文法						
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施						
	テーマ	授業内容					
1回	N1文法 練習問題	パワードリルN1文法 第1回&集中トレーニング①② 授業・試験・評価などについての説明&宿題配布 ※パワードリルの偶数回は自習とする。					
2回	N1文法 練習問題	宿題FB(UNIT1 STEP1 TEST1.2 P6.7) 小テスト UNIT1 STEP1 TEST3 P8 パワードリルN1文法 第3回					
3回	N1文法 練習問題	宿題FB(UNIT2 STEP1 TEST1.2 P14.15) 小テスト UNIT2 STEP1 TEST3 P16 パワードリルN1文法 第5回					
4回	N1文法 練習問題	宿題FB(UNIT3 STEP1 TEST1.2 P22.23) 小テスト UNIT3 STEP1 TEST3 P24 パワードリルN1文法 第7回					
5回	N1文法 練習問題	宿題FB(UNIT4 STEP1 TEST1.2 P30.31) 小テスト UNIT4 STEP1 TEST3 P32 パワードリルN1文法 第9回					
6回	N1文法 練習問題	宿題FB(UNIT5 STEP1 TEST1.2 P38.39) 小テスト UNIT5 STEP1 TEST3 P40 パワードリルN1文法 第11回					
7回	N1文法 練習問題	宿題FB(UNIT6 STEP1 TEST1.2 P46.47) 小テスト UNIT6 STEP1 TEST3 P48 パワードリルN1文法 第13回					
8回	N1文法 練習問題	宿題FB(UNIT7 STEP1 TEST1.2 P54.55) 小テスト UNIT7 STEP1 TEST3 P56 パワードリルN1文法 第15回					
9回	N1文法 練習問題	宿題FB(UNIT8 STEP1 TEST1.2 P62.63) 小テスト UNIT8 STEP1 TEST3 P64 パワードリルN1文法 第17回					
10回	N1文法 練習問題	宿題FB(UNIT9 STEP1 TEST1.2 P70.71) 小テスト UNIT9 STEP1 TEST3 P72 パワードリルN1文法 第19回					
11回	N1文法 練習問題	集中トレーニング③④ パワードリルN1文法 第21回					
12回	模擬試験FB	集中トレーニング⑤⑥ 模擬試験FB					
13回	模擬試験FB	集中トレーニング⑦⑧ 模擬試験FB					
14回	期末試験	集中トレーニング⑨⑩ 期末試験					
15回	期末試験 解答解説	パワードリルN1文法 第23回 期末試験FB					

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅲ(文法)				クラス	ST②③
担当講師(フルネーム)	上中真由美・小川剛				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N2対策 文法を導入・確認し、練習問題を解きN2の力をつける				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2合格					
使用テキスト	耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N2文法	授業の進め方・評価方法について Unit 1				
2回	N2文法	Unit 1				
3回	N2文法	Unit 1				
4回	N2文法	Unit 1				
5回	N2文法	Unit 2				
6回	N2文法	Unit 2				
7回	N2文法	Unit 2				
8回	N2文法	Unit 2				
9回	N2文法	模擬テスト + FB				
10回	N2文法	模擬テスト + FB				
11回	N2文法	Unit 3				
12回	N2文法	Unit 3				
13回	N2文法	Unit 3				
14回	N2文法	復習				
15回	N2文法	期末テスト + FB				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅳ(読解)				クラス	ST①
担当講師(フルネーム)	上中真由美				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N1対策 読解問題を解く				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N1合格					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N1読解	読解問題の解き方のポイント N1漢字(読み)				
2回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する N1漢字(読み)				
3回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する N1漢字(読み)				
4回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する N1漢字(読み)				
5回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する N1漢字(読み)				
6回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する N1漢字(読み)				
7回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する N1漢字(読み)				
8回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する N1漢字(読み)				
9回	N1読解	模擬テスト + FB				
10回	N1読解	模擬テスト + FB				
11回	N1読解	読み物 N1漢字(読み)				
12回	N1読解	読み物 N1漢字(読み)				
13回	N1読解	読み物 N1漢字(読み)				
14回	N1読解	読み物 N1漢字(読み)				
15回	N1読解	期末テスト + FB				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント1, 2年	
科目名	日本語能力試験対策Ⅳ(読解)				クラス	ST②③
担当講師(フルネーム)	永吉美知子・小川剛				実務経験	無
授業概要(内容)	12月に実施される能力試験N2合格を目指して 最も不得手な読解を中心に授業を進める				授業形態	講義
到達目標	能力試験 N2合格					
使用テキスト	日本語能力試験N2 予想問題					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	文章の文法① 短文①中文①	文章の流れにあった言葉や表現を判断して答える 200字から500字程度の文章を読み 質問に答える				
2回	文章の文法② 短文②中文②	文章の流れにあった言葉や表現を判断して答える 200字から500字程度の文章を読み 質問に答える				
3回	文章の文法③ 短文③中文③	文章の流れにあった言葉や表現を判断して答える 200字から500字程度の文章を読み 質問に答える				
4回	中文④ 統合理解①長文①	600字程度の文章の読み比べ 900字程度の文章を読んで 筆者の意図を読み取る				
5回	統合理解② 長文②情報検索①	900字程度の文章を読んで 筆者の意図を読み取る 700字程度の文章から 情報を読み取り 質問に答える				
6回	統合理解③ 長文③情報検索②	900字程度の文章を読んで 筆者の意図を読み取る 700字程度の文章から 情報を読み取り 質問に答える				
7回	1～7回までの復習	今までで 間違いが多かった部分の復習を中心にする				
8回	中文④長文④	600字程度の文章の読み比べ 900字程度の文章を読んで 筆者の意図を読み取る				
9回	模擬試験					
10回	模擬試験					
11回	読み物と問題	ニュース検定 情報社会に潜む危険と対策 意味確認 漢字の読み 内容把握				
12回	読み物と問題	ニュース検定 地球環境を守る 意味確認 漢字の読み 内容把握				
13回	読み物と問題	ニュース検定 加速が続く人口減少 意味確認 漢字の読み 内容把握				
14回	評価テスト対策	今までの復習 読解の問題をとくポイントの確認				
15回	評価テスト					

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	ソムリエ&バーテンダー				クラス	S
担当講師(フルネーム)	藤井智之・水田勇太				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	酒類に興味を持ってもらい、レストラン・バー業務に活かすこと。 現場での業務が円滑に行える、お客様との会話のツールにする。				授業形態	講義 & 演習
到達目標	バー・ラウンジにおける接客、お酒の基礎知識また、基本習得					
使用テキスト	ホテルテキスト料飲Ⅱ バー・ラウンジ編					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	シラバス説明		前期講義概要、バー・ラウンジについて、ホスピタリティとは			
2回	酒類の定義と分類		酒類の詳細			
3回	ワインの基礎知識		ワインの歴史、酒類			
4回	ワイン用ブドウについて		ワイン用ブドウ栽培、栽培地域、土壌について			
5回	カクテルの基礎		カクテル概要			
6回	カクテル基礎知識		器具、カクテル作成について			
7回	カクテル実技		カクテル作成			
8回	フランスワインについて		フランスワイン概要、主要産地の特徴			
9回	イタリア、ドイツワイン		イタリア、ドイツワインの特徴			
10回	その他ワイン産地		アメリカ、ニュージーランドなどのワインの特徴			
11回	ワインと料理の相性		ソムリエの役割、マリージュ、ペアリングについて			
12回	ワインサービス実技		プレゼン、抜栓の練習			
13回	ワインサービス実技		スパークリング、白、赤ワインのサーブ。ソー、パニエ、デカンタージュ、エアレーションについて 期末試験について			
14回	ワインサービス実技		ワインの表現、売上を上げるソムリエについて。 期末試験			
15回	前期まとめ		解答、復習			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ホテル業界研究				クラス	S
担当講師(フルネーム)	橋口 淳二				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	日本国内ホテル業界の業務内容を理解する。 業界に対しての学びと気づき知識を増やす。				授業形態	講義
到達目標	日本のホテル業界で使える知識を取得できる。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方 企業研究の仕方について			
2回	ホテルの基本		志望先ホテルを考え、そのホテルに対しての指導を行う			
3回	ホテル就職について		日本企業と外資系企業給与体系、福利厚生について			
4回	ホテルの形態・種類		福岡市内ホテルの企業研究			
5回	ホテルの形態・種類		東京都内ホテルの企業研究			
6回	ホテルの形態・種類		テーマパークホテルの企業研究			
7回	ホテル種類別研究		関西地区ホテルの企業研究			
8回	ホテル種類別研究		ホテル研究発表へ向けチーム作成、テーマ決め			
9回	ホテル種類別研究		テーマに沿ったホテル資料収集			
10回	ホテル種類別研究		テーマに沿ったホテル資料収集			
11回	ホテル種類別研究		パワーポイントプレゼンテーション作成			
12回	ホテル種類別研究		パワーポイントプレゼンテーション作成			
13回	研究発表		プレゼンテーション			
14回	研究発表		プレゼンテーション			
15回	前期まとめ		ホテル業界研究まとめ			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	SPI対策				クラス	S
担当講師(フルネーム)	山本真美				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職試験における筆記試験分野の対策授業				授業形態	講義
到達目標	筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指し、応用力を養う					
使用テキスト	・SPI3言語能力検査 ・一般常識&時事 一問一答					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	SPIを知る	授業方針説明、SPI検査の内容を再確認 SPI言語 同意語(意味や内容が近い語) * 夏休みの課題(四字熟語)提出				
2回	日本の特産品	日本地理 ①都道府県名、県庁所在の確認 SPI言語 反意語(意味や内容が反対の語) SPI非言語 損益算①				
3回	四字熟語	四字熟語テスト ①夏休みの課題(四字熟語)を6回に分けて小テスト 日本地理 ②日本各地の産物を学び、産地との組み合わせを覚える SPI言語 ことばの意味①語句の意味が正しいもの / 非言語 損益算②				
4回	世界の気候	四字熟語テスト ② 世界地理 ①世界各地の気候、産物と産地の組み合わせを覚える SPI言語 ことばの意味②意味に適合する語句 / 非言語 ハジキ問題①				
5回	世界が作るもの	四字熟語テスト ③ 世界地理 ②産地・産物の練習問題 SPI言語 複数の意味(意味や用法が近いもの) / 非言語 ハジキ問題②				
6回	文章問題	四字熟語テスト ④ SPI言語 文章問題① / 非言語 食塩水①				
7回	日本史の中の人物	四字熟語テスト ⑤ 日本史 日本史上の人物に焦点をあてて、歴史を見る(誰が何をしたか?) SPI言語 文章問題② / 非言語 食塩水②				
8回	世界史の中の人物	四字熟語テスト ⑥ 世界史 世界史上の有名な出来事を追ひ、人物と「何」が起きたのか?を見る SPI言語 原料(加工物とその原料) / 非言語 順列①				
9回	文化史	文化史 文化・芸術史を学び、有名な芸術作品をおさえる SPI言語 包含・用途・機能 / 非言語 順列②				
10回	文章問題	SPI言語 文章問題③ / 非言語 組み合わせ				
11回	名言・名句	思想史 思想家の名言・名句と著書 SPI言語 行為の関係 / 非言語 確率				
12回	文学史	文学史 主な文学作品とその作者 SPI言語 文章問題④ / 非言語 組み合わせ				
13回	経済用語	経済用語 SPI言語 ことわざ・慣用句 / 非言語 集合				
14回	働く環境を考える	労働・社会保障 労働者は守られているか? SPI言語 文章問題⑤ / 非言語 推論				
15回	2年生に向けての準備	時事問題を考える 新聞・ニュースサイトの活用 後期の復習 / 非言語 資料の読み取り				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語ビジネス会話				クラス	S
担当講師(フルネーム)	藤瀬葵				実務経験	無
授業概要(内容)	①日本企業に勤務する上で必要な会話表現を指導する。 ②ロールプレイを通じて、スムーズな会話を身に着ける。				授業形態	講義
到達目標	日本企業の社内外で遭遇するビジネス場面において、スムーズに業務を行えるようになる。					
使用テキスト	JAPANESE FOR HOTEL STAFF(サービス日本語ホテルスタッフ編) にほんご話し方トレーニング 中・上級レベル ビジネス日本語オールインワン問題集 もっと話せる! もっと使える! 日本語単語ドリル(慣用句)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	第1章1課 おもてなしの心を表す表現 第1章2課 行き届いたサービスを伝える表現	発音練習 第2章5課 日本語ビジネス会話 N1・N2慣用句・四字熟語 ユニット6				
2回	第2章 6課 電話の取次ぎ	発音練習 第2章6課 日本語ビジネス会話 N1・N2慣用句・四字熟語 ユニット7				
3回	第2章 7課 ルームサービス	発音練習 第2章7課 日本語ビジネス会話 N1・N2慣用句・四字熟語 ユニット8				
4回	第2章 8課 ハウスキーピング	発音練習 第2章8課 日本語ビジネス会話 N1・N2慣用句・四字熟語 ユニット9				
5回	第2章 8課 ハウスキーピング	発音練習 第2章9課 日本語ビジネス会話 N1・N2慣用句・四字熟語 ユニット10				
6回	第2章 9課 ランドリーサービス	発音練習 第2章10課 日本語ビジネス会話 N1・N2慣用句・四字熟語 ユニット11				
7回	第2章 9課 ランドリーサービス	発音練習 番外P56 日本語ビジネス会話 N1・N2慣用句・四字熟語 ユニット12				
8回	第2章 10課 レストラン(朝食サービス)	発音練習 第4章13課 感動詞 14課 強調 日本語ビジネス会話 N1・N2慣用句・四字熟語 ユニット13				
9回	第2章 10課 レストラン(朝食サービス)	発音練習 第4章15課 オノマトペ 16課同音異義語のアクセント 日本語ビジネス会話 N1・N2慣用句・四字熟語 ユニット14				
10回	メールの基本①②	発音練習 第4章17課 文末イントネーション 18課いろいろな音(1) 日本語ビジネス会話 (ビジネス日本語オールインワン問題集P16.176) N1・N2慣用句・四字熟語 ユニット15				
11回	ビジネス文書の基本	発音練習 第4章19課いろいろな音(2) 20課いろいろな音(3) 日本語ビジネス会話 (ビジネス日本語オールインワン問題集P50) N1・N2慣用句・四字熟語 ユニット16				
12回	敬語の基本	発音練習 番外 口の体操! 早口ことば 日本語ビジネス会話 (ビジネス日本語オールインワン問題集P201-208) N1・N2慣用句・四字熟語 ユニット17				
13回	総合復習	発音練習 早口ことば 総合復習 N1・N2慣用句・四字熟語 ユニット18				
14回	期末試験	期末試験 発音練習 早口ことば N1・N2慣用句・四字熟語 ユニット19				
15回	期末試験 解答解説	期末試験FB 発音練習 早口ことば N1・N2慣用句・四字熟語 ユニット20				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科		
科目名	面接対策				クラス	S	
担当講師(フルネーム)	安部紀美江				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	・企業研究、志望動機、自己PRの完成品作成 ・日本語での表現力の向上				授業形態	講義	
到達目標	・志望する企業への内定を勝ち取る。						
使用テキスト	・「NEW SUCCESS 勝つための就職ガイド」 ・就職ノート ・オリジナルレジュメ						
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	× 期末試験なし						
	テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション		・後期授業内容の説明				
2回	自己PRの作り方		・自己PRの作成方法をキーワードごとに説明し作成してみる				
3回	自己PRの完成		・自己PRの作成方法をキーワードごとに説明し作成してみる				
4回	自己PRの完成		・現時点でのベスト自己PRを完成させる				
5回	志望動機の作り方		・モデルケースの志望動機を作ってみる。				
6回	志望動機の作り方		・志望動機作成に必要な文言や自己PRとの関連性について考えていく。				
7回	求人票の読み取り方		・実際の求人票を使い書かれている内容の意味を理解させる				
8回	企業研究		・企業の情報収集の方法				
9回	企業研究		・企業研究シートを使い書いてみる				
10回	企業研究		・エントリーシートとは何かを理解し、過去のエントリーシートを使って、実際にエントリーシートを書いてみる。				
11回	企業研究		・エントリーシートとは何かを理解し、過去のエントリーシートを使って、実際にエントリーシートを書いてみる。				
12回	面接対策		・面接の形式 ・面接の受け答えチェックポイント				
13回	面接対策		・面接の受け答えチェックポイント				
14回	面接対策		・面接の受け答えチェックポイント				
15回	完成品のチェック		・後期提出物のチェック				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	コンピュータ				クラス	S
担当講師(フルネーム)	乙 咩 清美				実務経験	有(通信業界勤務歴)
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 表計算の基礎を学び、活用できる力を習得する。				授業形態	講義
到達目標	日本のパソコンが自由に使えるようになる。仕事に必要なパソコンスキルを習得する。					
使用テキスト	30時間でマスター Office2019					
成績評価方法	・中間試験50% 期末試験30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数 2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Word基礎	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) 短文入力 キーボードの各キーの意味と使い分け				
2回	Word基礎	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) 短文入力 表の練習				
3回	Excel基礎	タイピングレッスン Excel2019について、画面構成、文字・数値の入力と編集、テンキーレッスン 四則演算式と関数				
4回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)				
5回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める				
6回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成 グラフ作成(基本的な縦棒・横棒・折れ線・円グラフ)				
7回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成 関数(IF関数など)				
8回	Excel応用	タイピングレッスン 表作成 検定過去問題の練習①				
9回	Excel応用	タイピングレッスン 表作成 検定過去問題の練習②				
10回	Excel応用	タイピングレッスン 表作成 検定過去問題の練習③				
11回	後期中間試験	表計算技能処理検定 3級相当の模擬テスト				
12回	パソコン活用	クリスマスのチラシを作ろう！				
13回	パソコン活用	ビジネスレターの形式とマナー① ビジネス文書の基本形式を復習する 就職用のビジネス文書とビジネスメールの書き方を学ぶ				
14回	パソコン活用	ビジネスレターの形式とマナー② 就職用のビジネスメールの送信				
15回	後期期末試験	ビジネスレターの形式とマナー③ 就活用のビジネス文書の作成				

対象学年	2・3年共通	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	TOEIC I				クラス	SU(日)
担当講師(フルネーム)	挽田雅子、加藤亜希				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	TOEIC Iの語彙、文法知識を高める TOEIC 試験形式に慣れ聴解力を高める				授業形態	講義
到達目標	TOEIC テストで目標スコアを獲得する					
使用テキスト	TOEIC Listening & reading 問題集7					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Part 1	授業の進め方、評価方法の説明 TOEICテストの説明 サンプル問題を解く				
2回	Part2(1)	Part2の基本を学ぶ WH疑問文を聞き取る キーワードをとらえる				
3回	Part2(3)	「許可」「依頼」「提案」の応答の典型 音のひっかけ問題に注意する 練習問題				
4回	Part3(2)	設問を先に読む 設問の意味を単純化する 選択肢を読む				
5回	Part4(1)	Part4攻略の基本を学ぶ 設問の順番に沿ってヒントを聞き取る アナウンスや公共放送を聞く				
6回	Part4(3)	図、イラスト問題を攻略する 設問を先読みする 練習問題				
7回	Part5(2)	名詞の形と役割を理解する 名詞と数量詞の関連を知る 練習問題				
8回	Part5(4)	形容詞の形と役割を理解する 副詞の形と役割を理解する 形容詞と副詞の練習問題				
9回	Part5(6)	前置詞の用法について理解する 接続詞の用法について理解する 前置詞と接続詞の練習問題				
10回	Part6(1)	Part6の攻略の基本を学ぶ 設問を分類する 文法、語彙問題を解く				
11回	Part7(1)	Part7の攻略の基本を学ぶ 短い文章から取り組む メール、お知らせ、メッセージを読む				
12回	Part7(3)	記事、取扱説明書、手紙を読む 時間を管理する シングルパッセージの後半を最後に解く				
13回	Part7(5)	ダブルパッセージ 求人広告とメール 設問の焦点となる情報を一方の文書で探し、もう一方の文書で関連情報を探す				
14回	Part7(7)	トリプルパッセージ Eメール、目次、ウェブページ 要約力を身につける				
15回	応用問題	ストーリーを理解する ほのめかされた情報が問われた時の解答法 「位置選択問題」の解き方				

対象学年	2・3年共通	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科		
科目名	TOEIC II				クラス	SU(日)	
担当講師(フルネーム)	挽田雅子、加藤亜希				実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	TOEIC Iの語彙、文法知識を高める TOEIC 試験形式に慣れ聴解力を高める				授業形態	講義	
到達目標	TOEIC テストで目標スコアを獲得する						
使用テキスト	TOEIC Listening & reading 問題集7						
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施						
	テーマ	授業内容					
1回	Part 1	Part1 攻略の基本を学ぶ 人物、風景と物、乗り物についての表現を学ぶ 練習問題					
2回	Part2(2)	Yes/No疑問文の応答 付加疑問文の応答 平叙文の応答					
3回	Part3(1)	Part3の攻略の基本を学ぶ 設問を読み、全体を聞いて解答できるものとピンポイントできいて解答 するものを見分ける					
4回	Part3(3)	設問を先に読む 図、イラスト問題を攻略する 選択肢を読む					
5回	Part4(2)	場所を問う問題を解く 職業を問う問題を解く 次の行動を問う問題を解く					
6回	Part5(1)	Part5の攻略の基本を学ぶ 品詞問題の解き方を学ぶ 文型、修飾語について理解する					
7回	Part5(3)	動詞の形と役割を理解する 能動態と受動態 練習問題					
8回	Part5(5)	準動詞の形と役割を理解する 不定詞、動名詞の練習問題 分詞の形と用法を理解する					
9回	Part5(7)	主語と述語の一致について理解する 主語の見分け方と対応する動詞の選び方を学習する 練習問題					
10回	Part6(2)	「文挿入問題」の解き方を学ぶ 空所の前後の内容をリンクさせるキーワードに注意する 練習問題					
11回	Part7(2)	広告、オンラインチャット、求人広告を読む 流れを意識して読む テキストメッセージは書き手の関係を理解して読む					
12回	Part7(4)	ダブルパッセージの解き方を学ぶ メールと予定表を読む 練習問題					
13回	Part7(6)	トリプルパッセージの解き方を学ぶ ウェブページとメールを読む 練習問題					
14回	Part7(8)	トリプルパッセージ 記事、文書、ウェブページを読む 練習問題					
15回	まとめと復習	語彙、語法の確認 文法問題の確認 総復習					

対象学年	2・3年共通	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	フロントオフィス				クラス	S・Uクラス
担当講師(フルネーム)	松本範子				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	フロントオフィスの様々な業務・役割を学び理解する。また、PMS(ホテルシステム)を実際に使用しながら理解を深める。				授業形態	講義 & 演習
到達目標	フロントオフィス業務についての基本知識を学ぶとともにホテル全体の流れを理解する					
使用テキスト	ホテルテキスト宿泊 I フロント・オフィス編					
成績評価方法	・筆記試験(8回目)40% システムテスト(15回目)40% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	システム	PMSをみてみよう 予約画面の出し方 お客様の予約を確認してみよう				
2回	システム	PMSで予約を作成してみよう				
3回	第5章 フロントキャッシャー業務	会計業務: 精算手段・精算方法				
4回	フロントキャッシャー業務	外貨両替 貴重品預かり				
5回	第6章 インフォメーション業務	インフォメーション ルームインフォメーション・シティインフォメーション お勤め場所の案内				
6回	インフォメーション業務	郵便物と電報 電話交換				
7回	第7章 防犯業務	防犯管理・遺失物管理 教科書まとめ・テスト対策				
8回	テスト システム	第5章～第7章のまとめ筆記試験 PMSシステム 予約作成の復習				
9回	システム	顧客情報の入力 顧客情報の更新				
10回	システム	予約変更・キャンセル				
11回	システム	チェックイン				
12回	システム	チェックアウト				
13回	システム	故障部屋の入力 ルームアサイン・アサイン照会 ルームアサイン変更				
14回	システム	システムの復習				
15回	システムテスト	システムテスト				

対象学年	3年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ホテル英会話				クラス	Uクラス
担当講師(フルネーム)	日高郁子				実務経験	有(通訳・翻訳業界勤務歴有)
授業概要(内容)	ホテルで使う英語の表現を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	状況に応じて英語で接客が出来るようになる					
使用テキスト	Hotel & Hospitality English					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	前期の振り返り	前期の復習				
2回	13. Complaints from guests at the bar	Dealing with complaints Apologizing for mistakes Explaining the bill				
3回	14. In the restaurant (1)	Welcoming diners Giving out menus Taking drinks orders				
4回	15. In the restaurant (2)	Taking food orders Explaining dishes Choosing drinks				
5回	16. In the restaurant (3)	Asking about dessert and coffee Bringing the bill Handling payment				
6回	17. Housekeeping	Briefing new staff Explaining hotel rules Answering questions				
7回	18. Housekeeping problems	Dealing with requests Solving problems Agreeing to come back later				
8回	19. Room service	Taking room service orders Agreeing delivery times Delivering room service				
9回	20. Guest service	Ordering things for guests Making appointment Checking information				
10回	21. In the business center	Explaining available service Providing equipment Providing information				
11回	22. Recommendations for places to eat	Making restaurant recommendations Comparing things				
12回	23. Checking out	Checking guests out Checking items on the bill Saying goodbye				
13回	24. Problems checking out	Correcting mistakes on the bill Apologizing Keeping guests happy				
14回	Speaking Test	Speaking Test				
15回	1年間のまとめ 後期期末対策	まとめとテスト対策				

対象学年	3年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	観光地理				クラス	U
担当講師(フルネーム)	牟田口 真理子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	地域ごとの風土や産業と併せて特徴のある観光地、観光施設を紹介する。 ホテル業界を目指す人に特に知っておいて欲しい事柄にフォーカスを当てる。				授業形態	講義
到達目標	日本の地域の特性、主な都市・有名観光地を覚える					
使用テキスト	国内観光地理サブノート、レジュメ・プリントの配布					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	ガイダンス		・授業の進め方 日本の観光の歴史			
2回	北海道		北海道の観光の歴史 北海道の主な都市と交通 北海道の観光やホテル・入場施設			
3回	北関東(茨城、群馬、栃木、東京)		北関東の観光の歴史 北関東の主な都市と交通 北関東の観光やホテル・入場施設			
4回	南関東(千葉・埼玉・神奈川)		南東北の観光の歴史 南東北の主な都市と交通 南関東の観光やホテル・入場施設			
5回	甲信越(山梨・長野・新潟)		甲信越の観光の歴史 甲信越の主な都市と交通 甲信越の観光やホテル・入場施設			
6回	北陸(富山・石川・福井)		北陸の観光の歴史 北陸の主な都市と交通 北陸の観光やホテル・入場施設			
7回	東海(静岡・愛知・岐阜・三重)		東海の観光の歴史 東海の主な都市と交通 東海の観光やホテル・入場施設			
8回	近畿(滋賀・京都・奈良・和歌山・大阪・兵庫)		近畿の観光の歴史 近畿の主な都市と交通 近畿の観光やホテル・入場施設			
9回	近畿(滋賀・京都・奈良・和歌山・大阪・兵庫)		近畿の観光の歴史 近畿の主な都市と交通 近畿の観光やホテル・入場施設			
10回	近畿(滋賀・京都・奈良・和歌山・大阪・兵庫)		近畿の観光の歴史 近畿の主な都市と交通 近畿の観光やホテル・入場施設			
11回	中国(岡山・広島・山口・鳥取・島根)		中国の観光の歴史 中国の主な都市と交通 中国地方の観光やホテル・入場施設			
12回	四国(香川・徳島・愛媛・高知)		四国の観光の歴史 四国の主な都市と交通 四国の観光やホテル・入場施設			
13回	北部九州(福岡・佐賀・長崎・大分)		北部九州の観光の歴史 北部九州の主な都市と交通 北部九州の観光やホテル・入場施設			
14回	南九州(熊本・宮崎・鹿児島)		南九州の観光の歴史 南九州の主な都市と交通 南九州の観光やホテル・入場施設			
15回	沖縄(本島、離島)		沖縄の観光の歴史 沖縄の主な都市と交通 沖縄の観光やホテル・入場施設			

対象学年	3年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント		
科目名	ホテルマネジメント				クラス	U	
担当講師(フルネーム)	中牟田 登喜枝				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ホテルマネジメントの基礎的な知識を学習する				授業形態	講義	
到達目標	マネジメントの基礎的な仕組みを学び、活用できるようになる						
使用テキスト	ホテルマネジメント						
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施						
	テーマ						
1回	4章 日本のホテル組織と人事・労務管理	組織と特徴 職務分類 人事・労務					
2回	5章 ヒューマン・リソース・マネジメント	日系と外資の人材					
3回	5章 ヒューマン・リソース・マネジメント	星野リゾートマネージメント					
4回	6章 カスタマー・リレーションシップ・マネジメント	リッツカールトンホテルのCRG					
5回	6章 カスタマー・リレーションシップ・マネジメント	サービスの定義					
6回	7章 リスク・マネジメント	リスクマネジメントとは					
7回	7章 リスク・マネジメント	ホテルビジネスを取り巻く危険要因					
8回	7章 リスク・マネジメント	ホテルビジネスにおけるリスクカテゴリー					
9回	7章 リスク・マネジメント	防災事故管理					
10回	7章 リスク・マネジメント	防犯管理					
11回	7章 リスク・マネジメント	BCR とBCM					
12回	8章 今後の日本ホテルマネジメント戦略	ホテルマネジメントにおける日本の課題 ・観光立国 ・国際旅行者					
13回	8章 今後の日本ホテルマネジメント戦略	インターネット等のマーケティング MICE IR					
14回	8章 今後の日本ホテルマネジメント戦略	日本のホテルビジネス、その他の宿泊ビジネスの今後					
15回	まとめ	後期範囲の復習 後期期末試験範囲、内容確認					

対象学年	3年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	社会情勢研究				クラス	U
担当講師(フルネーム)	山本真美				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	現代社会を日本とベトナム、ネパール、スリランカの現状から学ぶ				授業形態	講義
到達目標	「情報の理解」と、それを他者に説明できるようになる					
使用テキスト	図解まるわかり時事用語(新星出版社)/3年前期使用					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	その情報はどこから		授業方針、評価方法の説明 情報媒体を確認する(日本、ベトナム、ネパール、スリランカ)			
2回	フェイクニュースを考える		「本当のニュース」って何？ フェイクニュースの実態、オルタナティブファクトを考える 自分の周りの「フェイクニュース」を調べる			
3回	思い込みが判断を間違える		「ファクトフルネス」から考える「思い込み」			
4回	統計を取る		昨年実施された「国勢調査」からの統計の重要性を考える 各国の「国勢調査」の実態を調べ発表する			
5回	「食」①		世界各国の「主食」と食料自給率			
6回	「食」②		種苗会社と食の安全性 GMO遺伝子組み換え食品と、ゲノム編集食品			
7回	「食」③		穀物メジャーと物流 グループワーク			
8回	「食」④		グループワーク 発表			
9回	社会保障制度①		社会保険・公的年金を考える 日本の国民皆保険が狙われる			
10回	社会保障制度②		グループワーク レポート提出			
11回	SDGs①		「持続可能な開発目標」これからの世界の行く先 17の目標を知る 各国の、近年の異常気象を調べる			
12回	SDGs②		3Rから見るサステナブルファッション グループワーク レポート提出			
13回	SDGs③		ホテル業界が取り組む「ECO」 グループワーク レポート提出			
14回	SDGs④		SDGsに取り組み、「ESG投資」を呼び込む グループワーク レポート提出			
15回	これからの社会		期末試験			

対象学年	3年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本文化				クラス	U
担当講師(フルネーム)	挽田雅子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	日本文化の多種多様な面を学ぶ。自分と日本文化との関りを考える。 異文化相互理解を図る。				授業形態	講義
到達目標	日本文化との接触を通して、異文化を理解しようとする態度や能力を獲得する。					
使用テキスト	マナー＆プロトコルの基礎知識					
成績評価方法	研究発表50% 平常点(受講態度)50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の進め方、評価基準についての説明 日本文化について何を知っていますか？ 福岡について				
2回	「冠」のしきたり	子供の成長を祝う 成人式について 長寿の祝い				
3回	「婚」のしきたり	結婚の変遷 結婚式について 挙式のスタイル				
4回	「葬」のしきたり	仏式の葬儀について 通夜・葬儀・告別式 法要について				
5回	「祭」のしきたり	年中行事 正月のしきたり 盂蘭盆会				
6回	日本の祭り	福岡県の祭り さまざまな盆踊り 各地の祭り				
7回	古典芸能	能・狂言など 日本舞踊 茶道				
8回	工芸	伝統工芸品 着物 和紙				
9回	言葉の文化	若者言葉 方言 九州弁と若者言葉を使って話そう				
10回	現代文化	ポップカルチャー アニメ マンガ				
11回	神道	日本の神々 日本のタブー 世界の各国のタブー				
12回	研究発表	テーマを決める グループで話し合う プレゼンテーション				
13回	研究発表	個人発表の準備 テーマを決める 資料を作成する				
14回	研究発表	個人発表 自分の発表を評価する クラスメイトの発表を評価する				
15回	まとめ	総復習 日本文化の理解度をチェック				

対象学年	3年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ				クラス	U
担当講師(フルネーム)	Geoffrey Wolfson				実務経験	無
授業概要(内容)	Doing self introductions. Making various presentations about oneself with a lot of partner work. A lot of vocabularies. Practicing role plays. Understanding various culture points.				授業形態	講義
到達目標	To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.					
使用テキスト	Challenge book #4、Takeoff!、Warm-up Booklet 2、Vocabulary Book (Noun)					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Warm Up: P6, Vocabulary: P8 Challenge Book: P15 Takeoff! Dialog: 8	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Cuisine Interview Sentences using nouns starting with H, Role play with Take off!				
2回	Warm Up: P6, Vocabulary: P9 Challenge Book: P16 Takeoff! Dialog: 9	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Restaurant Nouns starting with I, Role play with Take off!				
3回	Warm Up: P6, Vocabulary: P9 Challenge Book: P16 Takeoff! Dialog: 9	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Restaurant Sentences using nouns starting with I, Role play with Take off!				
4回	Warm Up: P7, Vocabulary: P10 Challenge Book: P21 Takeoff! Dialog: 10	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: School Memory Lane Nouns starting with J, Role play with Take off!				
5回	Warm Up: P7, Vocabulary: P10 Challenge Book: P21 Takeoff! Dialog: 10	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: School Memory Lane Sentences using nouns starting with J, Role play with Take off!				
6回	Warm Up: P7, Vocabulary: P11 Challenge Book: P22 Takeoff! Dialog: 11	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Best School Trip Nouns starting with K, Role play with Take off!				
7回	Warm Up: P8, Vocabulary: P11 Challenge Book: P22 Takeoff! Dialog: 11	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Best School Trip Sentences using nouns starting with K, Role play with Take off!				
8回	Warm Up: P8, Vocabulary: P12 Challenge Book: P23 Takeoff! Dialog: 12	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: My School Club Nouns starting with L, Role play with Take off!				
9回	Warm Up: P8, Vocabulary: P12 Challenge Book: P23 Takeoff! Dialog: 12	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: My School Club Sentences using nouns starting with L, Role play with Take off!				
10回	Warm Up: P9, Vocabulary: P13 Challenge Book: P24 Takeoff! Dialog: 13	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Music Interview Nouns starting with M, Role play with Take off!				
11回	Warm Up: P9, Vocabulary: P13 Challenge Book: P24 Takeoff! Dialog: 13	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Music Interview Sentences using nouns starting with M, Role play with Take off!				
12回	Warm Up: P9, Vocabulary: P14 Challenge Book: P25 Takeoff! Dialog: 14	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite English Song Nouns starting with N, Role play with Take off!				
13回	Warm Up: P10, Vocabulary: P14 Challenge Book: P25 Takeoff! Dialog: 14	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite English Song Sentences using nouns starting with N, Role play with Take off!				
14回	Warm Up: P10, Vocabulary: P15 Challenge Book: P26 Takeoff! Dialog: 15	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Travel Interview Nouns starting with O, Role play with Take off!				
15回	Warm Up: P10, Vocabulary: P15 Challenge Book: P26 Takeoff! Dialog: 15, test	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Travel Interview Sentences using nouns starting with O, Role play with Take off!				

対象学年	3年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語ビジネス会話				クラス	U留
担当講師(フルネーム)	小川 剛				実務経験	無
授業概要(内容)	就職面接、入社後の職務の中で、自分の意見を根拠と共に言えるように練習し、その意見を書いてまとめる練習もする。				授業形態	講義
到達目標	日本語で自分の意見を伝える。また、伝える過程で、確認や調整ができる。話した意見を文章にしてまとめることができる。					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	後期授業の進め方 会社訪問のマナー	訪問の表現・名刺交換の仕方 ・ ロールプレイ				
2回	ビジネスメール	ビジネスメールの基本・よく使う表現 ・ 課題				
3回	面接対策 自己紹介で好印象を与える	表現・場面 作成 ⇒ 発表				
4回	面接対策 きっかけを語る	表現・場面 作成 ⇒ 発表				
5回	面接対策 グループディスカッション1	グループ分け 第1回				
6回	面接対策 グループディスカッション2	第2回				
7回	面接対策 ディベート1	ディベートの進め方 第1回 話し合い ⇒ ディベート				
8回	面接対策 ディベート1(書き)	意見をまとめて、書く				
9回	面接対策 ディベート2	第2回 話し合い ⇒ ディベート				
10回	面接対策 ディベート2(書き)	意見をまとめて書く				
11回	面接対策 ディベート3	第3回 話し合い ⇒ ディベート				
12回	面接対策 ディベート3(書き)	意見をまとめて書く				
13回	面接対策 ディベート4	第4回 話し合い ⇒ ディベート				
14回	面接対策 ディベート4(書き)	意見をまとめて書く				
15回	期末試験					

対象学年	3年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語読解				クラス	U留
担当講師(フルネーム)	上中真由美				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N1対策 読解問題を解く				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N1合格					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	N1読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する N1漢字(読み)			
2回	N1読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する N1漢字(読み)			
3回	N1読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する N1漢字(読み)			
4回	N1読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する N1漢字(読み)			
5回	N1読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する N1漢字(読み)			
6回	N1読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する N1漢字(読み)			
7回	N1読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する N1漢字(読み)			
8回	N1読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する N1漢字(読み)			
9回	N1読解		模擬テスト + FB			
10回	N1読解		模擬テスト + FB			
11回	N1読解		読み物 N1漢字(読み)			
12回	N1読解		読み物 N1漢字(読み)			
13回	N1読解		読み物 N1漢字(読み)			
14回	N1読解		読み物 N1漢字(読み)			
15回	N1読解		期末テスト + FB			

対象学年	3年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント3年	
科目名	日本語能力試験対策 I				クラス	U
担当講師(フルネーム)	永吉美知子				実務経験	無
授業概要(内容)	能力試験N1合格を目指して 漢字・語彙の勉強を中心の授業をする 自宅学習を促す				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N1 合格					
使用テキスト	上級で学ぶ日本語 ワークブック 模擬テスト ニュース検定 過去問					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション・アカデミックジャパニーズ	オリエンテーション 読解力・要点をまとめる力・語彙力をよみものを通して確認				
2回	1課 初めての雪 模擬テスト	600字程度の文を読んで 内容把握 漢字読み 語彙確認 パワードリル 文法				
3回	2課 春の一日 模擬テスト	確認問題(文法・語彙の確認を中心)				
4回	3課 蕎麦屋の先生 模擬テスト	600字程度の文を内容把握 漢字読み 語彙確認 パワードリル 文法				
5回	3課 火事騒ぎ 模擬テスト	600字程度の文を読んで 内容把握 漢字読み 語彙確認 パワードリル 文法				
6回	4課 記事の裏側 模擬テスト	確認問題				
7回	復習	未読の場合はその部分を補てん				
8回	N1 予想問題 語彙・漢字	語彙・漢字の読みを総復習				
9回	模擬テスト	読解・文法 FB				
10回	模擬テスト	読解・文法 FB				
11回	5課 裁判員のもやもや 模擬テスト	600字程度の文を読んで 内容把握 漢字読み 語彙確認				
12回	5課 新聞裁き 模擬テスト	600字程度の文を読んで 内容把握 漢字読み 語彙確認				
13回	ニュース検定	時事問題の内容把握 問題解決				
14回	ニュース検定	時事問題の内容把握 問題解決				
15回	評価テスト					

対象学年	3年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ				クラス	U留
担当講師(フルネーム)	小川 剛				実務経験	無
授業概要(内容)	N1合格のために予習・復習を前提とし、ピアラーニングで学び合う。 最終学年を迎え 就職試験合格のためにも自宅学習を徹底すること				授業形態	講義
到達目標	能力試験 N1					
使用テキスト	日本語能力試験N1対策ドリル＆模試、 N1対策問題集など					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N1文法 第8回	第8回文法実施 ⇒ FB				
2回	N1語彙 第8回	第8回文字語彙実施 ⇒ FB				
3回	N1文法 第9回	第9回文法実施 ⇒ FB				
4回	N1語彙 第9回	第9回文字語彙実施 ⇒ FB				
5回	N1文法 第10回	第10回文法実施 ⇒ FB				
6回	N1語彙 第10回	第10回文字語彙実施 ⇒ FB				
7回	N1文法 第11回	第8～10回 確認テスト 第11回文法実施 ⇒ FB				
8回	N1語彙 第11回	第11回文字語彙実施 ⇒ FB				
9回	JLPT 模擬試験	N1 模擬試験①				
10回	JLPT 模擬試験	N1 模擬試験②				
11回	N1文法 第12回	第12回文法実施 ⇒ FB				
12回	N1語彙 第12回	第12回文字語彙実施 ⇒ FB				
13回	N1文法 第13回	第13回文法実施 ⇒ FB				
14回	N1語彙 第13回	第13回文字語彙実施 ⇒ FB				
15回	総まとめ	第11～13回 確認テスト 期末試験対策まとめ				

対象学年	2・3年 共通	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ホスピタリティ概論				クラス	S・Uクラス
担当講師(フルネーム)	松本範子・田中友加利				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ホスピタリティ業界だけでなく、社会人としてのビジネスマナーを学び 相手を思いやる気持ちを身に着ける				授業形態	講義
到達目標	知識を増やし、ビジネス検定合格を目指す					
使用テキスト	プリント対応					
成績評価方法	プリント課題・授業内小テスト70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第3章 コミュニケーションとビジネスマナーの基本 ・身だしなみ、あいさつ、おじぎ、仕事時のマナー				
2回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第5章 話し方と聞き方のポイント ・敬語の種類と必要性				
3回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第6章 来客対応と訪問の基本マナー				
4回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第7章 会社関係でのつき合い				
5回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第1章 仕事への取り組み方 第2章 ビジネス文書の基本				
6回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第1章 仕事への取り組み方 第2章 ビジネス文書の基本				
7回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第3章 電話対応				
8回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第4章 統計・データの読み方・まとめ方				
9回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第5章 情報収集とメディアの活用				
10回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
11回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
12回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
13回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
14回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				
15回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。				

対象学年	2・3年共通	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	レストラン実技				クラス	S・U
担当講師(フルネーム)	小西 翼				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	(日本語能力試験N1合格者対象) HRS検定の実技試験の内容をもとに、レストランで働く上で必要とされる技術や日本語の言い回し等を習得する。				授業形態	実技
到達目標	日本のレストランで働く上で必要な基礎技術の習得。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 (R認定もしくはI評価)				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	備品のセッティングと片付けについて 作業内容の説明				
2回	朝食サービス	セッティング(朝食) お迎えから水、コーヒーサービスまでのロールプレイ 整理整頓				
3回	朝食サービス	セッティング(朝食) お迎えからパンサービスまでのロールプレイ 整理整頓				
4回	朝食サービス	セッティング(朝食) お迎えからバッシング・リセットまでのロールプレイ 整理整頓				
5回	朝食サービス	セッティング(朝食) 通し練習 整理整頓				
6回	朝食サービス	セッティング(朝食) 通し練習 整理整頓				
7回	確認テスト	セッティング(朝食) 朝食サービスの試験を行う 整理整頓				
8回	確認テストの振り返り	セッティング(朝食) 確認テストのフィードバック 整理整頓				
9回	ランチサービス	セッティング(ランチ) お迎え～メイン料理サービスまでのロールプレイ 整理整頓				
10回	ランチサービス	セッティング(ランチ) お迎え～バッシング・リセットまでのロールプレイ 整理整頓				
11回	ランチサービス	セッティング(ランチ) お迎え～バッシング・リセットまでのロールプレイ 整理整頓				
12回	ランチサービス	セッティング(ランチ) 通し練習 整理整頓				
13回	ランチサービス	セッティング(ランチ) 通し練習 整理整頓				
14回	確認テスト	セッティング(ランチ) ランチサービスの試験を行う 整理整頓				
15回	確認テストの振り返り	セッティング(ランチ) 確認テストのフィードバック 整理整頓				

夜間総合観光

学年	科目名
1	英会話
1	面接対策
1	筆記試験対策
1	時刻表
1	ホテル実務技能認定試験
1	世界遺産検定
2	コミュニケーションイングリッシュ
2	web広報戦略
2	観光地理
2	フレッシュャーズ教育

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	英会話				クラス	Y
担当講師(フルネーム)	秋満 陽子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	街中で訪日外国人を接客する際に使用する様々なフレーズを学び、基本的な英語応対能力を身に付ける				授業形態	講義
到達目標	英語応対能力検定取得					
使用テキスト	とにかくひとこと接客英会話 接客英会話ワークブック(基礎編)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション Unit 1	オリエンテーション シラバス説明 英語応対能力検定について 【案内業務】売り場の場所や営業時間を答える				
2回	Unit 2 Unit 3	前回の復習問題・単語テスト 【受付業務】病院などでの受付業務 【会計案内】金額定時や支払い方法を案内する				
3回	Unit 4 Unit 5	前回の復習問題・単語テスト 【商品案内】売り場での商品の有無や特徴を表現できる 【飲食店】注文を受ける、席の予約を受ける				
4回	Unit 6 Unit 7	前回の復習問題・単語テスト 【まちかど1】写真の撮影の依頼を受ける 【まちかど2】観光名所を案内する				
5回	Unit 8 Unit 9	前回の復習問題・単語テスト 【まちかど3】有名人にサインをもらう 【トラブルシューティング1】落とし物をさがす				
6回	Unit 10 Unit 11	前回の復習問題・単語テスト 【トラブルシューティング2】けが人の対応 【トラブルシューティング3】クレーム処理				
7回	Unit 12	前回の復習問題・単語テスト 【トラブルシューティング4】注文の確認、商品の返品対応 その他ユニットの復習				
8回	Unit 13	前回の復習問題・単語テスト 【スピーキング対策1】地図を見て案内する				
9回	Unit 14	前回の復習問題・単語テスト 【スピーキング対策2】イベントの案内をする				
10回	Unit 15	前回の復習問題・単語テスト 【スピーキング対策3】免税について				
11回	検定対策①	リーディングパート対策① 単語・会話パート対策問題				
12回	検定対策②	スピーキングパート対策① 単語の発音、定型表現の発音、音読、長文の音読 状況設定に基づく応答				
13回	検定対策③	リーディングパート対策② 単語・会話パート対策問題				
14回	検定対策④	スピーキングパート対策② 資料に基づく応答 複数の資料の内容確認 状況設定に基づく応答				
15回	期末テスト	期末テスト まとめ				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	面接対策				クラス	Y
担当講師(フルネーム)	小林俊也				実務経験	無
授業概要(内容)	次年度の就職試験に向けて、面接の対策を行う。				授業形態	講義
到達目標	面接の基本動作習得、より評価の高い受け答え方ができる					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	・平常点100%(出席状況と受講態度、事後学習の取り組み姿勢による) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の進め方と評価について ・面接試験に臨むまえに ・自己紹介				
2回	面接対策①	・質問内容の分析 ・頻度の高い質問				
3回	面接対策②	・面接のシュチュエーションと基本動作				
4回	面接対策③	・自己紹介と自己PR				
5回	面接対策④	・自己PR ※模擬面接とフィードバック				
6回	面接対策⑤	・自己PR ※模擬面接とフィードバック				
7回	面接対策⑥	・自己PR ※模擬面接とフィードバック				
8回	面接対策⑦	・志望動機 ※模擬面接とフィードバック				
9回	面接対策⑧	・志望動機 ※模擬面接とフィードバック				
10回	面接対策⑨	・志望動機 ※模擬面接とフィードバック				
11回	面接対策⑩	・配属の希望と理由 ※模擬面接とフィードバック				
12回	面接対策⑪	・アルバイトについて ※模擬面接とフィードバック				
13回	面接対策⑫	・学生時代に力を入れて取り組んだこと ※模擬面接とフィードバック				
14回	面接対策⑬	・長所と短所 ※模擬面接とフィードバック				
15回	まとめ	・就職試験に臨む前に				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	夜間総合観光科	
科目名	筆記試験対策				クラス	Y
担当講師(フルネーム)	北村正雄				実務経験	無
授業概要(内容)	現在ホテル・エアライン・旅行会社などいろいろな企業が採用しているのが株式会社ルートマーケティング社のSPIです。SPIを学習することで各企業の能力検査試験に対応できます。このSPI能力検査試験に合格しなければ				授業形態	講義
到達目標	ホテル・エアライン・旅行系などの企業の就職試験に合格するのに必要な学力の修得					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	国語	SPI PAPER&テストセンター (文法 長文の要旨 文章並び替え) 難しい漢字の読み書き ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語				
2回	国語	SPI PAPER&テストセンター(文法 長文の要旨 文章並び替え) 難しい漢字の読み書き ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語				
3回	数学	集合分野はSPIでは極めて重要な分野です。ほとんどの企業で出題が予想されます。 集合はカブリのことです。ベン図 オイラー図 の理解がポイントです。 集合では独特の日本語の理解が必要です。 少なくとも意味				
4回	数学	集合分野はSPIでは極めて重要な分野です。ほとんどの企業で出題が予想されます。 集合はカブリのことです。ベン図 オイラー図 の理解がポイントです。 集合では独特の日本語の理解が必要です。 少なくとも意味				
5回	国語	漢字検定準2級(熟語の構成 部首 対義語 類義語 他)				
6回	社会	観光地理(資源) 人文地理 自然地理 日本				
7回	社会	税制 日本の社会保障の構造 世界遺産				
8回	国語	SPI PAPER&テストセンター(文法 長文の要旨 文章並び替え) 難しい漢字の読み書き ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語				
9回	国語	SPI PAPER&テストセンター(文法 長文の要旨 文章並び替え) 敬語問題 文章整理問題他 四字熟語 同音異義語 同訓異義語				
10回	数学SPI テストセンター過去問	推論 集合 順列 組み合わせの過去問 問1～問12 推論 6個の玉を箱PQに分けて入れた PはQの2倍 Qの玉は何個か 9人にイヌ ネコ 小鳥どれを飼いたいか聞いた 多い順にイヌ ネコ 小鳥 無回答無し 小鳥の回答人数は				
11回	数学SPI テストセンター過去問	推論 集合 順列 組み合わせの過去問 問13～問25 集合 クラスの30人のうち、運動部の生徒16人 運動部と文化部の両方2人 どちらにも入っていない生徒は4人 文化部に入っている生徒は何人？				
12回	数学SPI テストセンター過去問	推論 集合 順列 組み合わせの過去問 問26～問38 組み合わせ PQRSTUVの7人を3人部屋と4人部屋に振り分けたい 分け方は何通り？ 確率PQR3人がサイコロを振った Pが最大の目 QとRが同じ目となる組み合わせは何通り？				
13回	数学SPI テストセンター過去問	推論 問1～問8 RSTU 4人の交通費の問題 4店舗の位置の問題 LMNOPQ 6人の待ち合わせ場所の到着の前後関係 嘘・本当の発言問題 トーナメント方式の勝敗の結果 トーナメント表の作成				
14回	数学	サイコロや立方体を左右・前後に何回か回転させたのち、Aの面の回転の軌跡、 立方体の性質が分かればすぐに解けるので、絶対に落とせない分野 $Y=ax$ $Y=ax+b$ $Y=ax^2$ 乗+b 一次関数 二次関数 傾き 切片 比例定数 条件と領域				
15回	構造的把握力検査	この分野は、SPI・3になって初めて導入された分野です。 1問5択の選択肢が用意されています。問題処理の考え方の構造が似ているものを二つ選ぶ問題。 慣れないと問題の意味を理解するのが難しい。問題を解いても正解に到達できるわけではありません。				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	時刻表				クラス	Y
担当講師(フルネーム)	伊藤 潤				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	JR時刻表に掲載されている内容を把握し引き方を学習します。 後半はお客様からの問い合わせに時刻表を使用して回答を行います。				授業形態	講義
到達目標	JR時刻表を使いお客様に案内ができるようになる。					
使用テキスト	JR時刻表					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション 時刻表の基礎		授業の進め方と評価方法 各ページの役割と内容			
2回	時刻表の使い方基礎		時刻の探し方・列車の種類と記号・注意点			
3回	鉄道地図の見方		鉄道地図の見方 JRと私鉄・バス・航空・観光地 他			
4回	時刻表をひく①		新幹線と特急の時刻			
5回	時刻表を引く②		在来線の時刻			
6回	時刻表を引く③		乗換え案内に必要な基礎知識			
7回	時刻表を引く④		新幹線から特急への乗り換え			
8回	時刻表を引く⑤		列車を乗り継いで目的地に行く方法			
9回	社線・バス・航空		ハイウェイバス、各地区の私鉄・バス・フェリー・定期観光バス・航空			
10回	JRの営業案内		時刻表を使って切符のことを知る			
11回	JRの営業案内		時刻表の便利な使い方			
12回	お客様への案内①		お客様からの問い合わせに時刻表を使用して回答をロールプレイングで行います。			
13回	お客様への案内②		お客様からの問い合わせに時刻表を使用して回答をロールプレイングで行います。			
14回	お客様への案内③		お客様からの問い合わせに時刻表を使用して回答をロールプレイングで行います。			
15回	まとめ 期末試験		前期のまとめ・期末試験			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	ホテル実務技能認定試験				クラス	Y選択
担当講師(フルネーム)	小西 翼				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	部署を問わず、ホテルで即戦力として働くために必要な基礎知識を身に付ける。				授業形態	講義
到達目標	ホテル実務技能認定試験初級の資格を取得する。					
使用テキスト	ホテル実務技能認定試験 初級 問題集					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点(予習の有無を含む)30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		資格試験について説明 後期の授業の進め方、評価方法の説明 接遇分野の解答			
2回	テキスト解説		接遇分野の解説			
3回	テキスト解説		接遇分野の解説 料飲分野の解答			
4回	テキスト解説		料飲分野の解説			
5回	テキスト解説		宿泊分野の解答、解説			
6回	テキスト解説		宿泊分野の解説 語学分野の解答			
7回	テキスト解説		語学分野の解説			
8回	テキスト解説		その他のホテル関連分野の解答、解説			
9回	過去問題		その他のホテル関連分野の解説 第31回ホテル実務技能認定試験 過去問題の解答			
10回	過去問題		第31回ホテル実務技能認定試験 過去問題の解説			
11回	過去問題		第32回ホテル実務技能認定試験 過去問題の解答、解説			
12回	過去問題		第32回ホテル実務技能認定試験 過去問題の解説			
13回	過去問題		その他過去問題の解答、解説			
14回	過去問題		その他過去問題の解答、解説			
15回	後期授業まとめ		後期授業まとめ			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	夜間総合観光科1年	
科目名	世界遺産検定対策				クラス	Y選択
担当講師(フルネーム)	金森和彦				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	地域ごとの世界遺産を学ぶ 有名観光地の映像を見る				授業形態	講義
到達目標	日本の地域・国々・主な都市・主要世界遺産を覚える					
使用テキスト	世界遺産検定300 世界遺産検定2級公式テキスト					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	オリエンテーション 授業の進め方などシラバスをもとに説明 教科書の使用方法解説				
2回	世界遺産の基礎について	世界遺産とは ユネスコ 世界遺産と日本				
3回	世界遺産の基礎について	無形文化遺産 グラフと数字目見る世界遺産 世界遺産の基準				
4回	日本の世界遺産	西日本の世界遺産 文化遺産について 自然遺産について				
5回	日本の世界遺産	東日本の世界遺産 文化遺産について 自然遺産について				
6回	海外の世界遺産	ヨーロッパ周辺地区 世界遺産の観光概要や最寄りの交通機関について 画像、地図から世界遺産の魅力について説明 ヒースロー、シャルルドゴール空港など主要空港からの利便性について				
7回	海外の世界遺産	アメリカ地区 世界遺産の観光概要や最寄りの交通機関について 画像、地図から世界遺産の魅力について説明 JFケネディーなど空港など主要空港からの利便性について				
8回	海外の世界遺産	アジア周辺地区 世界遺産の観光概要や最寄りの交通機関について 画像、地図から世界遺産の魅力について説明 主要空港からの利便性について				
9回	海外の世界遺産	オセアニア周辺地区 世界遺産の観光概要や最寄りの交通機関について 画像、地図から世界遺産の魅力について説明 主要空港からの利便性について				
10回	海外の世界遺産	その他周辺地区 世界遺産の観光概要や最寄りの交通機関について 画像、地図から世界遺産の魅力について説明 主要空港からの利便性について				
11回	問題集を解く、解説	世界遺産検定 試験対策(過去問題を解く、解説) 主要国おさらい(ヨーロッパ方面) 地図をもとに場所確認				
12回	問題集を解く、解説	世界遺産検定 試験対策(過去問題を解く、解説) 主要国おさらい(北アメリカ方面) 地図をもとに場所確認				
13回	問題集を解く、解説	世界遺産検定 試験対策(過去問題を解く、解説) 主要国おさらい(南アメリカ方面) 地図をもとに場所確認				
14回	問題集を解く、解説	世界遺産検定 試験対策(過去問題を解く、解説) 主要国おさらい(その他地区) 地図をもとに場所確認				
15回	まとめ	試験問題対策、期末試験について説明 主要国おさらい				

対象学年	2年	学期	通年	学科	夜間総合観光科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ				クラス	Z
担当講師(フルネーム)	Geoffrey Wolfson				実務経験	無
授業概要(内容)	Doing self introductions. Making various presentations about oneself. Asking and answering various questions with a partner. Practicing role plays. Understanding various culture points.				授業形態	講義
到達目標	To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.					
使用テキスト	Challenge book #4、Hotel English Booklet (Front staff)、Warm-up Booklet 2、Vocabulary Book (Noun)					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Warm Up: P6, Vocabulary: P8 Challenge Book: P15 Hotel Dialog: 5B		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Cuisine Interview Sentences using nouns starting with H, Role play with Hotel Dialog			
2回	Warm Up: P6, Vocabulary: P9 Challenge Book: P16 Hotel Dialog: 6		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: MyFavorite Restaurant Nouns starting with I, Role play with Hotel Dialog			
3回	Warm Up: P6, Vocabulary: P9 Challenge Book: P16 Hotel Dialog: 6		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: MyFavorite Restaurant Sentences using nouns starting with I, Role play with Hotel Dialog			
4回	Warm Up: P7, Vocabulary: P10 Challenge Book: P21 Hotel Dialog: 7		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: School Memory Lane Nouns starting with J, Role play with Hotel Dialog			
5回	Warm Up: P7, Vocabulary: P10 Challenge Book: P21 Hotel Dialog: 7		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: School Memory Lane Sentences using nouns starting with J, Role play with Hotel Dialog			
6回	Warm Up: P7, Vocabulary: P11 Challenge Book: P22 Hotel Dialog: 8		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Best School Trip Nouns starting with K, Role play with Hotel Dialog			
7回	Warm Up: P8, Vocabulary: P11 Challenge Book: P22 Hotel Dialog: 8		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Best School Trip Sentences using nouns starting with K, Role play with Hotel Dialog			
8回	Warm Up: P8, Vocabulary: P12 Challenge Book: P23 Hotel Dialog: 9		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: My School Club Nouns starting with L, Role play with Hotel Dialog			
9回	Warm Up: P8, Vocabulary: P12 Challenge Book: P23 Hotel Dialog: 9		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: My School Club Sentences using nouns starting with L, Role play with Hotel Dialog			
10回	Warm Up: P9, Vocabulary: P13 Challenge Book: P24 Hotel Dialog: 10		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Music Interview Nouns starting with M, Role play with Hotel Dialog			
11回	Warm Up: P9, Vocabulary: P13 Challenge Book: P24 Hotel Dialog: 10		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Music Interview Sentences using nouns starting with M, Role play with Hotel Dialog			
12回	Warm Up: P9, Vocabulary: P14 Challenge Book: P25 Hotel Dialog: 1		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Farovite English Song Nouns starting with N, Role play with Hotel Dialog			
13回	Warm Up: P10, Vocabulary: P14 Challenge Book: P25 Hotel Dialog: 1		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Farovite English Song Sentences using nouns starting with N, Role play with Hotel Dialog			
14回	Warm Up: P10, Vocabulary: P15 Challenge Book: P26 Hotel Dialog: 2		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Travel Interview Nouns starting with O, Role play with Hotel Dialog			
15回	Warm Up: P10, Vocabulary: P15 Challenge Book: P26 Hotel Dialog: 2, test		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Travel Interview Sentences using nouns starting with O, Role play with Hotel Dialog			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	夜間観光総合科	
科目名	Web広報戦略				クラス	Z
担当講師(フルネーム)	坂井 隆仁				実務経験	有(ブライダル業界勤務歴)
授業概要(内容)	Excelを使って広告スケジュールの作り方を学んだ後、 広告の種類や戦略を学ぶ他、Webサイトを作っていきます。				授業形態	講義&演習
到達目標	パソコンを使って色々な事ができる人材になっていきましょう。					
使用テキスト	特になし。課題、資料等はデータで配布予定。					
成績評価方法	・課題提出70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	前期の復習と 今期の内容確認	Word、PowerPoint、動画の復習 webディレクターという仕事の紹介				
2回	Excelで スケジュール作成①	Excelでスケジュール作成 条件付き書式を使いこなしてみましょう。				
3回	Excelで スケジュール作成②	Excelでスケジュール作成 条件付き書式を使いこなしてみましょう。				
4回	バナーについて①	canvaで実際にバナーを作りましょう。 色々なWebサイトを見てどんなバナーがあるか調査してみましょう。				
5回	バナーについて②	canvaで実際にバナーを作りましょう。 テーマ別にバナーを作成				
6回	Webサイトを 作ってみましょう①	ペライチへ登録 webサイト作成 課題①				
7回	Webサイトを 作ってみましょう②	webサイト作成 課題②				
8回	Webサイトを 作ってみましょう③	webサイト作成 課題③				
9回	Webサイトを作ってみま しょう④	webサイト作成 課題④				
10回	Webサイトを 作ってみましょう⑤	seo対策について 公開する手順説明				
11回	Webサイトの更新①	Webサイトを更新しながら、HTML・CSSを学習していきましょう 課題①				
12回	Webサイトの更新②	Webサイトを更新しながら、HTML・CSSを学習していきましょう 課題②				
13回	ブログについて学習①	ブログの作り方 WordPressについて 自分のブログ作成				
14回	ブログについて学習②	自分のブログ作成 広告について				
15回	振り返り	今まで学習した内容を復習します。				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	夜間総合観光科	
科目名	観光地理				クラス	Z
担当講師(フルネーム)	金森和彦				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	地域ごとの国々・主な都市及び都市コードを白地図に記入 有名観光地の映像を見る				授業形態	講義
到達目標	日本の地域・国々・主な都市・有名観光地を覚える					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	日本の概要説明	九州各県の経済、特徴について説明				
2回	東京都(観光、空港情報)	首都東京の観光資源、経済について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明				
3回	大阪府(観光、空港情報)	食い倒れのまち。関西の食文化について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明				
4回	京都府(観光、空港情報)	1,000年の都 日本の伝統工芸について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明				
5回	愛知県(観光、空港情報)	モノづくりのまち。徳川家康の残した文化について 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明				
6回	静岡県(観光、空港情報)	伊豆の観光資源と富士山観光について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明				
7回	長野県(観光、空港情報)	海なし県の文化について 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明				
8回	福岡県(観光、空港情報)	九州の中心地、福岡の経済について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介				
9回	佐賀県(観光、空港情報)	有田焼など焼き物文化について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介				
10回	長崎県(観光、空港情報)	南蛮文化、長崎の世界遺産群の説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介				
11回	大分県(観光、空港情報)	日本屈指の温泉地について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介				
12回	熊本県(観光、空港情報)	阿蘇山の観光資源について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介				
13回	宮崎県(観光、空港情報)	高千穂など神々の歴史について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介				
14回	鹿児島県(観光、空港情報)	幕末の薩摩藩の歴史について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介				
15回	沖縄県(観光、空港情報)	沖縄リゾートについて説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテルブライダル科	
科目名	フレッシュャーズ教育				クラス	A
担当講師(フルネーム)	大西 希久永				実務経験	無
授業概要(内容)	授業を通して社会人になった際の知識(考え方、動き方含む)を事前に身につける				授業形態	講義
到達目標	社会人としての基礎知識を身に着ける					
使用テキスト	適宜プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	求人票 (会社内の組織について)	・求人票の見方 ・主な部署と役割(一般、外資) ・主な福利厚生について				
2回	給与明細 (働くということ)	・給与明細の見方(社会保険、税金) ・社会人としての心構え①				
3回	就業規則 (働くということ②)	・就業規則について ・社会人としての心構え②				
4回	1日の流れ	・出社から退社までのマナー ・仕事での立ち振る舞い				
5回	第一印象	・視覚情報、聴覚情報、言語情報 ・身だしなみについて				
6回	新入社員の自己紹介	・好感度を高める為のステップ ・おじぎ、挨拶				
7回	仕事の仕方	・仕事の進め方 ・ほうれんそうについて(連絡の仕方) ・スケジュール管理術				
8回	言葉遣い	・敬語の基本 ・ビジネスでの間違い敬語 ・ビジネスで活用できる言い回し				
9回	やりとりの仕方	・ビジネス文書 ・電話、メール				
10回	接し方	・席次のルール ・来客対応				
11回	人権 コンプライアンス (個人情報の取り扱い)	・ハラスメントについて ・社内での人間関係について ・社内、社外で気をつけること ・SNSトラブルについて				
12回	会議について	・準備や流れについて ・意見の伝え方 (グループワーク)				
13回	上司(同僚)との付き合い方 ・強みの発見	・オフィスでのトラブルについて ・ミス、叱られた際の対応 ・懇親会のマナーなど ・自身の強みの発見、認識				
14回	テスト・まとめ	・テスト ・まとめ				
15回	まとめ	・生徒ヒアリングのうえでの授業内容 ・疑問点等の解決 ・テスト答え合わせ				

観光ビジネス進学

科目名
社会情勢研究
国内観光地理
ビジネスマナー（おもてなし）
日本語能力試験対策Ⅰ
日本語能力試験対策Ⅱ
日本語能力試験対策Ⅲ
日本語能力試験対策Ⅳ
日本語能力試験対策Ⅴ
日本語能力試験対策Ⅵ
日本語能力試験対策Ⅶ
日本語能力試験対策Ⅷ
日本語コミュニケーションⅠ
日本語コミュニケーションⅡ

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	観光ビジネス進学 科	
科目名	社会情勢研究				クラス	I
担当講師(フルネーム)	宮原 英利				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	・社会の情勢は、世界的規模で考えることと、地域社会で考えることがあります。 この授業では、この両面からどのような事があるのか考えます				授業形態	講義
到達目標	社会の出来事に関心を持ち、自分の考えを持つことができるようになること。					
使用テキスト	特に指定はしません。適宜、新聞やプリントを配布します。					
成績評価方法	・期末試験60% 授業に対する意欲(出席・授業態度・積極的発言等)20%、レポート20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	さまざまな社会的課題		1. オリエンテーション 授業の進め方、成績評価について説明します。 2. 社会情勢を学ぶツールを紹介します。 3. 社会情勢とは何か、を考えます。			
2回	人口問題について		人口が増加していく現在の情勢を多角的視点から考えます。			
3回	食料問題について		人口の増加とともに問題となる食料不足の問題を考えます。			
4回	地球温暖化について		地球温暖化によって引き起こされる諸問題を考えます。			
5回	世界平和について		紛争・難民・テロの現状を考えます。			
6回	時事問題(日本)		政治・経済・文化・市場動向の中から時事問題を取り上げ考えます。 ・コロナが引き起こした社会不安について考えます。			
7回	時事問題(日本)		政治・経済・文化・市場動向の中から時事問題を取り上げ考えます。			
8回	時事問題(日本)		政治・経済・文化・市場動向の中から時事問題を取り上げ考えます。			
9回	時事問題(日本)		政治・経済・文化・市場動向の中から時事問題を取り上げ考えます。			
10回	時事問題(日本)		政治・経済・文化・市場動向の中から時事問題を取り上げ考えます。			
11回	時事問題(国際)		政治・経済・文化・市場動向の中から時事問題を取り上げ考えます。			
12回	時事問題(国際)		政治・経済・文化・市場動向の中から時事問題を取り上げ考えます。			
13回	時事問題(国際)		政治・経済・文化・市場動向の中から時事問題を取り上げ考えます。			
14回	期末テスト		期末テスト			
15回	まとめ		各種事例の考察を踏まえ情勢判断のポイントを確認します。 期末テストのフィードバック			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	国内観光地理				クラス	I
担当講師(フルネーム)	金森和彦				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	地域ごとの国々・主な都市及び都市コードを白地図に記入 有名観光地の映像を見る				授業形態	講義
到達目標	日本の地域・国々・主な都市・有名観光地を覚える					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	日本の概要説明	九州各県の経済、特徴について説明				
2回	東京都(観光、空港情報)	首都東京の観光資源、経済について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明				
3回	大阪府(観光、空港情報)	食い倒れのまち。関西の食文化について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明				
4回	京都府(観光、空港情報)	1,000年の都 日本の伝統工芸について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明				
5回	愛知県(観光、空港情報)	モノづくりのまち。徳川家康の残した文化について 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明				
6回	静岡県(観光、空港情報)	伊豆の観光資源と富士山観光について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明				
7回	三重県(観光、空港情報)	伊勢神宮と天皇の歴史について 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明				
8回	長野県(観光、空港情報)	海なし県の文化について 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明				
9回	石川県(観光、空港情報)	加賀百万石の伝統工芸について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明				
10回	新潟県(観光、空港情報)	長岡藩の文化について 新潟の名産品について 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明				
11回	福島県(観光、空港情報)	会津若松の歴史 白虎隊について 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明				
12回	宮城県(観光、空港情報)	伊達政宗が残した奥羽地方の文化について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明				
13回	北海道(観光、空港情報)	蝦夷地のアイヌ文化について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明				
14回	期末試験実施	期末試験実施(授業時間中)				
15回	まとめ	期末試験の振り返りについて				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	ビジネスマナー				クラス	I
担当講師(フルネーム)	榎本美和子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	座学→ロールプレイングの順で、日本社会で好感度の高い対応を身につけるため、くり返し丁寧に練習します				授業形態	講義 & 演習
到達目標	日本という異国の地で、十分に社会人として常識をもって行動できる					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	日常生活におけるマナー	・美しい街を目指す！ 道でゴミを捨てない、分別の仕方 ・お客様の質問に対し、心のこもった答え方				
2回	許可の求め方	・担任の先生、上司、お客様に許可を求める 欠席・早退・依頼				
3回	アポイントを取る	・上司、お客様、他社へのアポイントの取り方				
4回	ビジネスメール	・ビジネスメール作成 PC使用				
5回	コミュニケーション	・魅力的・好感度の高い話し方、聞き方 ・人前で話す 美しい敬語で又心を表現する				
6回	注意の仕方	・クッション言葉 ・お客様にする注意の仕方				
7回	正しい食事のマナー	・美しい食べ方 ・お箸を上手に使う ・食べる姿をビデオに撮り確認				
8回	電話の受け方・かけ方	・前期の復習 ・プラスのシーンでチャレンジ				
9回	電話の受け方・かけ方	・専門学校・大学・就職先への問い合わせ				
10回	来客案内	・受付～お見送りまで				
11回	表情について	・笑顔がもたらす効果 ・第一印象の大切さ				
12回	なりきり演習	・希望職種のスタッフになりきってロープレ 皆で良い点・改善点を見る				
13回	封筒・はがき・郵送の知識	・郵便の種類 ・表書きの練習				
14回	授業内期末テスト	・授業内テスト後、DVD視聴				
15回	日本の文化	・目で見て日本の文化を知ろう ・自国の文化について発表				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅰ(語彙)				クラス	I
担当講師(フルネーム)	入江 千治				実務経験	無
授業概要(内容)	・仕事、生活の中でよく使われるN3文法への理解を深める。 ・N3文法の使い方を繰り返し練習する。				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N3～N2合格					
使用テキスト	『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』(アルク)／『日本語能力試験20日で合格N3文法力アップドリル』(国書刊行会)					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N3文法	・授業の進め方、評価方法についての説明 ・テキストUnit04(導入／練習) ・N3練習問題				
2回	N3文法	・テキストUnit04(導入／練習) ・N3練習問題				
3回	N3文法	・テキストUnit04(導入／練習) ・Unit04小テスト				
4回	N3文法	・テキストUnit05(導入／練習) ・N3練習問題				
5回	N3文法	・テキストUnit05(導入／練習) ・N3練習問題				
6回	N3文法	・テキストUnit05(導入／練習) ・Unit05小テスト				
7回	N3文法	・N3文法使い方練習(書く／話す) ・N3練習問題				
8回	N3文法	・N3文法使い方練習(書く／話す) ・N3練習問題				
9回	N3文法	・N3文法使い方練習(書く／話す) ・N3練習問題				
10回	N3文法	・模擬試験				
11回	N3文法	・N3文法使い方練習(書く／話す) ・N3練習問題				
12回	N3文法	・N3文法使い方練習(書く／話す) ・N3練習問題				
13回	N3文法	・N3文法使い方練習(書く／話す) ・N3練習問題				
14回	総復習	・テキストUnit01～05総復習／N3文法使い方練習(書く／話す)				
15回	期末試験	・期末テスト／FB				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ(語彙)				クラス	I
担当講師(フルネーム)	入江 千治				実務経験	無
授業概要(内容)	・N3～N2レベルの聴解問題を聞きながら、語彙・文法表現を学ぶ。 ・聴解問題を聞いて、内容を書いてまとめる練習を行う。				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N3～N2合格					
使用テキスト	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解(中級)』(スリーエーネットワーク)／『日本語能力試験対策問題集スピードマスター読解』(Jリサーチ出版)					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	聴解練習		・聞く／まとめる ・N3読解練習問題			
2回	聴解練習		・聞く／まとめる ・N3読解練習問題			
3回	聴解練習		・小テスト ・聞く／まとめる ・N3読解練習問題			
4回	聴解練習		・聞く／まとめる ・N3読解練習問題			
5回	聴解練習		・小テスト ・聞く／まとめる ・N3読解練習問題			
6回	聴解練習		・聞く／まとめる ・N3読解練習問題			
7回	聴解練習		・小テスト ・聞く／まとめる ・N3読解練習問題			
8回	聴解練習		・聞く／まとめる ・N3読解練習問題			
9回	聴解練習		・小テスト ・聞く／まとめる ・N3読解練習問題			
10回	聴解練習		・模擬試験			
11回	聴解練習		・聞く／まとめる ・N3読解練習問題			
12回	聴解練習		・聞く／まとめる ・N3読解練習問題			
13回	聴解練習		・小テスト ・聞く／まとめる ・N3読解練習問題			
14回	聴解練習		・聴解総復習 ・N3読解練習問題			
15回	聴解練習		・期末試験／FB			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅲ(聴解・漢字・文法)				クラス	I
担当講師(フルネーム)	上中真由美				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N2・N3対策 N3文法を復習しN2文法を導入していく				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2・N3合格					
使用テキスト	耳から覚える日本語能力試験文法トレーニング・プリント(パワードリル文法)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N3文法	授業の進め方・評価方法について 文法の意味・使い方を確認して練習問題を解く				
2回	N3文法	小テスト 文法の意味・使い方を確認して練習問題を解く				
3回	N3文法	小テスト 文法の意味・使い方を確認して練習問題を解く				
4回	N3文法	小テスト 文法の意味・使い方を確認して練習問題を解く				
5回	N3文法	小テスト 文法の意味・使い方を確認して練習問題を解く				
6回	N3文法	小テスト 文法の意味・使い方を確認して練習問題を解く				
7回	N2・N3文法	小テスト 文法の意味・使い方を確認して練習問題を解く				
8回	N2・N3文法	小テスト 文法の意味・使い方を確認して練習問題を解く				
9回	N2・N3文法	模擬テスト + FB				
10回	N2・N3文法	模擬テスト + FB				
11回	N2・N3文法	小テスト 文法の意味・使い方を確認して練習問題を解く				
12回	N2・N3文法	小テスト 文法の意味・使い方を確認して練習問題を解く				
13回	N2・N3文法	小テスト 文法の意味・使い方を確認して練習問題を解く				
14回	N2・N3文法	復習				
15回	N2・N3文法	期末テスト + FB				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅳ(聴解・漢字)				クラス	I
担当講師(フルネーム)	上中真由美				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N2・N3対策 読解問題を解く				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2・N3合格					
使用テキスト	プリント配布(新完全マスター・スピードマスターなど)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	N2・N3読解		授業の進め方・評価方法について 読解の解き方のポイント 漢字			
2回	N2・N3読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する 漢字			
3回	N2・N3読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する 漢字			
4回	N2・N3読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する 漢字			
5回	N2・N3読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する 漢字			
6回	N2・N3読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する 漢字			
7回	N2・N3文法		読解問題を解き、全体で解答を確認する 漢字			
8回	N2・N3読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する 漢字			
9回	N2・N3読解		模擬テスト + FB			
10回	N2・N3読解		模擬テスト + FB			
11回	N2・N3読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する 漢字			
12回	N2・N3文法		読解問題を解き、全体で解答を確認する 漢字			
13回	N2・N3読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する 漢字			
14回	N2・N3読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する 漢字			
15回	N2・N3読解		期末テスト + FB			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策V(文法・聴解)				クラス	I
担当講師(フルネーム)	大和愛				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N2のレベルの文法及び聴解対策				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2レベルの文法と聴解の解き方を身に着ける					
使用テキスト	プリント(冊子)配布:ドリル&ドリルN2文法・ドリル&ドリルN2聴解・パワードリルN2文法					
成績評価方法	・期末試験60% 平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N2文法・聴解	・ドリル&ドリルN2文法:文章の文法【4】 ・パワードリルN2文法:第16回・集中トレーニング⑤ ・聴解練習問題:ドリル&ドリルN2【課題理解 第4回】				
2回	N2文法・聴解	・宿題チェック(ドリドリ・パワド) ・文法小テスト(w4D1) ・聴解練習問題:ドリル&ドリルN2【ポイント理解 第4回】				
3回	N2文法・聴解	・宿題チェック(ドリドリ・パワド) ・文法小テスト(W4D2) ・聴解練習問題:ドリル&ドリルN2【概要理解 第4回】				
4回	N2文法・聴解	・宿題チェック(ドリドリ・パワド) ・文法小テスト(W4D3) ・聴解練習問題:ドリル&ドリルN2【即時応答 第4回】				
5回	N2文法・聴解	・宿題チェック(ドリドリ・パワド) ・文法小テスト(W4D4) ・聴解練習問題:ドリル&ドリルN2【統合理解 第4回】				
6回	N2文法・聴解	・宿題チェック(ドリドリ・パワド) ・文法小テスト(W4D5) ・聴解練習問題:ドリル&ドリルN2【課題理解 第5回】				
7回	N2文法・聴解	・宿題チェック(ドリドリ・パワド) ・文法小テスト(W5D1) ・聴解練習問題:ドリル&ドリルN2【ポイント理解 第5回】				
8回	N2文法・聴解	・宿題チェック(ドリドリ・パワド) ・文法小テスト(W5D2) ・聴解練習問題:ドリル&ドリルN2【概要理解 第5回】				
9回	N2文法・聴解	・宿題チェック(ドリドリ・パワド) ・文法小テスト(W5D3) ・聴解練習問題:ドリル&ドリルN2【即時応答 第5回】				
10回	N2文法・聴解	・宿題チェック(ドリドリ・パワド) ・文法小テスト(W5D4) ・聴解練習問題:ドリル&ドリルN2【統合理解 第5回:完】				
11回	N2文法・聴解	・宿題チェック(ドリドリ・パワド) ・文法小テスト(W5D5) ・聴解練習問題:新完全マスターN2聴解【模擬試験:問題1】				
12回	N2文法・聴解	・宿題チェック(ドリドリ・パワド) ・文法小テスト(W6D1) ・聴解練習問題:新完全マスターN2聴解【模擬試験:問題2】				
13回	N2文法・聴解	・宿題チェック(ドリドリ・パワド) ・文法小テスト(W6D2) ・聴解練習問題:新完全マスターN2聴解【模擬試験:問題3】				
14回	N2文法・聴解	・宿題チェック ・期末試験 ・聴解練習問題:新完全マスターN2聴解【模擬試験:問題4】				
15回	N2文法・聴解	・宿題チェック/文法小テスト(W6D4) ・期末試験返却及びフィードバック ・聴解練習問題:新完全マスターN2聴解【模擬試験:問題5】				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅵ(文法)				クラス	I
担当講師(フルネーム)	大和愛				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N2の文法対策				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2レベルの文法を身に着ける					
使用テキスト	N2文法総まとめ(三修社)本冊及び問題集					
成績評価方法	・期末試験60% 平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N2文法	・第4週1日目 ・宿題:パワド第17回+集中トレーニング⑥/ドリドリ 文の文法1【9】				
2回	N2文法	・第4週2日目 ・宿題:パワド第18回/ドリドリ 文の文法1【10】				
3回	N2文法	・第4週3日目 ・宿題:パワド第19回/ドリドリ 文の文法1【11】				
4回	N2文法	・第4週4日目 ・宿題:パワド第20回+集中トレーニング⑦/ドリドリ 文の文法1【12】				
5回	N2文法	・第4週5日目 ・宿題:パワド第21回+集中トレーニング⑧/ドリドリ 文の文法2【7】【8】				
6回	N2文法	・第5週1日目 ・宿題:パワド第22回/ドリドリ 文の文法2【9】【10】				
7回	N2文法	・第5週2日目 ・宿題:パワド第23回/ドリドリ 文の文法1【13】				
8回	N2文法	・第5週3日目 ・宿題:パワド第24回/ドリドリ 文の文法1【14】				
9回	N2文法	・第5週4日目 ・宿題:パワド第25回+集中トレーニング⑨/ドリドリ 文章の文法【6】				
10回	N2文法	・第5週5日目 ・宿題:パワド第26回+集中トレーニング⑩/ドリドリ 文章の文法【5】				
11回	N2文法	・第6週1日目 ・宿題:パワド第27回/ドリドリ 文の文法2【11】【12】				
12回	N2文法	・第6週2日目 ・宿題:パワド第28回/ドリドリ 文の文法2【13】【14】				
13回	N2文法	・第6週3日目 ・宿題:パワド第29回/ドリドリ 文章の文法【8】				
14回	N2文法	・期末試験 ・第6週4日目 ・宿題:パワド第30回(完)/ドリドリ 文章の文法【7】				
15回	N2文法	・期末試験返却及びフィードバック ・第6週5日目				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅶ(読解・語彙)				クラス	I
担当講師(フルネーム)	大和愛				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N2の読解及び語彙対策				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2レベルの語彙と読解の解き方を身につける					
使用テキスト	プリント(冊子)配布(ドリル&ドリル語彙/読解・必ずできる読解N2)					
成績評価方法	・期末試験60% 平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N2読解・語彙	・必ずできるN2読解:ウォーミングアップ⑦ ・ドリル&ドリルN2読解:統合理解第1回				
2回	N2文法	・宿題チェック(読解) ・ドリドリN2語彙:言い換え 第5-6回				
3回	N2文法	・宿題チェック(読解) ・ドリドリN2語彙:用法 第5-6回 ・語彙小テスト(ドリル&ドリル:言い換え第5-6回)				
4回	N2文法	・宿題チェック(読解) ・ドリドリN2語彙:漢字読み・表記 各第7-8回 ・語彙小テスト(ドリル&ドリル:用法第5-6回)				
5回	N2文法	・宿題チェック(読解) ・ドリドリN2語彙:語形成 第7-8回 ・語彙小テスト(ドリル&ドリル:漢字読み・表記第7-8回)				
6回	N2文法	・宿題チェック(読解) ・ドリドリN2語彙:文脈規定 第7-8回 ・語彙小テスト(ドリル&ドリル:語形成第7-8回)				
7回	N2文法	・宿題チェック(読解) ・ドリドリN2語彙:言い換え 第7-8回 ・語彙小テスト(ドリル&ドリル:文脈規定第7-8回)				
8回	N2文法	・宿題チェック(読解) ・ドリドリN2語彙:用法 第7-8回 ・語彙小テスト(ドリル&ドリル:言い換え第7-8回)				
9回	N2文法	・宿題チェック(読解) ・ドリドリN2語彙:文脈規定 第9-10回 ・語彙小テスト(ドリル&ドリル:用法第7-8回)				
10回	N2文法	・宿題チェック(読解) ・ドリドリN2語彙:漢字読み・表記 各第9-10回 ・語彙小テスト(ドリル&ドリル:文脈規定第9-10回)				
11回	N2文法	・宿題チェック(読解) ・ドリドリN2語彙:語形成 第9-10回 ・語彙小テスト(ドリル&ドリル:漢字読み・表記第9-10回)				
12回	N2文法	・宿題チェック(読解) ・ドリドリN2語彙:言い換え 第9-10回 ・語彙小テスト(ドリル&ドリル:語形成第9-10回)				
13回	N2文法	・宿題チェック(読解) ・ドリドリN2語彙:文脈規定 第11-12回 ・語彙小テスト(ドリル&ドリル:言い換え第9-10回)				
14回	N2文法	・期末試験 ・宿題チェック(読解) ・ドリドリN2語彙:用法 第9-10回				
15回	N2文法	・宿題チェック(読解) ・期末試験返却及びフィードバック ・ドリドリN2語彙:漢字読み・表記 各第11-12回				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅷ(読解・語彙)				クラス	I
担当講師(フルネーム)	大和愛				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N2の語彙及び漢字対策				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2レベルの語彙と漢字を身につける					
使用テキスト	プリント(冊子)配布(新完全マスターN2漢字・擬音語擬態語)					
成績評価方法	・期末試験60% 平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N2漢字・語彙	・新完全マスターN2漢字: 第16回 ・宿題: 必ずできるN2読解 ウォーミングアップ8・練習問題11日目				
2回	N2漢字・語彙	・新完全マスターN2漢字: 第17回 ・擬音語擬態語 ・宿題: 必ずできるN2読解 練習問題12日目				
3回	N2漢字・語彙	・新完全マスターN2漢字: 第18回 ・擬音語擬態語 ・宿題: 必ずできるN2読解 練習問題13日目				
4回	N2漢字・語彙	・新完全マスターN2漢字: 第19回 ・擬音語擬態語 ・宿題: 必ずできるN2読解 練習問題14日目				
5回	N2漢字・語彙	・新完全マスターN2漢字: 第20回 ・擬音語擬態語 ・宿題: 必ずできるN2読解 練習問題15日目				
6回	N2漢字・語彙	・新完全マスターN2漢字: 第21回 ・擬音語擬態語 ・宿題: 必ずできるN2読解 練習問題16日目				
7回	N2漢字・語彙	・新完全マスターN2漢字: 第22回 ・擬音語擬態語 ・宿題: 必ずできるN2読解【ウォーミングアップ9】・ドリドリ 統合理解【第2回】				
8回	N2漢字・語彙	・新完全マスターN2漢字: 第23回 ・擬音語擬態語 ・宿題: 必ずできるN2読解【ウォーミングアップ10】・ドリドリ 主張理解【第1回】				
9回	N2漢字・語彙	・新完全マスターN2漢字: 第24回 ・擬音語擬態語 ・宿題: 必ずできるN2読解 練習問題17日目				
10回	N2漢字・語彙	・新完全マスターN2漢字: 第25回 ・擬音語擬態語 ・宿題: 必ずできるN2読解 練習問題18日目				
11回	N2漢字・語彙	・新完全マスターN2漢字: 第26回 ・擬音語擬態語 ・宿題: 必ずできるN2読解 練習問題19日目				
12回	N2漢字・語彙	・新完全マスターN2漢字: 第27回 ・擬音語擬態語 ・宿題: 必ずできるN2読解 練習問題20日目				
13回	N2漢字・語彙	・新完全マスターN2漢字: 第28回 ・擬音語擬態語 ・宿題: 必ずできるN2読解 練習問題21日目				
14回	N2漢字・語彙	・期末試験 ・新完全マスターN2漢字: 第29回 ・宿題: 必ずできるN2読解 練習問題22日目				
15回	N2漢字・語彙	・期末試験返却及びフィードバック ・新完全マスターN2漢字: 第30回 ・必ずできるN2読解 模擬問題(完)				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語コミュニケーションⅠ				クラス	I
担当講師(フルネーム)	恵良恭子				実務経験	無
授業概要(内容)	①話題別、性質別(意味・品詞・形式)の言葉を学ぶ。 ②N3能力試験対策——(テキスト・問題集)				授業形態	講義
到達目標	N3・N2 合格できる力をつけるだけではなく、全般的な語彙力・運用力をつける。					
使用テキスト	・新完全マスターN3語彙 ・N3スピードマスター／N3パワードリル／ドリル&模試					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N3語彙	【7課】 体2——病気と怪我・入院 Ⅰ 言葉を覚えよう 意味と読み——音読／＊《やってみよう》 Ⅱ 《練習しよう》 ＊N3パワードリル ＊N2ドリル&模試				
2回	N3語彙	7課小テスト 【8課】 趣味と旅行1・スポーツ、芸術 Ⅰ 言葉を覚えよう 意味と読み——音読／＊《やってみよう》 Ⅱ 《練習しよう》 8課小テスト ＊N3パワードリル				
3回	N3語彙	【9課】 趣味と旅行2・ファッション Ⅰ 言葉を覚えよう 意味と読み——音読／＊やってみよう Ⅱ 《練習しよう》 ＊N3パワードリル ＊N2ドリル&模試				
4回	N3語彙	【10課】 趣味と旅行3・旅行 Ⅰ 言葉を覚えよう 意味と読み——音読 ＊やってみよう 9課小テスト Ⅱ 《練習しよう》 ＊N3パワードリル ＊N2ドリル&模試				
5回	N3語彙	実力を試そう(1課～5課)／(6課～10課) ＊N3パワードリル ＊N2ドリル&模試				
6回	N3語彙	【11課】 教育1・学校生活(小・中・高) Ⅰ 言葉を覚えよう 意味と読み——音読 ＊やってみよう Ⅱ 《練習しよう》 10課小テスト ＊N3パワードリル				
7回	N3語彙	【12課】 教育2・学校生活(大学) Ⅰ 言葉を覚えよう 意味と読み——音読 ＊やってみよう Ⅱ 《練習しよう》 11課小テスト ＊N3パワードリル				
8回	N3語彙	【13課】 仕事1 就職・仕事をする Ⅰ 言葉を覚えよう 意味と読み——音読 ＊やってみよう ＊パワードリル				
9回	N3語彙	12課小テスト 【14課】 仕事2・コンピューター・郵便・電話 Ⅰ 言葉を覚えよう 意味と読み——音読 ＊やってみよう Ⅱ 《練習しよう》 13課小テスト				
10回	N3語彙 5章	実力を試そう(11課～14課) ＊N3パワードリル ＊N2ドリル&模試				
11回	N3語彙	【15課】 社会1・事件・事故 Ⅰ 言葉を覚えよう 意味と読み——音読 ＊やってみよう Ⅱ 《練習しよう》 14課小テスト				
12回	N3語彙	【16課】 社会2・政治・経済 Ⅰ 言葉を覚えよう 意味と読み——音読 ＊やってみよう Ⅱ 《練習しよう》 ＊N3パワードリル				
13回	N3語彙	【17課】 社会3・行事・宗教 Ⅰ 言葉を覚えよう 意味と読み——音読 ＊やってみよう Ⅱ 《練習しよう》 15課小テスト				
14回	期末テスト	期末テスト(7課～17課)				
15回	N3語彙	【21課】 Ⅰ 言葉を覚えよう 意味と読み——音読 ＊やってみよう Ⅱ 《練習しよう》 期末テストフィードバック				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	観光ビジネス進学科1年	
科目名	日本語コミュニケーションⅡ				クラス	I
担当講師(フルネーム)	永吉美知子				実務経験	無
授業概要(内容)	12月に実施される能力試験N2合格を目指して 最も不得手な読解を中心に授業を進める 1日1課進む				授業形態	講義
到達目標	能力試験 N2合格					
使用テキスト	中級から学ぶ日本語 ワークブック					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	1課 まなぶ	読んでみましょう 内容把握問題 漢字と意味 N2 模擬テスト				
2回	2課 みつける	読んでみましょう 内容把握問題 漢字と意味 N2 模擬テスト				
3回	4課 たとえる	読んでみましょう 内容把握問題 漢字と意味 N2 模擬テスト				
4回	小テスト・過去問	1回～3回の復習 N2過去問の解答・解説				
5回	5課 あきれる	読んでみましょう 内容把握問題 漢字と意味 N2 模擬テスト				
6回	6課 つたえる	読んでみましょう 内容把握問題 漢字と意味 N2 模擬テスト				
7回	7課 かざる	読んでみましょう 内容把握問題 漢字と意味 N2 模擬テスト				
8回	小テスト・過去問	1課～7課までの調整 N2 模擬テストの復習				
9回	模擬テスト	テストとFB				
10回	模擬テスト	テストとFB				
11回	ニュース検定	内容把握と語彙の確認 5級				
12回	8課 思い込む	読んでみましょう 内容把握問題 漢字と意味 模擬テスト				
13回	9課 守る	読んでみましょう 内容把握問題 漢字と意味 模擬テスト				
14回	対策テスト 復習	総復習				
15回	評価テスト					